創立五十周年記念誌

羽根球わかやま



和歌山県バドミントン協会

創立五十周年記念誌

羽根球わかやま



和歌山県バドミントン協会

和歌山県バドミントン協会50周年記念誌　ごあいさつ



和歌山県バドミントン協会
会長　石田真敏

和歌山県バドミントン協会が、創立50周年を迎えます記念すべき年にあたり、ここに、沿革やあゆみの記録をまとめて「和歌山県バドミントン協会創立50周年記念誌」を発刊できますことは、このうえない喜びであります。

また、半世紀という長い歴史の中には、幾多の苦難の道を乗り越えられてきた諸先輩方のご努力と輝かしい成果が刻まれており、今日に至るまで和歌山県バドミントン協会の発展のためご尽力下さいましたことに深く敬意を表し、感謝申し上げる次第であります。

さて、最近のメディアの発達により、スポーツ界においても「グローバル化」とでも呼ぶべき現象が進み、ビッグスポーツイベントや海外のプロスポーツの様子が日常的に放映されるようになり、とかく私たちは華やかな一面にのみ目を奪われがちであります。しかしながら、厳しい社会経済情勢のもとで、企業のリストラの影響等を受け、運動部が休部に追い込まれるという事態も増えてきているのも事実であり、加えて、少子化の進行により小中高生のスポーツ人口が激減し、バドミントン競技に限らずスポーツ全般にわたり、非常に厳しい状況が迫りつつあることは言うまでもありません。

和歌山県バドミントン協会においても、組織の拡大や充実、レベルアップなど、今後取り組ねばならない様々な課題を抱えているところでありますが、そのような中、昨年のアジア大会バドミントン競技女子シングルスでの米倉選手の28年ぶりの金メダル獲得という快挙は、私たちに大きな希望を与えてくれ、心強い励ましとなったところであります。和歌山県バドミントン協会といたしましても、今後も会員一丸となって新しい道を切り拓くべく、ますます躍進して参りたいと存じております。

最後になりましたが、今回の記念事業に際しまして、あたたかいご支援とご協力をいただきました関係各位に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも、皆様方の相変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

和歌山県バドミントン協会設立50周年を祝って



近畿バドミントン協会
会長　藤田庸右

この度、和歌山県バドミントン協会におかれましては設立50周年を迎えられ、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

50年……半世紀の永きにわたり、和歌山県バドミントン競技の発展に尽力されました諸先輩及び現役員一同の皆様に衷心より敬意を表したいと存じます。

戦後間もなく貴協会が設立され、その後、日本の復興期、成長期と共に足跡を刻まれました。この半世紀の間には並々ならぬ、ご苦労があり、特に地域社会と密着した活動を続けられ、バドミントン愛好者の確固たる組織を確立され、今日の良き日を迎えられたのだと思います。

今、生涯スポーツの重要性がいわれています。その一環としてバドミントンは老若男女を問わず、誰もが楽しめるという点で更に普及発展すると考えます。

これからもこの50年の経験を契機として、21世紀にむけて新たな歴史をきざまれるよう期待しております。和歌山県民のバドミントンの熱意にこたえるためにも、貴バドミントン協会関係各位のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

簡単ではございますが、和歌山県バドミントン協会設立50年及び記念誌発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞



社団法人　和歌山県体育協会
会　長　**西　口　　勇**

設立50周年という輝かしい歴史の節を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、これまで半世紀にわたってバドミントン競技の普及・振興をはじめ、本県のスポーツの振興に多大な貢献をされてまいりました。この御功績に対して歴代会長、役員をはじめ関係者の皆様方に心から敬意を表わしますとともに感謝申し上げる次第であります。

申すまでもなく、21世紀のわが国は、高齢化社会を迎え、人々が自らの人生をいきいきと送るために、まず健康と体力が必要であるとの認識から日々の生活の中でスポーツを楽しむという機運が年々高まってまいりました。また、一方で「見るスポーツ」から「参加するスポーツ」へと盛んになっており、まさにスポーツは、私どもの生活に欠くことのできない文化になっております。

今後も、競技スポーツの推進から健康づくりのための生涯スポーツの振興まで幅広い県民の需要に応えるために、貴協会の果たす役割は、ますます重要となり期待されています。バドミントン競技を通して、21世紀を担う青少年の健全育成のために多大な御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会の益々の御発展と関係者の皆様の御健勝を心から祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

ごあいさつ



和歌山県バドミントン協会
顧問　下川俊樹

この度、和歌山県バドミントン協会が創立50周年を迎え、記念誌が発刊されますことを、心からお祝いを申し上げます。

顧問として、本協会に関わって参りました私にとりましても、
大変嬉しく思っております。

また、本協会の結成以来、全国スポレク祭や県民総体の運営はじめ各種大会の開催、或いは競技大会への参加等本協会の運営に携わってこられました石田会長はもとより会員各位のこれまでのご苦労に対しまして、深く敬意を表しますとともに、心から厚くお礼申し上げます。

言うまでもなく、バドミントンの魅力は、世代に関係なく老若男女がそれぞれの年代にあったプレイでゲームを楽しみ、スポーツの良さを味わえることであると思います。

会員の皆様には、バドミントンが既に生活に欠かせない存在になっていると思いますが、人生80年時代を迎えた今、バドミントンを通じて、体を鍛えるとともに心のリフレッシュを図られ、仲間とのつながりを深めていただくことができるなら、本当に素晴らしいことだと思います。

結びに、記念誌の発刊にご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、会員各位のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

祝　辞



和歌山県バドミントン協会
顧　問　**坂　口　常　博**

和歌山県バドミントン協会創立50周年を迎えられましたこと心よりお喜び申し上げます。

私が会長の大役を仰せつかり10年前に辞任させていただいた後、石田会長を中心に益々のご発展されてます状況を聞きご同慶に思います。

50年間のほんのわずかの期間のバドミントン界との出会いでありましたが、当時の理事長の吉田さんをはじめ素晴らしいバドミントンに対する熱心な役員の皆様方と本当にバドミントンに対する愛着心のかたまりの様な会員の皆様との出会いによってバドミントン競技の素晴らしさを体験させていただきました。

今は大阪に住んでおりますので試合を見せていただく事も殆どありませんが、復活した羽根球わかやまを久しぶりに見せていただき、大変立派な組織に充実されている実態を見、昔を想いだし感激をいたしております。

本年度は、新役員でより充実したスタートを切られたとの事ですのでより一層のご発展を心より期待いたします。

和歌山にバドミントン王国が……を夢に簡単ですが50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

設立50周年記念発刊にあたって



和歌山県バドミントン協会
理事長　岩西壯行

昭和24年に設立された和歌山県バドミントン協会は、平成11年に50周年を迎えましたこと心よりお祝い申し上げますと共に、記念誌「設立50周年記念誌」を発刊する次第となりましたことは、誠に意義深いことであります。この記念の節目の年に理事長に在籍させて戴くことは、この上ない光栄であり感謝しています。

初代理事長の泉惣一郎氏は関係者をひとり駆けずり廻って愛好者に研修会等を行い、昭和24年に和歌山県バドミントン協会を設立、同年日本バドミントン協会に加盟し、その翌年の昭和25年に桐蔭高校にバドミントン部が誕生しそれを皮切りに県内の各団体のクラブが順次に誕生しています。

昭和38年には、水谷哲雄様が国体10回出場の表彰を受け、又、昭和43年に国体リハーサル大会と言うことで、第11回全日本社会人バドミントン選手権大会が湯浅町で（初めての全国大会）開催され後、昭和46年には第26回国民体育大会のバドミントン競技が同じ湯浅町で開催され天皇杯総合第３位という輝かしい成績をおさめました。

その国体を前後に、県内選手の活躍が目立った年が続き、特に教職員部門で優秀な成績が重なった。昭和46年から教職員チームの他各団体共優秀な成績で、県スポーツ賞の表彰を受けた年が続きました。

昭和55年には昭和43年から昭和63年まで20年の長きにわたり県協会の理事長としてご尽力をつくされた故吉田健次郎氏が文部大臣表彰（体育功労賞）を受け、又、その年には機関誌「羽根球わかやま」の創刊号が発行された年でもありました。

平成２年の第３回スポーツ・レクレーション祭（スローガン「黒潮の風に友情光る汗」）では、年齢別バドミントン競技が岩出町で行われ、各府県との交流などおおいに盛り上がった大会でありました。

平成９年の夏には、第36回全日本教職員バドミントン大会が新宮市で開催され、全国各地から多くの先生方の参加を頂くと共に、美しい南紀和歌山の自然美の想い出をアルバムの１ページとして記憶に残していただいた大会ではないかと思っています。

当協会においても組織の拡大や充実・レベルアップなど幾多の問題も抱えており、又、平成27年には２順目の国民体育大会が開催されることになっています。役員一同更なる飛躍のために鋭意努力を積み重ねているところですので皆様方の一層のお力添えをお願い申しあげます。

最後に、ここに50周年を迎え皆様の御協力のもと記念誌の発刊をできましたことにつきまして厚く御礼を申し上げます。

目　　次

あいさつ	和歌山県バドミントン協会会長	石田　真敏
	近畿バドミントン協会会長	藤田　庸右
	社団法人　和歌山県体育協会会長	西口　　勇
	和歌山県バドミントン協会顧問	下川　俊樹
	和歌山県バドミントン協会顧問	坂口　常博
	和歌山県バドミントン協会理事長	岩西　壯行

第1章　和歌山県バドミントン協会のあゆみ …… 3

第2章　寄　稿　文 …… 21

想　い　出	津田　充啓
和歌山県バドミントン協会創立50周年に寄せて	木津　　乾
回想録（国体当時の思い出）	寺西　　清
バドミントン協会の思い出	佐藤　　博
想　い　出	宇治　　収
バドミントン部　創部の思い出	松村　元弘
和歌山県高等学校体育連盟	井角　忠彦
和歌山県実業団連盟	塩谷　廣次
和歌山県ジュニア連盟	野崎　泰一
和歌山県社会人連盟	徳間　昭次
和歌山県中学校体育連盟	佐々木朝幸
和歌山県婦人連盟	栩原　悦子
和歌山県教職員連盟	森　　隆
クラブ紹介	

第3章　成績一覧表 …… 49

第4章　和歌山県バドミントン協会公認審判員・規約・役員・団体 …… 81

※題字「羽根球わかやま」

会長　石田真敏

第１章

和歌山県バドミントン協会のあゆみ

和歌山県バドミントン協会のあゆみ

バドミントン競技の生い立ちと県協会誕生

バドミントンはインドが母国で、イギリスに渡って近代的なスポーツに発達した競技である。

バドミントンは1820年にインドのボンベー州プーナ（POONA）で行われていた遊びを、当時インドを治めていたイギリスの駐留軍のひとりの将校が1873年（明治６年）、本国イギリスに持ち帰り紹介したものといわれている。当時まだバドミントンという名前で呼ばれていなかった。その名も“プーナ”といわれていたそうである。イギリス軍の将校が紹介した当時に、インドのプーナで盛んだった地名に由来したものである。

イギリスに持ち帰られたプーナは、グロスターシャーのボーフォート卿の領地、バドミンでルールが確立し、今日のバドミントンの原型ができた。そのため、プーナ同様に「バドミントン」の地名をとって命名されたものである。

イギリスは、バドミントンをヨーロッパ諸国やイギリス連邦の一員であるカナダ・アメリカにまで普及につとめた。

日本に紹介されたのは、1924、1925年（大正12、13年）ごろといわれている。戦前はバドミントンも、ごくわずかの限られた人々のスポーツだったが、戦後急速に盛んになった。1946年（昭和21年）に日本バドミントン協会が創立された。

当時、横浜・神戸YMCA等で普及のための講習会や競技会が行われ各府県からも参加していた。

翌22年から日本一を決める全日本選手権が開催された。アマチュア競技団体の日本体育協会には、1948年（昭和23年）に加盟した。国民体育大会では、昭和24年第４回東京大会からバドミントンがオープン競技として、さらに第５回愛知国体から正式競技として採用された。

和歌山県では昭和22年当時協会初代理事長の泉惣一郎氏は関係者を駆けずり廻って愛好者を集め、又、横浜YMCAでの講習会をうけては、和歌山大学体育館でルールブックを見ながらの指導者(愛好者)研修会を開くなどしながら、ついに昭和24年和歌山県バドミントン協会を設立、同12月21日日本バドミントン協会に加盟した。

協会設立後黒潮国体まで

昭和25年には、桐蔭高校にバドミントン部ができ、他の数校の高校では同好会の形で活動していた。

昭和26年４月、桐蔭高校、熊野高校、向陽高校、和歌山工業高校、那賀高校、新宮高校ではクラブとして認められ、県バドミントン協会に加盟するにおよんで、いよいよ本格的に活動しはじめた。

同26年第６回広島国体に、はじめて高校男子、女子チームが参加し、同年、北海道で開催された第２回全国高校総体にも参加した。

当時、各高校ともクラブ費は、せいぜい４～５千円程度で、シャトルコック一個が50円という状況であった。

木製のラケットはフレームショットをしたときや、空振りをした時でもはずみでよく折れたものである。

また、ネットの支柱を固定するためにはいろいろと工夫が必要であった。ラインはその都度チョークで書いた。ラインの幅をつくるためチョークを半分におって横に使い、消えにくくするため水で濡らすなど、コートづくりにもひと苦労があった。新しい競技のため、当時の部長の先生方も生徒とともに練習にはげみ、神戸や仙台での大会へも参加している。

一般では、和歌山電気軌道と紀陽銀行が中心となっていたが、やはり高校を主体とした協会であった。昭和30年４月、高校での経験者が中心となり、大日日本電線、東亜燃料、駿河屋クラブが誕生し、同時に和歌山県実業団バドミントン連盟が発足した。同様に社会人や大学のクラブも続いて誕生し、次第に広範囲で実施されるようになった。

昭和34年６月１日、県バドミントン協会設立とその後の協会の充実発展に尽力した協会の役員に対し、当時の県バドミントン協会長高垣善一氏より感謝状がおくられた。

翌35年泉惣一郎理事長が日本バドミントン協会から功労者として表彰を受けた。その後、さらに高校、実業団のクラブが誕生し、昭和40年に和歌山県職体連バドミントン大会が開催され、昭和41年には、第１回県社会人バドミントン大会が開催された。

昭和43年、昭和46年の国民体育大会が和歌山県で開催することが決定した。その成功をめざし、競技力向上のための取り組み、競技運営のための体制づくりがなされていった。

同年11月協会設立後初めての全国大会、第11回全日本社会人バドミントン選手権大会を国体リハーサル大会として湯浅町で開催、県、湯浅町の支援をうけ大成功のうちに終了することができた。

翌44年３月第１回会長杯争奪バドミントン大会を開催、同年４月県教職員連盟発足、又、協会規約を制定するなど国体開催をひかえますます充実していった。

黒潮国体編（吉田理事長記）

昭和45年から本格的な選手強化対策が行われた。教員男子、一般男子、一般女子、高校男子、高校女子の全種別を対象に県内での合宿練習、中央から講師を呼んでの合同練習、県外遠征試合などを重ね、実力アップのため懸命にとり組んだ。それらの練習成果が徐々に実り、着実に実力をつけ選手たちの自信にもつながっていった。

一方、運営面では、競技審判員、競技補助員の養成、確保、研修等をはじめ、会場設営、各県の歓迎準備など目のまわる様な忙しさのなかで、着々と仕事をこなしていった。

そして、諸準備も整い昭和46年10月第26回国民体育大会のバドミントン競技が、有田郡湯浅町で開催された。

遠来の役員、選手団の歓迎、競技のスムーズな運営のために湯浅町民、協会役員が一丸となってそれに当った。

和歌山県選手団は、地元の声援を背に受け、今までの血のにじむような練習成果を生かそうと、あらんかぎりの力を尽し頑張った。その結果、高校女子及び一般女子はそれぞれ５位入賞を果たした。さらに教員男子、高校男子チームは、強豪を次々打ち破り両チームとも和歌山初の決勝まで駒を進めた。両チームとも死力を尽くし優勝するため頑張ったが、惜しくも準優勝にとどまった。しかし、この両チームをはじめ、

県勢チームの健闘により、バドミントン競技として総合第３位という輝かしい成果を収め、黒潮国体の天皇杯(男女総合優勝)獲得に貢献した。

同年、その貢献が認められ、教員男子、高校男子、教員女子（全日本教職員バドミントン大会の成績を認められた）が昭和46年度和歌山県スポーツ賞を受けた。

黒潮国体をおえて

黒潮国体後、それが契機となり県民のバドミントン熱も高まった。そして、選手たちはその後の県外大会においても輝かしい成績をおさめていった。

とくに、和歌山県教員チームは黒潮国体での準優勝をはじめ、その後、２回の優勝と３位が２回という立派な成績を収めた。更に、全日本教職員大会では、団体優勝２回、個人戦においても数多くの優勝、上位入賞を果たした。中でも昭和53年の第17回全国教員大会で男子団体、単、複を制し、三冠王を達成したことは大会史上永遠に残る快挙であり誠にすばらしいことである。

また、社会人・事業団大会で、レベルの高い近畿大会等においても好成績を収め、高校では多くの優秀選手を社会や大学に送りだした。

県では、ポスト国体の取組として競技力の向上をはじめ、数々の県民スポーツ振興策を打ち出され、わがバドミントン協会もその方針にそって積極的に協力し、バドミントンの普及・発展につとめた。

まず、地域スポーツ振興の要となる指導者の確保のため、スポーツ指導員養成事業等にとりくみ、県下各地域に数多くの新たなバドミントン指導者を得ることができた。そしてその指導者を中心にクラブやグループが育っていった。

さらに、スポーツの生活化をめざして県下各地で開設されたスポーツ教室では、誰でも手軽に実施できるバドミントンが数多く採用され、愛好者も増加した。

和歌山県婦人スポーツ連盟が昭和50年に発足したが、スポーツ教室参加者やグループで活動しているバドミントン愛好者に呼びかけ、他の種目とともに当初から連盟の構成団体として活動することとした。そして、昭和57年には和歌山県婦人バドミントン連盟設立、第１回県大会を開催するに至った。

また、県民総体・総参加スポーツ大会をはじめ地域・職域大会の競技運営にも協力し、バドミントンの普及発展につとめた。

その結果、県内の各大会の参加人数が増大し、運営する側にとっては、試合を消化するのにひと苦労となったが、これこそ誠に喜ばしいことである。

昭和60年代～平成

バドミントン人口の増加にくらべ、総合的な競技レベルが低下しているとは考えないが、とくにハイレベルにある近畿においては残念ながら下位に属する。

小・中学生からの積み上げが少ないこと、高校にバドミントン部がすくないこと、企業におけるバドミントン部の活動が低調になったことなどが考えられる。が、昭和62年、県ジュニアバドミントン連盟が発足したこと、また、中学校にもバドミントンを経験した指導者が増加し、いろいろと苦労を重ねながらついに平成３年県中学校バドミントン連盟を発足させた。今後の期待大である。

県民総体とスポ・レク

黒潮国体を契機として創設された県民総参加スポーツ大会は郡市対抗競技に対する各地方の積極的な取組みのおかげで、参加選手の競技力が年々向上しバドミントンの水準向上に大きく貢献してまいりました。

これもひとえに各地で懸命に取り組んでこられたバドミントン競技関係者の力強いご指導の賜と心から敬意を表します。

さて、平成３年に開かれた全国スポーツ・レクレーション大会のポストとして生まれたのが、県スポーツ・レクリエーション大会でありますが、今までの年齢別を男女別を男女ミックスのスポ・レク全国大会方式に競技が改められた。

運営を県協会に全面委託を受けることになり、当初は家庭婦人連盟の方々にお願いして参りましたが、現代は教職員連盟に移行して運営されております。

今後も郷土色を一杯出しあって、バドを心ゆくまで満喫できる大会でありますようにお祈りします。

吉田健次郎氏をしのんで

吉田氏は昭和28年住友金属工業(株)にバドミントン部創設、以来自ら選手及びコーチとして活躍するとともに、昭和40年に県実業団連盟チームの充実強化と普及振興に貢献し、また、同年から県バドミントン協会の設立と組織作りに奔走し今日の協会の基盤を強化するなど協会の最大の貢献者であります。

特に、46年の第26回国民体育大会の和歌山県開催が決定されるや、いち早く選手強化や、審判員の養成に、また大会準備に昼夜を問わず献身的な努力を傾注するとともに、国体バドミントン競技に当たっては運営の総括責任者として大会を成功に導き、また当時の黄金時代を築き上げた功績は大きい。

昭和48年日本実業団連盟から功労賞・昭和55年体育功労として文部大臣表彰をうけ、平成元年８月従六位勲五等瑞宝章が叙位される等その顕著さはいうまでもありません。

思えば、いつ吉田さん宅をお尋ねしても、大きな仏壇の前の机は、次の大会の要項や組合せなどの作成準備のための用紙で一杯、今日のようなワープロもなく手書きのきれいな字が部屋中に散らばっているなかから、鼻メガネでそっとこちらを眺める姿と、リポビタン飲料を差し出されるしぐさを忘れることはできません。

和歌山県のバドミントンは吉田さん一人で支えられたと言っても過言でないほど、生涯バドミントンに捧げた人として今なお多くの人に惜しまれています。

残された数々の功績を汚すことなく、協会関係者は更なる研鑽と努力を重ね、競技の普及・振興と選手の育成強化に傾注し近畿の厚い壁を破ることが、故吉田さんの今日までの積み上げた労に応えることになると、想うのは自分だけでしょうか。

吉田さん、やすらかな天国から和歌山県バドミントン協会の活躍をお守りください。

スポ・レクをふりかえって

第３回全国スポーツ・レクリエーション祭スポレクわかやま'90わかやまの地で平成３年10月13日～16日開催された。

黒潮とみどり豊かな、ここ紀州路に三笠宮寛仁親王殿下同妃殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多数のスポーツ愛好者のご参加をいただき

108万県民の喜びと感動のうちに『黒潮の風に友情光る汗』のスローガンのもとに開かれた大会は、手に汗握る熱戦のあとのさわやかな交流は多くの人々に良き想い出の一ページとなりました。

年齢別バドミントン競技は岩出町で全国から48チーム432人の参加のもとに繰り広げられた想い出の記録をここに再掲させていただきました。

年齢別バドミントン

和歌山県バドミントン協会

スポレクわかやま'90「年齢別バドミントン大会」が、さわやかな秋風吹く新義真言宗の総本山根来の里、岩出町民総合体育館で盛大に開催され、全国各地から「北キツネチーム」（北海道）、「すきやねんチーム」（大阪）、「飛ぶが如くチーム」（鹿児島）などユニーク名に代表される壮年・熟年の選手430名の参加を得て、「ふれあいのなかにも技を競う」すばらしい大会となりました。

また、開始式における地元保育園児鼓隊のかわいい歓迎は、熱き思い出として選手役員の胸に深く刻まれたことでしょう。

私ども県協会にとって全国大会を運営するのは、昭和46年開催の「黒潮国体」以来であり、現役員には初めてのことでした。

そのため、第１回山梨大会、第２回愛媛大会とも協会から視察員を派遣し、大会運営の隅々まで把握したつもりでしたが、大会当日が近づくにつれ、少なからず不安を感じたものでした。

大会運営については、地元岩出町と協議の結果、協会は準備を含め監督者会議と３日間の競技運営を、町実行委員会は、開始式と閉会式を担当することになりました。中でもコートマットについては、県実行委員会で２面を購入し、残り６面は長岡京市と大和高田市の御厚意により８面を準備することができ安心したものでした。

競技運営は県協会、岩出町協会、家庭婦人連盟がそれぞれの係を担当し、実業団連盟と教職員連盟は審判員を、高体連は審判補助員というように協会の組織を上げて取り組んだため、大会はスムーズに運営することができました。

また、本大会ではスペシャルゲストとして、全日本事業団の王者「サントリーチーム」を迎え、スポレク・スクールを開催、各グループ代表との試合のほか「サントリーチーム」による模擬試合をも実施して、参加の皆さんから喝采を浴びました。

大会を無事終えた今、本来の自分の仕事とスポレク準備のかけもちの中で、東奔西走したあの日、あの時の思い出をなつかしく思い出しています。御支援、御協力いただいた関係者のみなさん、どうも有難うございました。

年齢別バドミントン

1　主　　催　(財)日本バドミントン協会、岩出町

2　主　　管　和歌山県実行委員会、和歌山県バドミントン協会、岩出町実行委員会

3　期　　日　平成２年10月13日（土）・15日（月）・16日（火）

10月13日(土)	開始式 スポレクスクール グループ別リーグ
10月14日(日)	開会式 シンポジウム 特別行事
10月15日(月)	グループ別リーグ グループ別リーグ等
10月16日(火)	グループ別リーグ等 表彰式

4　会　　場　岩出町民総合体育館（岩出町）

5　参加人員と構成

監　　督	1	
40 歳 以 上	男	2
30 歳 以 上	女	2
混合ダブルス	50歳以上男	1
	50歳以上女	1
参加チーム数	48	
参加者合計	432	

(1)　監督は選手を兼ねることができる。

(2)　チーム編成は、30歳以上女子ダブルス、40歳以上男子ダブルス、50歳以上の男女混合ダブルス、計３組とする。

(3)　上記以外に交代員２名を加えることができ、最大９名までとする。なお、高い年齢者が低い年齢のクラスに出場できる。

(4)　参加チームは各都道府県１チーム、和歌山県は２チームとする。

6　種目実施上の規則及び試合方法

(1)　平成２年度(財)日本バドミントン協会制定の「バドミントン競技規則」による。

(2)　試合方法

ア　試合は、15ポイント３ゲームマッチとする。

イ　第１日目（10／13）・第２日目（10／15）の前半は、４チーム（12グループ）によるグループ別リーグを行う。第２日目の後半・第３日目（10／16）は、グループ別リーグの第１位チームによってグループ別リーグ等を行う。

ウ　勝率が同じ場合の順位決定は次の順序による。

得失ポイント数の差

エ　グループ別リーグは、２組を先取り（２勝）しても３組目の試合を行う。ただし、グループ別リーグ等（第２日目後半、第３日目）は、２点先取で行う。

(3)　組合せ

和歌山県実行委員会が行う。

7　参加者の資格等

(1)　第３回全国スポーツ・レクリエーション祭実施要項に定めるところによる。

(2)　平成元年度全日本総合選手権大会に参加した者及び今までに世界選手権大会に参加した者は除く。

(3)　第45回国民体育大会に出場する者は除く。

8　表　　彰

上位３チームを表彰する。

9　参加申込方法及び問い合わせ先

(1)　参加申込みは、所定の用紙により２通作

成し、９月３日（月）までに必着するよう下記あてに、それぞれ１通をいずれも書留郵便で送付すること。

（締切期日厳守のこと。）

ア　第３回全国スポーツレクリエーション祭和歌山県実行委員会

〒640　和歌山市徒町１番地

和歌山県職員会館内

ＴＥＬ0734－32－7887

ＦＡＸ0734－32－7885

イ　第３回全国スポーツレクリエーション祭岩出町実行委員会

〒649－62　和歌山県那賀郡岩出町

荊本63－２

岩出町立町民総合体育館内

ＴＥＬ0736－62－0370・0371

(2)　参加申込み締切後の選手変更は、疾病・障害等特別な場合に限り、監督会議において認める。

10　参加上の注意

ユニフォーム等の服装については、原則として定めない。

11　監督会議

日　時　平成２年10月12日(金)16：00～

場　所　ホテルいとう　那賀郡岩出町宮83

0736－63－0600

和歌山県バドミントン協会沿革

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和21年11月	日本バドミントン協会設立
22年	和歌山大学体育館でバドミントン指導者研修会を開催
24年12月21日	和歌山県バドミントン協会発足、日本バドミントン協会に加盟 第４回（東京）国体でバドミントンがオープン競技として実施される
25年	桐蔭高校バドミントン部誕生 第５回（愛知）国体で正式種目に採用される
26年４月	那賀高校、向陽高校、星林高校、熊野高校、新宮高校、和工高校バドミントン部誕生、県高体連バドミントン部発足
26年	第６回広島国体、第２回インターハイへ初参加、（那賀高チーム） 近畿高校選手権大会男子単　三毛兄（那賀）優勝
27年４月	和歌山大学バドミントン部誕生 近畿高校選手権大会女子単　小川（星林）第２位
28年４月	耐久高校バドミントン部誕生 近畿高校総体男子団体　和工　第３位 西日本選手権大会一般男子単　寺口（関大）第３位 高校男子単　水谷（和工）第４位
29年４月	大成高校バドミントン部誕生 （県高体連誌第１号発行）
30年４月	大日日本電線クラブ、東亜燃料クラブ、和歌山医科大学クラブ誕生 県実業団バドミントン連盟発足（大日、東燃、和電軌、紀陽） 近畿高校総体男子団体　和工　第３位、女子団体　星林　第３位 大学東西大会　寺口（関大）が出場　西軍初勝利
31年４月	新宮高校ＯＢクラブ、那賀高校ＯＢクラブ、向陽高校ＯＢクラブ誕生 近畿高校新人大会男子複　田中・小坂（新宮）第４位 男子単　小坂（新宮）第２位、田中（新宮）第３位
32年４月 32年	丸善石油クラブ誕生 近畿実業団大会男子団体　東亜燃料　第２位 近畿高校総体男子団体　新宮　第３位、女子団体　耐久　第３位 近畿高校新人大会男子複　新谷・根本（新宮）優勝 女子複　油谷・井内（耐久）　第２位 男子単　根本（新宮）第３位 女子単　油谷（耐久）第２位、井内（耐久）第３位

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和33年	近畿実業団大会男子団体　東亜燃料　第２位 近畿高校総体男子団体　新宮　第３位 女子団体　耐久　優勝 全国高校総体女子複　油谷・井内（耐久）ベスト４
34年４月 34年６月	吉備高校、御坊商工高校バドミントン部誕生 高垣協会長より協会役員に対して感謝状を贈る
35年	泉惣一郎理事長が日本バドミントン協会功労賞（個人）を受ける 近畿実業団大会男子団体　丸善石油　優勝 全国高校総体男子単　西端（向陽）ベスト８
37年	和歌山県バドミントン協会は日本バドミントン協会支部表彰を受ける 団体近畿予選　教員　第２位
38年	第18回国民体育大会（山口県下関）で水谷哲雄（東燃）が団体10回出場で表彰される
39年４月	新宮商業高校バドミントン部誕生 全国高校総体男子単　堰本（新宮）ベスト８ 近畿高校総体男子単　小久保（新宮）第４位 女子複　川瀬・坂口（耐久）第４位
40年５月 40年	住友金属クラブ誕生 第１回和歌山県職体連バドミントン大会開催 近畿高校総体男子単　山口勇（新宮）優勝 国体近畿予選　高校男子　第２位
41年	第１回県社会人バドミントン大会開催 全国高校総体男子団体　新宮高校　ベスト８ 国体近畿予選　高校男子　優勝 近畿高校総体男子団体　新宮　第４位 女子団体　新宮　第４位
43年３月 43年５月 43年５月 43年７月 43年10月 43年11月	花王石鹸クラブ誕生 宮崎熊理事長辞任、吉田健次郎理事長就任 岡本善右衛門会長辞任 野島一翁会長就任 山口勇選手県スポーツ顕賞受賞（国際学生選手権団体優勝、単５位） 第17回近畿実業団大会開催（住友金属体育館） 男子団体　住友金属　第３位 第11回全日本社会人バドミントン選手権大会湯浅町（耐久高校・耐久中学校・湯浅小学校）で開催　　30才男子単　松居茂雄（新宮）第３位

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和44年２月	県教職連盟発足
44年３月	第１回会長杯争奪バドミントン大会開催
44年３月	近畿教育系大学バドミントン大会開催
44年４月	和歌山県バドミントン協会規約制定
	第１回近畿総合選手権大会開催（住友金属・県立体育館）
	男子単　厚地（住金）第４位
	近畿実業団大会男子団体　住友金属　第２位
	女子団体　住友金属　第４位
45年４月	明洋中学校バドミントン部誕生、湯浅クラブ誕生
45年	第19回近畿中学校総体へ明洋中学校初参加
45年	和歌山県バドミントン協会旗製作（図案吉田理事長）
	第９回全日本教職員大会（岐阜）
	男子単　森　隆（新宮）第３位
	近畿実業団大会（伊丹）　男子団体　住友金属　第３位
	女子団体　住友金属　第４位
	近畿総合選手権大会（奈良）男子単　厚地（住金）第３位
	国体近畿予選　高校男子　第２位
46年１月	野島一翁会長辞任、寺西清会長就任
46年４月	湯浅中学校クラブ誕生
46年10月	県庁クラブ誕生
	第26回国民体育大会バドミントン競技が湯浅町（耐久高校・湯浅中学校）で開催
	天皇杯得点総合第３位　得点６点
	教員第２位（森　　隆・中西詳味・佐藤光伸）
	高校男子第２位（山本茂樹・倉内　徹・岡田忠成）
	一般女子第５位（岡　栄子・加藤洋子・森田真理子）
	高校女子第５位（湯川泰子・平田佳津恵・坂本清子）
	近畿教職員大会（滋賀）男子団体　優勝　女子団体　優勝
	全国高校総体（善通寺）男子単　山本（新宮）ベスト８
	第10回全日本教職員大会（岡山）
	女子複　森田真理子・加藤洋子　第２位
	教員男子、教員女子、高校男子が県スポーツ賞を受賞
47年１月	近畿教職員大会　男子団体　優勝　女子団体　優勝
	男子単　中西詳味　優勝
	近畿総合男子単　佐藤（新宮教）　第２位

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和47年３月	和歌山県バドミントン協会誌発刊（創立22年のあゆみ）
47年10月	鹿児島国体教員男子　初優勝
	天皇杯得点総合第５位（森・中西・門間）
47年11月	第19回近畿高等学校選手権大会開催
	第11回全日本教職員大会（秋田）
	男子単　門間　第２位　女子単　門間（小片）　優勝
	門間幹夫選手、教員男子県スポーツ賞を受賞
48年	近畿総合（兵庫）女子単　門間（新宮教）第２位
	近畿教職員大会男子団体　第２位　女子団体　優勝
	男子単　森　優勝　男子複　中西・門間　優勝
	第12回全日本教職員大会（滋賀）男子団体　第２位
	男子単　門間　第３位　女子単　門間　第３位
	門間幹夫選手、門間千恵子選手県スポーツ奨励賞を受賞
49年５月	近畿教職員大会男子団体　優勝
	男子単　門間　優勝　女子単　門間　優勝
49年８月	第13回全日本教職員大会（熊本）
	男子単　門間幹夫　優勝　森　　隆　第３位
	女子単　門間千恵子　第３位
49年９月	国体近畿地区予選会を開催
49年10月	茨城国体　天皇杯得点総合第５位　得点3.5点
	教員男子　優勝（２回目）（門間・武藤・森）
	一般女子　第５位（門間・武藤）
	門間幹夫選手、教員男子県スポーツ賞を受賞
	門間千恵子選手、森隆選手県スポーツ奨励賞を受賞
50年６月	近畿教職員大会男子団体　第２位　女子団体　優勝
	第14回全日本教職員大会（栃木）男子単　門間　優勝
50年	門間幹夫選手、山本茂樹選手県スポーツ賞を受賞
50年	近畿総合選手権大会開催
51年	近畿総合選手権大会男子単　山本茂樹　優勝
51年６月	近畿教職員大会男子団体　優勝　女子団体　優勝
	男子単　門間幹夫　優勝　女子単　村崎　優勝
	佐賀国体教員男子第３位（門間・武藤・山本）
51年８月	第15回全日本教職員大会（東京）男子団体第２位
	男子単　山本茂樹　優勝　門間幹夫　第３位
51年	山本茂樹選手、教員男子チーム県スポーツ賞を受賞

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和52年１月	近畿教職員大会男子団体　優勝　男子単　山本茂樹　優勝
52年３月	近畿総合選手権大会一般男子単　山本茂樹　優勝
	男子複　山本茂樹・米山正和　優勝
52年８月	第16回全日本教職員大会（山口）
	団体男子　優勝（森・門間・中西・武藤・山本・米山・平瀬）
	男子単　山本　第３位
	男子複　山本茂樹、米山正和選手優勝
52年10月	青森団体教員男子第３位（門間・山本・米山）
52年11月	第24回近畿高等学校選手権大会開催
52年	門間幹夫選手県スポーツ顕賞受賞
	山本茂樹選手、米山正和選手、教員男子、教職員男子県スポーツ賞受賞
53年１月	近畿教職員大会男子団体　優勝
	男子単　米山正和　優勝、複で山本茂樹、米山正和選手優勝
53年３月	近畿総合選手権大会男子単穂谷真弘（丸善）第２位
	一般男子複　山本茂樹・米山正和　第２位
53年８月	第17回全日本教職員大会（宮城）男子団体　優勝
	（森・門間・武藤・山本・米山・平瀬）
	男子単　山本茂樹　優勝　米山正和　第２位
	男子複　山本茂樹、米山正和　優勝（初の三冠王となる）
53年10月	長野国体で日本バドミントン協会から吉田健次郎理事長が功労賞を受ける
53年11月	第27回近畿実業団選手権大会開催、女子団体（住友金属）優勝
53年	森隆選手、山本茂樹選手県スポーツ顕賞受賞
	米山正和選手、教職員男子県スポーツ賞を受賞
54年	近畿教職員大会男子複　米山・山本　優勝
54年４月	寺西清会長辞任
54年４月	坂口常博会長就任
54年８月	第18回全日本教職員大会（福岡）男子団体　第３位
	男子複　米山・山本　第３位　男子30歳単　森隆　優勝
55年１月	第２回近畿婦人大会にオレンジクラブ初参加
55年１月	県協会が広報の創刊号発行（羽根球わかやま）
55年	近畿教職員大会男子団体　第２位　女子団体　第２位
55年８月	第19回全日本教職員大会（石川）男子団体　第３位
	男子単　森　第３位
55年10月２日	吉田健次郎氏文部大臣表彰（体育功労）を受ける
56年１月	羽根球わかやま第２号発行

年　月　日	説　　明　　事　　項
昭和56年	近畿教職員大会男子複　米山・山本　優勝
	第20回全日本教職員大会（福島）
	男子複　米山・山本　第３位　女子単　門間　第３位
	近畿総合選手権大会開催
56年11月	羽根球わかやま第３号発行
57年３月	和歌山スポーツ50年史に投稿
57年４月	和歌山県婦人バドミントン連盟発足
57年８月	和歌山県婦人バドミントン大会（第１回）
58年３月	第５回近畿家庭婦人バドミントン大会開催（和歌山県立体育館）
58年４月	羽根球わかやま第４号発行
	近畿総合選手権大会
	30才男子単　川村桂司（住金）優勝
	字治　収（三洋）第２位
59年	第23回全日本教職員選手権大会（青森）男子単　森隆　第３位
	近畿総合選手権大会30才男子複　川村（住金）・田村（住化）第２位
60年５月	羽根球わかやま第５号発行
	近畿教職員大会男子団体　第２位
	第24回全日本教職員大会（福井）30才男子単　森隆　第２位
60年10月	近畿実業団大会男子団体　住金化工　第２位
61年	近畿総合選手権大会男子複佐々木・児嶋（県教委）第２位
62年５月	和歌山県ジュニアバドミントン連盟発足
62年	近畿総合選手権大会開催
63年４月	吉田健次郎理事長辞任
63年４月	津田充啓理事長就任
63年４月	羽根球わかやま第６号発行
	近畿家庭婦人バドミントン大会開催（和歌山県立体育館）
平成元年４月	坂口常博会長辞任
元年４月	石田真敏会長就任
元年５月	羽根球わかやま第７号発行
元年８月	吉田健次郎従六位勲五等瑞宝章を受ける
２年４月	羽根球わかやま第８号発行
	近畿総合選手権大会男子複　佐々木・児嶋（県教委）第２位
２年10月	第３回全国スポーツレクレーション祭岩出町体育館で開催
２年10月	近畿実業団大会男子団体　住金　第２位

年　月　日	説　　明　　事　　項
平成３年	羽根球わかやま第９号発行
	和歌山県社会人バドミントン連盟発足
	和歌山県中学校バドミントン連盟発足
４年４月	津田充啓理事長就任
４年４月	木津　乾理事長就任
４年	羽根球わかやま第10号発行
４年10月	第１回県社会人バドミントン団体リーグ戦（住金体育館）開催
５年10月	第42回近畿総合選手権大会（和歌山県立体育館）開催
５年	近畿総合選手権大会30才男子複　野生・中前　第２位
５年12月	第６回近畿小学生大会（和歌山県立体育館）開催
６年	近畿総合選手権大会
	30才男子複　西・児嶋　　第２位
	40才男子複　中村・田村　優勝
６年	近畿家庭婦人バドミントン大会（和歌山）阪神大震災のため中止
７年７月	近畿教職員（団体）大会（向陽高校）開催
７年	近畿総合選手権大会40才男子複　木村・田村　第２位
８年	近畿教職員大会男子単　武野宗睦　優勝　40才男子単　武藤隆志　優勝
８年12月	近畿総合選手権大会
	30才男子単　乳井重雄　第２位
	30才複　　西、児嶋　第２位
	近畿高校選抜選手権大会（和歌山県立・河南体育館）開催
９年８月	近畿中学校大会（河南体育館）開催
８～11日	第36回全日本教職員選手権大会（新宮市）開催
11月	第44回近畿高校選手権大会（和歌山県立体育館）開催
11月23日	近畿社会人団体選手権大会（ビッグホエール）開催
10年９月	近畿総合選手権大会　30才男子複　児嶋・北川
11年４月	木津乾理事長辞任
11年４月	岩西壯行理事長就任
11年５月	羽根球わかやま第11号発行
11年７月	近畿教職員大会男子団体　優勝
11年９月17日	和歌山県バドミントン協会創立50周年記念式典挙行及び記念誌発刊
11年９月18～19日	第48回近畿総合選手権大会（和歌山県立・ＮＴＴ会館体育館）開催
11年12月	第12回小学生大会（和歌山県立体育館）開催予定
12年２月	第22回近畿社会人（個人）選手権大会（和歌山県立体育館）開催予定

歴代役員一覧表

年度	会長	副会長	理事長	高体連専門委員長	協会事務局長
昭和22					
23					
24			泉　惣一郎（初代）		泉　惣一郎
25					
26					
27				島田　実	
28				水崎　広	
29				吉田　正雄	
30	高垣　善一（初代）			上田　忠男	
31					
32					
33					
34				角谷　重雄	
35				木坂　登	
36	岡本善右衛門				
37					
38			宮崎　熊		宮崎　熊
39					
40					永弘　利之
41					西尾　元祐
42		久保田尚三 宮崎　熊			加山　邦夫
43	野島　一翁		吉田健次郎	佐藤　博	吉田健次郎
44					
45					
46	寺西　清				
47					
48					
49					
50					
51					
52				宮本　稔	
53		（兼） 吉田健次郎			
54	坂口　常博				
55					
56					
57				山西　節子	
58					
59					
60					
61					
62				森　隆	
63			津田　充啓		宇治田文彦
平成元	石田　真敏			武藤　隆志	
2		津田　充啓 宮本　稔 松居　茂雄 （兼） 木津　乾 松居　修一 荒尾　寛			
3					
4					
5			木津　乾	井角　忠彦	武藤　隆志
6					
7					
8					
9					
10					
11			岩西　壯行		

第２章

寄　　稿　　文

想　い　出

副会長　津田充啓

ズブの素人の私がいつの間にか、弱小の県庁クラブ部長職であったことから、当時の吉田理事長から、会長の選任について相談を受け、仮谷体協会長（県知事）に坂口博之東邦荘社長を推され就任決定されたことから、坂口さんの補佐として私が協会の一役を担うことになったのが始まりであります。

坂口会長は就任早々、底辺の拡大は、まず種まきから始めようと紀北・紀中・紀南にそれぞれ連盟設立をし、またジュニアの普及強化を目指すべきと事有る度に叱咤激励いただきました。その他、特別会計の賛助金制度の導入を実施し、共に協賛の依頼廻りに奔走したこともありました。

私自身も、高校生が近畿勢とのあまりの格差に愕然として、近所のジュニアを集め、俄かつくりのチームを結成し、始めての小学生大会を58年度の会長杯の大会にコートをお借りして行うなど、ジュニアの普及に『走りながら考える』の一歩でありました。

吉田前理事長から色々とご指導いただき少しはなれて、これからの時に、坂口会長が急きょ退任を余儀なくされ、当時県会議員でスポーツに深い関心とご理解をもたれる石田真敏氏に、また仮谷体協会長からバド協会会長就任を要請いただき、石田さんに会長をお引受け戴いて現代に至っている次第であります。

協会設立当初からの功労者である吉田前理事長が逝去されましたが、死亡叙勲の手続に石田会長のご指導を戴き、勲六位勲五等瑞宝章を受けられたことは、吉田さんに何よりの花むけが出来たことでありました。また、第三回全国スポーツレクリエーション大会が岩出町で開催され町実行委員会と協会との役割を明分化されたため、極めてスムーズな運営で大成功裡をえることのできたのも、町当局・協会役員や各連盟の絶大なご支援、ご協力があってなしえたものであります。更にポスト・スポレクとして翌年から県民総体が始まり家婦連のご支援を戴きながら運営にあたって参りました。

バブルがはじけ企業経営も厳しい状態の中で、企業のクラブ活動も陰り、かろうじて住友金属グループのみが、存続が維持できるかどうかと言われている困難な時に、木津さんに理事長をバトンタッチすることになり誠に心苦しい限りでありましたが、木津さんは、教育界の出身だけに小・中・高の一貫した学校体育を目指していただける、明るい展望が期待できるだけに嬉しい限りでありました。

私自身、はたして任期中の理事長として、その責を果たせたのか自問致しておりますが、ともあれ多くの人々との出会いを戴きご指導とご支援を賜ったことに感謝で一杯であります。ありがとうございました。

厳しい各連盟の現状であろうと存じますが、相互に協力して更なる競技レベルの向上と協会の発展を心からお祈り申し上げます。

和歌山県バドミントン協会創立50周年に寄せて

－競技団体の使命と今後の運営について思うこと－

副会長　木津　乾

和歌山県バドミントン協会の創立50周年を心からお祝い申し上げます、創立以来協会の運営に御尽力いただいてこられた役員の方々や、会員の皆様方に深く感謝申し上げます。特に、私は黒潮国体（昭和46年当時）の県保健体育課（国体競技課）の選手強化を担当していましたので特に感悦ひとしおのところがあり今は亡き熱意あふれる吉田さんのお顔が心に焼きついております。

今日県バドミントン協会の基礎を築いていただきましたことと言っても過言でないと信じています。よく吉田さんと湯浅の会場へ出かけて助言をいただいたことを思い出しています。おかげで黒潮国体ではバドミントン競技で相当の成果をあげることが出来ました。この後県体協の方針で国体の成果を生かした各競技団体の在り方の中で婦人スポーツの振興で県婦人スポーツ連盟が設立されバドミントンにおきましても婦人専門部が生まれ競技団体としては今日の女性スポーツの振興の基本パターンが出来ました。こんな中で地方におきましてもスポーツの振興の機運が生まれ競技人口が拡大し一方小中高校生達もバドミントン競技に取り組む姿が多くなってまいりましたことは県バドミントン協会にとりましても大変喜ばしいことでありました。

ここで私の理事長在任中に和歌山県で開催した全国大会ですが開催地の新宮市の関係の方々の大変なお力添えを賜りました全国教職員大会です。

全国の関係の方々から大きな評価を受け大成功のうちに終了することが出来ました。ここで新宮市関係の方々に厚く御礼と感謝申し上げたいと存じます。

さてここで標題にも記述しました今後の競技団体のあり方等々について提言的になりますがふれてみたいと思います。このことは今後県バドミントン協会の行方を大きく左右するものと確信いたします。

① 先ず会員の登録人数の増大手法であります。

いつも全国評議員会で本県が会員数が最低であることから会員みんなの工夫で増加手法を考えていかなくてはならないと思います。特に小中高の生徒が減少していく中で社会人や女性の方々の会員加入方について御努力をお願いする次第です。

② 競技力の向上です。

このことは言うまでもなく本県は黒潮国体を機にＡクラスから最終クラスまで落ち込んでいることです。これは私の特論ですが小学生に焦点を当て小学生連盟の強化を図りバドミントン協会会員による家族システムを取り小学生から競技者を育て中学生へ又高校生へと段階的に強化を図っていくことです。月日はあっと言う間に過ぎて行きます。

このことはすでに取り組む重要な課題です。みんなで目標を定め実行していきましょう。きっとこのことは県バドミントン協会発展の救世主となってくれます。競技団体の使命は強くなり元気を取り戻すことにあり、ひいては競技人口、会員の増加につながってきます。

あと財政基盤の確立等がありますが紙面の都合上前理事長として力の及ばなかったことを反省も込めて記述と致します。

みんなでがんばりましょう。

回想録（国体当時の思い出）

和歌山県バドミントン協会
元会長　寺西　清

第26回国民体育大会を和歌山県に誘致するに際し、昭和42年８月11日県から湯浅町がバドミントン競技の会場となるよう内示があり、同年12月15日町議会が誘致を決議、そして、その日に協会と町で第１回打合せ会が開かれた記録が残っている。当時はおそらく町役員もバドミントン競技の知識は皆無であったと思う。しかし、国体目標として協会も開催町も負けられないという一種の闘志のようなものに支えられて準備を進めてきた結果、協会始まって以来の好成績を収めることが出来た。又競技運営に於いても好評を博したことは、選手は勿論、理事長を先頭に関係役員以下協会全体が一丸となって、事に当られたたまものであり、文字どおり、汗と油の結晶であるといっても過言でないと思います。私が開催地の町長という関係からは計らずも前町長より会長の席をうけつぎましたが、町政の多忙から何もお力になれず、誠に恐縮に存じています。それだけに理事長のご苦労は察するに余りあったと拝察いたします。

会場は貧弱な田舎町のため「バドミントン界」にもありましたとおり、ミニミニ会場で運営に何かとご不便をおかけしたと思います。しかし、そのギャップを団結の力で見事はね返し、「史上、初の珍事あいついだ大会、好印象の国体」として成功させていただいたことを協会の皆様にお礼申し上げます。

湯浅町でバドミントン競技が記録されたのは昭和29年頃国体予選に耐久女子が出場してからだと思います。しかし、そのほか一般ではラケットを持つ姿もあまり見られなかったが、国体開催２年前頃から公民館でバドミントン教室が開かれ、小・中学生が参加し、更に発展して湯浅バドミントンクラブが出来ました。これをみてもバドミントン競技がスポーツとして喜ばれ、しかも健全な青少年の育成に非常に役立つことは言を持ちません。そして日頃の練磨により国体で示したような輝かしい成果も決して夢ではないと信じます。

協会初代理事長泉惣一郎氏はひとり関係者を駆けずり廻って愛好者を集め、又講習会を開き、昭和24年12月県バドミントン協会が設立されたと聞いております。その後26年広島国体に初めて選手を送るまで相当ご苦労されたと思います。歴代の会長、理事長を初め役員のお骨折りにより今日があり、黒潮国体に示された立派な成績を期として、会員がお互いに協力して、更に競技人口の増加と競技レベルの向上に努められるよう切にお願い申し上げます。

（昭和47年　協会誌より）

バドミントン協会の思い出

和歌山県高体連バドミントン専門部
元委員長　佐藤　博

泉さんのこと

私が高体連の専門委員長を退いてから22年も過ぎてしまいました。協会との関わりでエピソードをとのことで今となっては薄れてしまった記憶の糸を何とか手繰ってみました。当時の先生方と電話でお話を伺ったりしながら努力してはみましたが自信がありません。

その中で共通して出てきたのは泉惣一郎さんでした。御坊商工で永年指導しておられた角田先生や宮本先生が日高高校の定時制におられた昭和30年頃でしょうか、泉さんが日曜日に手弁当で指導にこられルールから技術的なことまで熱心に教えて下さった。今思えば帰りに一献差し上げたような記憶もないなと。私が耐久高校に赴任した昭和27年当時、秋田出身の佐々木先生が中心になって昼食後先生や女子生徒が入り交じって、私自身生まれて始めてみるシャトルコックを打ち合って楽しんでいました。

その翌年女子バドミントン部としてスタートしたのですが、泉さんにも度々来ていただいたり、当時強かった和工の男子選手を紹介してもらったりしたものでした。お陰でその翌年インターハイ金沢大会に参加できたのですが、まさに草創期でした。印刷関係のお仕事だったとか、車は少なく国道でさえ舗装されていない所も多かった時代に若い奇麗な奥さんを乗せライトバンで来られたように思います。バドミントンに情熱を注いでおられたのだと今更ながら思い出されます。高体連の近畿大会が初めて和歌山で開催されたときにも顔を出され心配だったのでしょうか、本部席近くにおられ口を出されていたのを覚えています。ただし、それが元でトラブルがあったのでしたが。彼とバドミントンとの出会いはどんなだったのでしょうか、興味を感じます。なにしろ敗戦後の混乱が尾を引いていた時代そして新しいスポーツでしたから。

黒潮国体のこと

私にとって印象深いのは黒潮国体ですね。理由は分かりませんがバドミントン会場が湯浅町に決定、協会の会長が寺西湯浅町長になり、主会場は1会場で6面とれる所が無かったので耐久高校3面、湯浅中学校3面を当てられましたが、このようなことは今まで無かったとか。練習会場には湯浅小学校と隣町の耐久中学校でした。

所が耐久高校の講堂は計測の結果天井の高さが規定の8メートルに充たないことが分かり、さらに天井のかさ上げは構造上無理、上がだめなら下を掘れと、床下を掘り下げフロアー部分を30センチほど下げる工場、更にドアの外側にプレハブの本部席の建て増し。天井間接照明工事。フロアーの明るさは500ルックス以上でしたか、何度も測りました。前の年4人程で視察に行った岩手国体の会場であった釜石市から送られてきたラバーコートの張り付けも大変でした。左右のコートのラインがくの字になってすまうんです。役場の担当者も加わり力を合わせ

て引っ張ったものです。

指導者養成講習会が代々木のスポーツセンターであったり、トレーナー講習会が泊まりがけで田辺でありバドからも何人か参加して他種目の人達と跳んだりはねたり救急法やマッサージしたりしたこともありました。

審判員は一級が殆どいないというので奈良で開かれた近畿高校選手権大会を利用して顧問の先生方全員夜間講義を受け筆記試験、翌日の試合で主審と線審の実地試験でした全員合格はしましたが本番では役員の手が足りません、審判長の宮本先生以外は近畿の先生方に依頼したものです。線審員の養成や選手の誘導係など御坊商工・向陽・星林・那賀の各校の応援をもらい耐久も含めて60名以上でした。1コートに線審4名でしたか、それに透明な下敷きにマジックで水平に線を一本書いたものを透かしてサーバーのオーバーウエストを判定する者も必要でした。

肝心の選手強化は大変でしたね。開催県でしたので成年男女と少年男子の出場権があったのですが予想得点で強化費が随分違ったと思います。この際全体のレベルアップを願う高体連からすれば不満でしたが、県外遠征や強化合宿など選手も監督も大変だったとおもいます。しかし結果的には予想以上の好成績を喜び合ったものでした。

思い出の人々

黒潮国体の準備段階から協会の組織が一段と強化され高体連から3名が理事となり、理事長は吉田さん、大企業の方だけにそつのない一途な方でした。住金体育館でよくお世話になったり、千葉国体では成年男子の監督を押し付けられいろいろと苦労したものでした。意見の衝突もありましたが残念ながら既に鬼籍の人、飲みながら思い出話をしたい一人です。

久しくご無沙汰しておりますが当時事務局長の谷口さんの緻密な事務能力には敬服し、また学ぶところが多々ありました。理事会や県の保健体育科をお尋ねしたときも笑顔を絶やさぬ方で、協会にとっても大きな支えだったのではないでしょうか。

大日電線におられた温厚な背の高かった宮崎さんにも色々教えていただきましたそして小柄なスポーツマンの木村さんとは釜石へ夜行でご一緒したのを覚えています。さまざまな人々の姿が浮かんできますが不確かで断片的なものばかりで申し訳ありません。記憶違いが沢山あるだろうと思いますがお許しください。何はともあれ創立50周年誠に慶賀にたえません。益々のご発展を祈念します。

（広川町にて）

想　い　出

三洋電機　バドミントン部
前監督　宇治　收

バドミントンとかかわって今年で35年になる。

この半分の17年間、和歌山県バドミントン協会でお世話になった。

〈高校時代〉

バドミントンのスタートは那賀高校に入学した時。現和歌山県協会理事長の岩西先輩はじめ、多くの先輩方の指導を受け、インターハイにも出場できた。

今では考えられないが、出場することが目標のレベルであった。

当時県内のトップは新宮高校。高校３年の夏休み、その新宮高校の合宿に一人で参加させてもらった。

コーチには荒尾さん、１年先輩には山口勇さんはじめインターハイでも上位に入った方々が大学から帰っていて、非常にハードなトレーニングが待っていた。

一時は帰ろうかとも考えたが、涙をながしながらそのトレーニングになんとかついていった。あの厳しさを体験できたことを今では感謝しているが、当時は荒尾さんが鬼にみえた。その後、何度も森先生のお宅にお世話になりながら練習に参加させてもらい、同校の卒業生のように可愛がっていただいた。

〈住金時代〉

住金時代も多くの人々のお世話になり、また支えられてますますバドミントンにのめりこんでいった。

入社のときから一番親身になって細かいことまで面倒をみてくれたのが、当時の理事長の吉田健次郎さんであった。奥さんが経営している薬局から、栄養ドリンクやビタミン剤を持ってきては、「これ飲め」といって私の体調を気遣ってくれた。

何から何まで一人でやらないと気のすまない人であり、仕事を抱え込んで大変苦労されていた姿を今でも思い出す。

もう一人は後の監督であった土田行夫さんである。バレーボール出身で会社でバドミントンを始めた人であったが、自分に厳しく、ガッツプレーでバドミントンに取り組む姿勢には教えられることが多かった。

残念なのは、このお二人とも他界されたことである。（ご冥福をお祈りします）

住金時代の多くの思い出の一つに「黒潮国体」がある。

湯浅町での全種目そろっての合宿は苦しかったが楽しかった。

公民館での夜のミーティング（？）が盛り上がりすぎて、地元紙に記事が出てしまい、それを挽回しようと迷惑な話であるが、早朝から声をかけながら町内をランニングした事など忘れられない。またポスターとプログラムに私の写真を使っていただいた事も思い出の一つとなっている。

〈和歌山を離れて〉

1981年、これまでお世話になった和歌山を離れることになった。

前年、大阪で産声をあげた三洋電機に四条畷学園の片岡輝明先生の紹介でコーチとして入社した。

その後、監督として日本リーグや全日本実業団で優勝させてもらい、個人戦でも多くの選手と世界をめざしいっしょに戦うことができた。

大阪で活動していても和歌山に何かお役にたてないかと考え、それまで各企業の体育館で行っていた女子日本リーグ加盟チームによる「クィーンズサーキット」を初めて岩出町にお願いし、大変お世話になったが１つでもお返しできたのではと思っている。

その後チームを離れ、現在は本社でスポーツ全般のフロントの仕事に携わっており、この４月からは大阪バドミントン協会の事務局も担当している。

バドミントンを始めて35年、ルーツの和歌山をはじめとして全国でここまで支えていただいた多くの皆様にお礼申し上げます。

1999年６月

バドミントン部　創部の思い出

新宮高校バドミントン部ＯＢ会
会長　松村元弘

高校二年生だったある日、校舎の中庭で女の先生方と女生徒がこれまで見たこともないラケットで、白い羽根を打ち合っているのを見た。

私のバドミントンとの初めての出会いである。それは1951年（昭和26年）も明けて、学年末も近い頃でした。

それから数日たって私が頻繁に出入りさせて頂いていた体育教官室で、庄司博述先生から「バドミントン部を作って活動してくれんか」と云われた、私は一瞬ためらったが、先生は県の協会より、紀南地方でも是非バドミントンを普及させて欲しい、と依頼されたと云う話や、先生の熱心な頼みに私は、何の知識も技術もないまま同意してしまった。その後、友人の楠君を強引に誘い、二人は庄司先生に伴われて和歌山市の泉協会理事長を訪ね、お宅に宿泊させて頂いて星林高校の練習場に赴いた、おどろいた事に女子生徒ばかりそんな中でコーチの方よりきびしい実技とルールの特訓を受けた。

最初“女の子の羽根つき”？と思っていたものが空飛ぶ小鳥のように千変万化の飛び方をするシャトルに次第に興味を覚え、試合となると激しい運動量に驚きと疲れでヘトヘトになって帰ったのを今だに忘れられません。

帰校して新学期より正式にバドミントン部を結成するため、部員獲得に奔走、一年生から三年生迄19人の部員が集まり、教わって来たばかりのルールと練習方法を説明し、翌日より猛練習が開始された。

旧制中学当時の雨天体操場を練習場に夜遅く迄電気をつけて連日、ろくに勉強もせずバードを追い続けたものでした。

天井は低く、ハイクリアーは殆ど駄目で、床も古く、コンクリートのデコボコに悩まされ、土、日曜は小学校の講堂をお借りしたりしての練習でした。

６月に県大会が開催され（当時はすべて個人戦でした）初出場は３人が二回戦に進むのがやっとの惨敗ぶりでした。

唯、技術は劣っても気力だけは他校に負けないものがあった、と云うのは県下のレベルに追いつくためには他校の二倍も三倍もの練習をしなければという負けん気が、部員全員にみなぎっていた。

７月に行われた大会ではダブルスで二位に入り大阪、高津高校で行われた阪和対抗戦の県代表の一員に選ばれ、又、天理大学体育館で行われた近畿大学への出場の機会も与えられましたが、一流選手との実力の差は歴然としていました。

唯、夏に行われた県大会で当時県下最強校の那賀高校の有力選手が不参加だった事もあって、シングルスで優勝、ダブルスで二位となりバドミントン人生の最高の思い出となりました。

その後、後輩諸氏のたゆまぬ努力が実って県下では常にトップクラスの実力校として成長し、又、紀南地方のバドミントン人口も増え続け一般の人々の間でも同好会、婦人クラブ、少年団

等でバドミントンを楽しむ姿がよく見られる様になり、私が白羽に魅せられて、約半世紀「バドミントンって、いったいどんなもの」と言われ続けた当時を思い起こし、懐かしくもうれしくも思う、この頃です。

私はバドミントンを通じて素晴らしい方々との出会いもありました、色々お世話を頂きました事、あらためて厚くお礼申し上げます、と共に、これ迄、県下のバドミントン界をリードして、50周年と云う輝かしい足跡を残された県協会が、21世紀に向けて、実に大きく発展される事を願ってやみません。

和歌山県バドミントン協会構成団体

和歌山県高等学校体育連盟

バドミントン専門委員長　井　角　忠　彦



歴代委員長

昭和26年		島田	実（那賀）
27年		水埼	広（光風工業）
28年～	30年	吉田	正雄（熊野）
31年～	34年	上田	忠男（那賀）
35年		角谷	量雄（和工）
36年～	41年	木阪	登（耐久）
42年～	51年	佐藤	博（耐久）
52年～	57年	宮本	稔（御坊商工）
58年～	61年	山西	節子（大成）
62年～平成２年		森	隆（新宮商業）
平成３年～	４年	武藤	隆志（向陽）
５年～	10年	井角	忠彦（星林）

〈創設期〉

バドミントン専門部は、昭和26年柔道専門部と共に18番目に設置承認されてから今年で49年目を迎える。初代専門委員長は桐蔭高校の島田実で、那賀・光風工業（現、和歌山工業）・向陽・星林・大成・熊野・新宮など８校でクラブ活動として行われていたと思われる。その後、桐蔭・和工・熊野では活動を止め、耐久・吉備・御坊商工・新宮商業が加わり、ほぼ８～９校の時期が昭和50年代まで続いていた。

昭和20年代から30年代は天井の低い講堂兼体育館が多く、昭和33年頃シャフトがスチールになり、昭和45年頃フレームもスチールになるまでは、重たい木製や竹製のラケットに陸鳥のシャトル、風の如く校舎と校舎の間を使っての練習など随分と苦労したものである。

また、県内の大会を開催するにも、ポール、大会書類などを単車に積んで運んだものである。

全日本高校バドミントン選手権大会は昭和26年に始められ、昭和29年までは男子（2D3S）女子（1D2S）の団体戦のみであった。県勢は昭和26年の札幌大会に男子那賀が初参加、昭和27年の普通寺大会には男子光風工業と向陽、女子は向陽と星林が参加して以来続いている。昭和27年から昭和42年まで近畿高校総合体育大会バドミントンの部（単複のみ）が大阪で開かれた。また、昭和29年から近畿高校バドミントン選手権大会が実施されそれぞれに県勢も参加している。

昭和46年には、和歌山国体が開かれ、協会や開催市町村が主体となって大会運営のための諸準備が行われたが、選手強化や試合の審判員、線審の育成など高体連の役割は多大であった。国体が無事終了し、総合優勝に寄与できたこと



など、不安と心労の中で運営に当たった人達に満足感を与えた。

以下に昭和20年代から40年代の優秀な成績を抜粋した。

昭和28年全国山形大会：男子団体和工
ベスト16

昭和29年近畿大会：男子単　田上雅巳（和工）引本隆夫（新宮）が共に第３位、女子単　上続久美子（星林）が準優勝、複でも上続久美子・稲垣陽子組が優勝、野原慶子・前岡幸（耐久）組が第３位

昭和30年近畿総合：男子和工が第３位、
女子星林が第４位

昭和31年近畿大会：男子単　小坂詮明（新宮）が準優勝、田中靖男（新宮）が第３位に、男子複でも小坂・田中組が第３位

昭和32年第４回近畿大会が初めて和歌山市で開催男子複　根本佳昭・新谷武組（和工）、女子単で油谷美津子（耐久）、女子複でも油谷・井内和子組（耐久）が準優勝、単で井内和子が第３位、当時の上田正男専門委員長（那賀）の苦労も報われたのではないだろうか。

昭和33年全国新潟大会：女子団体耐久が
ベスト８

近畿総体：女子団体耐久が優勝の栄冠を獲得している

昭和38年第10回近畿大会：男子複　堰本吉平・玉置殖久組（新宮）が第３位

昭和39年全国京都大会：堰本吉平（新宮）がベスト８

昭和40年第12回近畿大会：和歌山で３回目の開催

昭和41年全国弘前大会：男子複　山口勇・植芳雄組がベスト４

〈昭和40年～60年代〉

昭和40年代は、新宮高校が県内で断然の優位を保っていた。また、昭和46年の和歌山国体では、少年男子団体（山本茂樹・倉内徹・岡忠成）で準優勝に輝いている。

昭和50年から59年の10年間の県内の団体戦の優勝記録を見ると、男女とも新宮高校、新宮商業高校、御坊商工高校、耐久高校の４年間で優勝争いが続いている。この変化は、昭和46年のくろしお国体を契機として、高校生の強化をはかるためバドミントンの指導者が、教員として、上記４校に配属されたことが大きな要因となっていると思われる。また50年代の新宮、新商、御坊商工の優勝争いが紀北勢の刺激となり、紀北リーグを結成、レベルをあげるため紀北だけ



昭和30年代の練習風景

天井は低くラケットは木製、シャトルコックは陸鳥、ボールも支柱で支えたもの、床の土砂まじり（土足可）であったので、水をうって清掃してある。

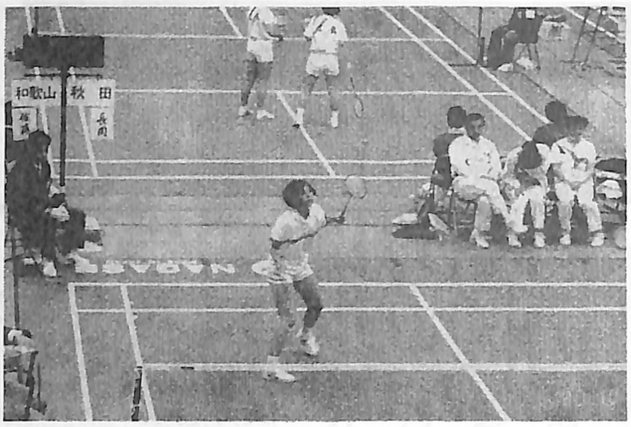
で大会を開催し、紀南・紀中勢に対抗意識を燃やした。その結果紀北勢は県大会で優勝は出来ないまでも、着実に力を付けていった。

昭和50年代の近畿・全国レベルでの活躍を見てみると、昭和51年に新宮高校が女子団体ベスト16、昭和55年に新宮高校が男子団体ベスト８、昭和54年新宮商業高校がベスト16、昭和59年新宮高校が男子団体ベスト16と活躍した。個人戦においても、昭和56年の近畿大会で児島智・児島浩組が男子ダブルスで優勝、翌年のインターハイでもベスト８に入っている。

〈現状と課題〉

昭和60年代から現代を一言でいえば冬の時代と言えよう。何故なら県大会以上の出場する大会では連敗（１・２回戦負け）が続いている。選手強化の面でいえば、高体連バドミントンとして、夏期合宿・企業講習会等を企画、団体チームには金銭面で補助を行っているが未だ実績は上がっていない。県外で勝つことができないのは中体連、ジュニア等と高校がうまくつながって指導体制が整っていないからであると考えられる。

しかしながら県内においては現在15校が加盟、発足当時の倍になっている。また、指導者数も不十分とはいえ、多数の高校に配属された。こ



の結果、近畿大会等の運営面では、スタッフも充実し他府県に劣らない運営が出来るようになり、初期の頃の苦労話が懐かしく思われるようになった。

県内の試合においても勢力分布図はかなり変動がある。今までは、高校からバドミントンを始めた生徒が大多数であったが、近年ジュニア経験者が増え、新人大会を学年別大会としていたのを、１部、２部制に変更した。また、紀北リーグの流れを受け継ぎ、優勝争いが激化し、星林、近大和歌山、向陽、那賀、伊都高校が県内大会の優勝を経験し、今までの３校に加えた新たな戦いが繰り広げられている。

今後、底辺を拡大しつつ、近畿・全国レベルで活躍できる選手の育成を、高体連バドミントン部としてどう育てていくかが課題となっている。

実業団バドミントン連盟

住金ケミカル　塩谷廣次

昭和34年４月、和歌山県実業団連盟が発足し、（大日電線・東燃・和電軌・紀陽）企業内で本格的な活動が行われるようになり、以来、企業進出に併せて加盟チームが増加し（丸善・住金・花王・県庁・三菱・住金加工等）一部・二部制により大会運営が活発に展開されるに至った。

実業団大会は全日本実業団大会・近畿実業団大会の二つがあり、県勢は近畿において昭和35年丸善の男子団体優勝を始め、昭和60年代までに住金・住金化工を含め常に上位レベルで活躍してきた。又、全日本実業団大会ではナショナルチームの選手の壁が厚く、団体ではベスト16止まりで後一歩の活躍であった。当時の練習を振り返ると交代勤務者を含め、勤務終了後毎日３～４時間、大会前は県内外の実業団、大学との合宿でレベルアップを図るなどシャトルの消費量と合わせ、バドキチの集団として充実した青春を各選手は送ってきた。

実業団大会は団体戦のみであり、全日本社会人大会（個人戦）にも各選手は活躍してきた。又、昭和50年前半は教職員連盟に全国レベルの選手がおり、実業団選手もレベルアップされたところである。

実業団大会は県内外の企業の友好が深められ、各大会に参加された選手にとっては財産となったところです。

現在は長びく経済不況で各企業のリストラが厳しく県内で本格的に活躍している実業団チームがなく、各選手は社会人として同好会クラブで活躍しているのが実態であり、一日も早い県内経済活性化と、企業活性で、又、活発なクラブ活動が再開される事を期待したい。



和歌山県ジュニアバドミントン連盟

事務局長　野　﨑　泰　一

和歌山県バドミントン協会創立50周年をお祝い申し上げますとともに、今日まで協会の運営にご尽力をいただきました先輩並びに関係者の皆様方に敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

50年と言えば半世紀、その長い歴史と伝統の中で、ジュニア連盟は誕生し、まさに子供のように育成していただいております。

ジュニア連盟の胎動は昭和56年頃から始まりました。

当時、小学生を対象としたバドミントンクラブは非常に少なく、もちろん県下統一の大会もありませんでした。

そう言った状況の中、海南市においては、昭和50年にスポーツ少年団が結成されておりました。練習を重ねるうちに、また実力をつけてくるとともに、子供達からは対外試合をしたいという希望が多くなりました。周辺に練習相手もないところから、県協会主催大会の一般の部に小学生の参加をお願いしました。

初めは危険が伴うということでしたが、なんとかお許しを得て大会に参加させていただきました。

それが原因かどうかわかりませんが、その後、当時の故吉田健次郎理事長から県協会理事のお誘いを受け、初めて出席させていただいた理事会におきまして、小中学生を対象とした大会の開催をお願いしました。

理事の中には、先の大会において一般・高校生に混じってプレーをする小学生の姿を覚えていただいており、中でも津田充啓現副会長には絶大な賛同をいただきまして、岩出町でも小学生の指導を始めるから一年待って欲しい、一年後に試合をしましょうという運びになりました。

この言葉がきっかけであり、今でも忘れられない思い出となっています。

その後、昭和58年から県協会主催大会に小中学生の部を創設いただき、競技人口も飛躍的に増えました。　そうして昭和62年４月の県協会理事会において、ジュニアの部を独立した機関として運営することをご承認をいただき、石田真敏現会長を連盟会長として、同年５月にジュニア連盟が発足しました。

以来今日に至るまで、県協会関係者、また各団体の指導者の皆様方にはジュニア育成に多大なるご協力をいただきました。

この場をお借りしまして重ねて厚くお礼を申し上げる次第でございます。

現在、後継指導者の育成等の重要な課題もございますが、今後も小中学生の競技人口の拡大や競技力の向上を目指し、バドミントン競技の普及・発展に努めて参りたいと考えておりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、和歌山県バドミントン協会の今後更なる躍進を祈念致しまして、50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

和歌山県社会人バドミントン連盟

理事長　徳岡昭次

この度、和歌山県バドミントン協会が、創立50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

又、選手・指導者・県内外の歴代関係者各位の、バドミントンに対する並々ならぬ情熱と、御努力を思い改めて敬意を表さずには居られません。

一口に50周年と言いましても、50年前に協会が発足した頃は、とても今とは、比べられるものでないと思います。

私は、戦争を知らない若輩者であり、戦後の焼け野原状態から、４年後に、協会発足された当時の関係者の方々には、最大級の敬意を表したいと思います。

私は、協会発足28年後に兄姉の影響で、バドミントンを始め、高校時代はインターハイ出場を最終目標とし、実業団時代は全日本実業団体ベスト16を目標に、会社上げてのバックアップ体制の中、汗を流し、青春時代を過ごしてきました。

又、平成２年から協会役員として、微力ながらもお世話をする事になり、平成４年より和歌山県社会人バドミントン連盟初代理事長に就任した時は、何もなくゼロからのスタートでした。

当初、和歌山県バドミントン協会より、御指導・御援助して頂いたお陰で、今日の和歌山県社会人バドミントン連盟を築くことができました。

この記念誌をおかりし、お礼の言葉を申し上げます。

今後の目標は、２点あります。

１点は、バドミントン競技人口と協会登録の増加・競技及び審判のレベルアップ。もう１点は、平成27年度の和歌山国体の成功。

最後になりましたが、和歌山県バドミントン協会の益々の、発展・躍進を祈念致し、50周年のお祝いの言葉とさせて頂きます。

和歌山県中学校体育連盟

バドミントン専門委員長　佐々木　朝　幸

和歌山県バドミントン協会創立50周年を迎えるにあたり、心からお喜び申し上げます。和歌山県中体連にはじめて奨励種目として認めていただいたのが平成元年で、有田地方を中心に３校での団体戦が行われました。その翌年、団体・個人戦が行われ今日の基礎になったと思われます。平成３年には県中体連にバドミントン専門部が発足し、県下に近畿大会で活躍できる生徒の育成（競技力向上）をめざし頑張っていこうというムードが出てきました。それらはひとえに、県協会およびジュニア連盟の地道な活動と熱意があったためと考えられます。その後、徐々にチーム数が増え、現在では西牟婁郡を除く各郡市において専門部や専門部はないけれども県大会に参加できるような体制ができてきました。５校から始まった専門部も現在では、男子７校女子10校合計11校と増えてきています。しかし、まだまだ競技人口が少なく郡大会をしないで直接県大会に参加してくるなど参加条件がまちまちで、大会運営についても、年々検討課題となっております。

競技レベル的にも、近畿を制するものは全国を制すといわれるぐらい近畿の壁は厚くまだまだ低いレベルとなっています。しかし、平成９年度には、和歌山県において近畿大会が開催されるなか、個人戦において近畿３位となり全国大会へ出場した生徒があるなど、大会運営および競技力についても、年々近畿の水準に少しずつ近づいてきているように感じています。このように歴史的にも浅く課題も多いなかでジュニア連盟及び高体連との連絡を密にしながら、一人でも多くの人にバドミントンの魅力を感じていただくと共に、バドミントンを愛する一人の人間として、競技を通じて少しでも子供たちの人間性が育つことを願いながら、今後もさらなる向上をめざし、粘り強い指導と普及に努めていきたいと思っています。

和歌山県中学校総合体育大会バドミントンの部（団体戦・個人戦優勝一覧）

平成	男子				女子			
	団体	シングル	ダブルス		団体	シングル	ダブルス	
元	耐久中				九度山			
2	河根中	森　由行(河)	端　栄生(耐)	大西　宗彦(耐)		大野　美恵(耐)	伊藤有紀子(耐)	西岡　裕美(耐)
3	河根中	岡田　健二(河)	田中　寿造(河)	正木　英作(河)	耐久中	西島　由希(耐)	森　由樹(海１)	武一美穂(海１)
4	河根中	正木　英作(河)	酒谷　篤史(河)	田中　寿造(河)	那智中	須崎　保佳(城)	森　由樹(海１)	武一美穂(海１)
5	河根中	山下　哲司(耐)	福形　泰史(河)	柳谷　充宏(河)	岩出中	羽柴ひかる(湯)	森　由樹(海１)	武一美穂(海１)
6	岩出中	福形　泰史(河)	柳谷　充宏(河)	扇迫　悟(河)	岩出中	宮崎めぐみ(耐)	朝稲　晶子(岩)	木村いつ佳(岩)
7	河根中	榎本　良永(緑)	沢田　祥浩(岩)	岩西　澄(岩)	岩出中	山下　美雪(湯)	宮崎　薫(岩)	下西　安奈(岩)
8	緑丘中	榎本　良永(緑)	大末　篤史(那)	鎌田　栄樹(那)	湯浅中	下澤なつみ(緑)	梅村　麻衣(湯)	坂田　幸子(湯)
9	緑丘中	榎本　良永(緑)	西村　孝之(那)	青山　康宏(那)	緑丘中	下澤なつみ(緑)	和田　友子(岩)	日下部友美(岩)
10	緑丘中	奥田　健太(緑)	鎌田　拓慶(那)	向山　剛(那)	緑丘中	下澤なつみ(緑)	古川　怜奈(湯)	青木　優弥(湯)

和歌山県婦人バドミントン連盟

理事長　栩原悦子

今昔そして21世紀

和歌山県バドミントン協会創立50周年おめでとうございます。

歴代役員の皆様方のご努力に敬意を表します。

私達のバドミントン連盟も初代理事長宮本勢津子氏並び副理事を務めて下さった方々の並々ならぬご努力が有って、今日の連盟が存続しているのです。

初期の頃は、連盟にお金が無くて、準備会議の為の会議室を借りる事が出来ず、理事長宅にての会議であったと聞き及んでいます。

又、あちらにバドミントンクラブが有ると聞けば理事長ご自身出向き、連盟への登録要請をし、こちらにクラブが有ると聞き付ければ、要請の為に駆けつけたと聞いております。

その連盟への献身的な姿勢（情熱）が今日の礎となって、今現在バドミントンを楽しんでいる私達が、その恩恵を受けております。

全盛期には、試合当日のランクブロックが、9つも有り、今では信じられません。

時代が移り、価値観の推移に伴い、家庭婦人も外に出て、仕事を持つのが当たり前の時代になりました。

気がつけば、会場から少しずつ参加して下っていた、方々が減少していたのです。

熊野体験博の為に整備された県内道路をいまこそ、最大限に利用させて頂き、県内の各地にて、活動なさっておられる仲間を和歌山県バドミントン協会の指導の下にて、集結し、一つの団体の中の家庭婦人部門として、南紀地方の志を同じくする仲間に参加を呼びかけて行きたいと思っております。

そして、もう一度、21世紀にふさわしい和歌山県婦人バドミントン連盟としての有るべき姿を模索し、再構築し直し、又、連盟に参加して下さっておられる方々の意識改革を促して行かねばなりません。

創立50周年を迎えた記念すべき年に新しい理事長をお迎えし、和歌山県バドミントン協会の尚一層のご発展を祈念し、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

和歌山県教職員バドミントン連盟

新宮高校教諭　森　　隆

教員チームの想い出

1970年（昭和45年）、県バドミントン協会に教員クラブが誕生した。翌年にせまった黒潮国体（和歌山県開催）に向けてで、メンバーは宮崎弘志監督、明渡俊広、藤原嘉信の４名である。その年の夏、第９回全日本教職員バドミントン選手権大会（岐阜）に、団体戦、複、単に初エントリーしたが、団体戦は初戦で前年度日本一の熊本チームと対戦、手も足も出ず完敗した。複も早々に敗退し、単で私は運よく、ベスト４まで勝ち進み、最終日まで残った。私がそんな上位まで勝ち残るとは、チームの皆も思っていなかったらしく、私一人を残して帰ってしまい、一人淋しく旅館に残ったのを覚えている。準決勝で前年度チャンピオンの熊本の工藤勇参先生と対戦し、一方的に打ち負かされ、完敗に終わったことを覚えている。以後、長く尊敬する先生として親しくさせて頂いている。

翌1971年（昭和46年）いよいよ黒潮国体本番の年に、新たに日体大卒の佐藤光伸、近畿大卒の中西詳味が教員チームに加わり、戦力も整いました。当時、高校男子と教員男子が国体の得点種目として有力視され、県の強化もこの二種目に重点が置かれた、県外遠征はいつも一緒で、熊本、奈良、三重などの強豪の胸を借りて、本番に望みました。そのかいあって、二種目とも決勝に進出、教員チームは滋賀県に、高校男子チームは新潟県にともに破れて２位に終わりましたが、総合３位に入賞し、大会に花をそえました。

教員種目準決勝で前年度優勝の岩手県と対戦、大接戦の末、勝利し、地元湯浅町での応援団の拍手の中、吉田健次郎理事長が駆け寄ってきて、熱い握手を交わしたこと、昨日の様に想い出されます。

翌1972年には日体大卒の門間幹夫が新しく加わり、森、中西、門間のメンバーで宿敵滋賀県チームを近畿ブロック予選で破り鹿児島国体への切符を手にしました。

鹿児島国体では、全国の強豪を次々と破り、決勝で、夏の教職員大会単１位の森田昇選手を擁する栃木県チームと対戦、２対０で快勝し、遠く鹿児島の地で初優勝を成し遂げました。（写真は優勝を決めた後、大橋知事を囲んでの記念のスナップです。）



翌年は近畿予選で敗退したため、国体出場はなりませんでしたが、1974年には日体大卒の武藤隆志が新たに加わり、門間、武藤、森の布陣で近畿予選を１位で通過し、茨城国体に出場しました。この大会では門間、武藤組のダブルス

は絶好調で、１回戦から決勝戦の対石川県との試合まで全勝で、シングルスとして控えていた私は、安心して試合に望めました。結果、決勝戦でも２対０で快勝し、２度目の日本一の座を手にしました。（写真は優勝記念のスナップです。）



夏の全日本教職員大会でも門間は単で熊本大会、栃木大会で２度優勝し、以後も中央大卒の山本茂樹、法政大卒の米山正和、近畿大卒の平瀬博俊、日体大卒の児島智、佐々木朝幸と新造気鋭の選手をチームに加え、山口大会と宮城大会で団体２連勝、複で山本・米山組も２連勝、単でも山本が優勝と、三冠を和歌山勢が独占し、バドミントン界に和歌山県の力を大いにアピールしたものです。

県バドミントン協会が最も輝いていた時期でした。

1997年（平成９年）夏、第36回全日本教職員大会を新宮市で開催し、全国各地から多くの先生の参加を頂き、県協会、県高体連の先生方、地元新宮のバドミントン関係者の協力を得て、無事大会を運営、終了することができたことも、記憶に新しいところです。

和歌山県のバドミントンが、再び、近畿、全国で活躍できるよう、微力ながらお役に立ちたいと願っています。

クラブ紹介

アイクラブ

小田　令子

協会創立50周年おめでとうございます。

私達『アイクラブ』は和歌山市民体育館を、練習場所とし、1983年2月に発足し、練習もそこそこにすぐに各大会へ参加、活動を開始したクラブです。現在、老若男女で構成され、最近若い人も入部され、初心者有り、経験豊富な人、又、実業団から入ってこられた人も有りのクラブで社会人、家庭婦人と年令層も又、レベルにも幅広く、各大会での優勝を果たした人、又優勝を目標に練習に熱心に励む者から、ただバドミントンが好きでクラブ内で仲間同士の試合でのプレーで充分と、さわやかで気持ち良い汗をたっぷり流すのを、楽しみに頑張る者等、それぞれに目的が違っても、バドミントン「大好き人間」が各自の都合のいい時間にバラバラに集まって来て、ワイワイ、ガヤガヤと和気藹々に楽しんでいるクラブです。市体での練習は、学校施設等を利用されている他のクラブに比べ負担はありますがフロアーは広く伸び伸びと練習が出来、部員一同力を合わせて頑張っております。

スクウェアークラブ

乾　　良裕

和歌山県バドミントン協会創立50周年おめでとうございます。

私達「スクウェアー」は和歌山県の北部、岩出町に15年前に生まれたクラブです。

〔Squar＝広場＝みんなの集まる場所〕という名のとおり、会員であるなしにかかわらず、またランクの枠も取りはらって楽しく練習しています。メンバーの半数以上が社会人になってから始めた人たちですが、バドミントン歴40年を筆頭にキャリアを積み重ね、何人かはジュニアの指導にも携わっています。

練習は火曜日と金曜日の夜、年末にはいつも「クリスマスカップ」と題してクラブ内でリーグ戦を行い、盛り上がっています。

バドミントンを生涯スポーツとして楽しみ、これからも、時間と体のゆるす限り各大会に参加し、「バドミントンの輪」を広げていきたいと思います。

高松バドミントンクラブ

北原　　茂

和歌山県バドミントン協会50周年おめでとうございます。これからも益々ご発展されるよう心からお祈り申し上げます。

私たち高松クラブは設立5周年という新しいクラブです。当初はジュニアの育成を目的として発足しましたが、徐々に父兄の参加を得、今では親子で楽しむ地域スポーツクラブとして活動しています。

「博愛・協調の精神」をモットーとし、明るく楽しく、向上心を持ってジュニア・成人合わせて40数名の部員にて週2回（木・土）高松小学校の体育館で汗を流しています。

生涯スポーツとしてバドミントンを楽しみ又、ジュニアの中から競技選手が育てば、と夢を持っ

ています。

地域クラブとして県協会と共に、社会に貢献できれば幸いに存じます。

ＳＢＣ

田村　昭男

協会設立50周年おめでとうございます。

３年前？に発足したクラブで、チーム内で、クラブ名を募集し住金バドミントン（ＳＢＣ）という名称に決定しました。

部員は20～50才代と幅広く、練習は月により変わるがほぼ月水土曜日、住友金属第２体育館で練習しています。

他クラブ参加者が多いクラブで、社会人、家庭婦人、高校生、教員と幅広い構成で２～４面コートで練習しています。

試合参加も他のクラブとダブルスを組んで出場等、他のクラブに迷惑をかけているクラブです。月会費については女性にやさしく、参加されていない他のクラブの方々も声をかけていただき、練習で快い汗を流しましょう。

花王バドミントン部

甲斐　義樹

和歌山県バドミントン協会創立50周年おめでとうございます。

我が「花王バドミントン部」も'54年紀陽、東燃etcで発足した実業団連盟に５，６名で'67年加盟させて頂きました。以来32年、歴史は長いものの協会１部での実績は少なく、主に２部で活動してきました。

昨今の不況の嵐の中、大黒柱であった住金の廃部とともに実業団連盟も解散し、社会人連盟の中で活動しています。

現在部員は約30名在籍していますが、ここ10年程新人部員がなく、同じ顔ぶれで大会への参加も極端に減少し、毎年平均年令が上がっていくのが悩みの種でしたが、昨年有望な新人が加入し、これを期にメンバーも刺激され、再び協会１部定着を目指しています。又、我社では全工場が集まり、２年ごとに社長杯が開催されており、昨年は準優勝でしたが社内No.１を目指し、練習に励んでいます。

友愛クラブ

村上勢津子

連盟創立50周年おめでとうございます。

私達のクラブは和歌山県北部にあり、大阪ベッドタウンとして人口急増している橋本市です。クラブの会員はいろいろな地方から引越してきた人達です。13年前に創立し会員は20人位で結成しています。練習は木曜日ＡＭ９：30～12：00まで汗を流しています。

特定の指導者はおらず、経験者が未経験者を指導し、皆でどんな練習方法でいいか話し合ってやっています。会員の皆はもっと強くなりたいとファイトウーマンばかりです。

現在今は家庭婦人連盟に８人登録して試合に参加しています。今後合同練習会か練習試合があれば声をかけて下さい。お願いいたします。

羽　球　会

横手　睦子

協会創立50周年おめでとうございます。

私達のクラブは発足して４年目を迎えます。クラブに所属していない私達の為に那賀高校の武藤先生が作ってくれました。部員数は少ないですが気の合った仲間が集まり年齢も20代とい

うフレッシュなクラブです。特に決まった練習場所もなく、個人それぞれに練習をしていますが、みんな目標に向かって頑張っています。これからも役員の皆様方宜しくお願い致します。

星林クラブ

寺村　猛

和歌山県バドミントン協会設立50周年誠におめでとうございます。

星林クラブもその半分の創立25周年ぐらいになると思います。というのは何時頃から星林クラブと名乗り出したか定かではなく、おそらく昭和47～８年頃、星林高校の卒業生が初めてＯＢ会と開いたその宴会の場で試合に出場しようとの声が上がり、県の団体戦に出場したのが始まりのように思います。当初からのこの調子だから、決まった練習会場もなく、たまの機会に星林の高校生の相手をするくらいであった。練習より試合、試合よりもその後のビールといった具合である。星林の校風とも言える「明るく、自由で少しわがまま」そんなメンバーであった。現在星林クラブは、和歌山県トップクラスの若い後輩達が中心となっています。これからも悪しき伝統は切り捨て、いつまでも和歌山県のバドミントン界をリードし続け、又心からバドミントンを愛し続ける星林クラブでありたいと思います。

東和クラブ

橋本　昌之

こんにちは、東和クラブです。創生期の歴史等は、古参のメンバーがかなり引退されたこともありよく分かりません。しかし、和歌山のクラブチームの中では伝統と実力(？)を兼ね備えたチームであると自負しております。東和クラブは「○○高校のＯＢ」というような母体はありません。はっきり言って寄せ集めです。一流プレーヤー(過去の？)から40歳を過ぎてから初めてラケットを握った人まで様々です。50歳を軽く越える現役プレーヤーや高校生もいます。

どのクラブも同じだと思いますが、我がクラブも部員の高齢化による過疎化現象のカゲが忍び寄ってきています。ビール、酒、宴会に関しては未だトップクラスの実力を保っているのですが、練習中は「足が痛い」、「腰が痛い」人だらけです。

日頃の運動不足を感じている皆さん。おいしいビールを飲みたい皆さん。東和クラブに入って一緒に汗を流しましょう！

中紀バドミントン協会

野田　章

県バドミントン協会設立50周年まことにおめでとうございます。

私たち協会に所属するクラブは日高郡を軸に有田から田辺にかけて17クラブがあり、年３回の大会を開催し、現在36回を終えたところです。

昭和59年に御坊商工バドミントン部のＯＢが中心となり、はじめは連盟として発足しました。当初は予算の関係から、ビニール製のシャトルを使用し、大会会場においても、１会場のコート数が６コートしかないため複数の会場で運営しました。そのため選手の方々は会場を移動するはめになり、親子で夫婦で異なる会場になることもしばしばで、大変困っていた様子でした。しかし、数年前、関係者のはからいで御坊市立体育館が８コート分とれることになり、やっと１会場で運営することができる運びとなり喜ん

でいます。

当協会の悩みは、若い選手が年々減っていることで、それを今後具体的にどうくい止めていくか、重要かつ早急な課題です。

三菱電機バドミントン部

玉井　道明

当バドミントン部は昭和48年10月に同好会として発足、昭和49年４月に部として正式に創立し、25年が経過しています。

現在、部員は宴会部員も含めて18名で、24歳から48歳までの、勝負に拘る上級者から健康志向で楽しみでやっている初級者まで、幅広い部員構成でやっています。内、女性４人は美人揃いが自慢のクラブです。

一時期は転勤者や退部者続出で部員が実質競技者２名まで減少し、クラブの存続が危ぶまれた時期もありましたが、平成４年、５年と相次いで若手新人部員が入部し、活況を取り戻しています。

練習は毎週土曜日の午前中又は午後に会社の体育館で行い、強化のための練習と言うよりは、ゲームを中心に楽しむといった内容でエンジョイ・バドミントンが合い言葉です。週１回の練習では現状維持がやっとですが、他のクラブ、当社内別工場のクラブとも交流を図りながら、上位を狙って頑張っています。

最後になりましたが、県バドミントン協会設立50周年をお祝い申し上げますと共に、益々のご発展をお祈り申し上げます。

岩出バドミントンクラブ

樋口美知子

協会設立50周年おめでとうございます。

私達「岩出バドミントンクラブ」も今年で25年を迎えております。町で開催されたスポーツ教室がきっかけとなり参加者が自主的に設立されたそうです。女性８名の部員で始まり、現在男性７名、女性28名の計35名。年齢層もレベルも幅広いクラブです。

設立から数年間は、他府県、全国大会と活発に大会に参加し、良い成績で合ったと聞いております。最近は少し休火山気味で、今はエネルギーをたくわえる時期のようです。それでも近くで開催される大会には意欲的に参加しております。

子育て真只中の方、そして、一段落された方との絶妙のバランスを持った岩出バドミントンクラブです。週２回（水・土）和気合々と楽しく快い汗を流し、練習に励みクラブ員一同頑張っております。

どんぐりクラブ

安藤　義一

県バドミントン協会設立50周年おめでとうございます。

どんぐりクラブは今から18年前、貴志地区の親睦と健康造りを目的として発足しました。素人の集団であり基礎練習も真面にできない、羽根を打ちコート内を走り廻り汗をかく、それが緒一楽しみのクラブでした。月日が過ぎる内、バドミントン経験者が数人入部してくれ、フットワーク、グリップの握り等指導して頂き、今までの伸び悩みが嘘のようにメキメキレベルアップを図ることができ、試合でも他のクラブに迷惑をかけず、時にはＢクラスで優勝できた事もありました。練習は土日の週２回。会員数は30名程ですが、クラブ員の大半が40歳以上と高齢

化しており、若い人の入部が今後どんぐりクラブを存続させる為にも大きな課題の一つです。県バドミントン連盟ではランクは低いクラブですが会長の山本氏の指導を受けながら練習で快い汗を流しております。これからもクラブ員一同頑張りますので、よろしくお願い致します。

海南バドミントンクラブ

武一　靖彦

和歌山県バドミントン協会設立50周年おめでとうございます。

私達海南バドミントンクラブももうすぐ25周年を迎えます。始めた頃は若さとファイトで一杯で、この頃は県の１部まで進めましたが、２回戦までが私達の最高の成績でした。　今は人数も減り、高齢化で現状維持をするのが精一杯です。でも、これまで部員の二世がインターハイで和歌山県代表で活躍できたのが私達の励みです。

今は月曜日と木曜日に頑張って練習しています。何より親睦を目的で練習していますので、時間のある方はちょっと覗いて下さい。

これからも老体にむち打ってクラブ員一同頑張って練習を続けます。

TOUNEN和歌山バドミントンクラブ

中村　一弘

昭和30年頃、東亜燃料バドミントンクラブとして発足してから約40年が経過致しました。その後、会社名が変更となりTOUNEN和歌山バドミントンクラブとして活動を行っています。過去の栄光としては近畿実業団大会で準優勝及び国体選手を育て実績はあるものの、現在は、部員数20名程度で健康維持を目標に活動を進めています。

色々な大会等には個人で積極的に参加し、シニア大会では優秀な成績をおさめています。近年クラブ員の年令が高令化しており40才代が中心に活動しています。東燃の体育館で水・金の18時以降快い汗を流すのを楽しみにクラブ員一同ガンバッテおりますので皆様方よろしくお願い致します。

サンデーバドミントンクラブ

塚田　宗宏

県バドミントン協会設立50周年おめでとうございます。我がサンデークラブは19年前に発足し、最初は耐久高校バドミントン部のＯＢが中心で５、６人の部員でしたが平成９年山田クラブと合併し、現在32人、子供25人の部員数で親子で楽しんでいる人もいます。ジュニア養成に力を入れめきめきと伸びてきています。練習は毎週火曜と土曜の週２回午後７時半～９時半まで湯浅中学校体育館で行っています。日々、基礎練習や練習試合など重ね、年に数回県下の各大会にも出場し、毎回好成績を収めています。（かな？）

又、忘年会や新年会を計画したり、試合後の反省会ではおいしいビールを飲みながら、語り合っている大変仲のいいクラブです。

ＧＢクラブ（有田市）

紺野　利男

和歌山県バドミントン協会設立50周年、おめでとうございます。又、日頃は大会運営の為にご尽力をしていただいている役員及び関係者の方々には厚く御礼申し上げます。

さて私共ＧＢクラブは、15年前に５～６名に

よる同好会から始め一時には40名余りにも増えましたが、現在は約10名で試合に参加することを目的に楽しみながら頑張っています。県内では女子は一部優勝、男子では二部優勝が最高で？、個人的には近畿大会出場と挑戦する気力は十分あるクラブです。

発足した当初はＧＢ…ガール＆ボーイでしたが、現在はジジ・ババそのものです。中・若手の育成にも努力しています。初心者が多い時代は年一回の大会　ＧＢ杯を十年間催しました。試合をする楽しさを普及する為と技術の向上が目的でした。県内のバドミントン愛好者と共にクラブ員一丸となり今後もバド談義で盛り上がりたいと思っています。

皆様方、ＧＢクラブをよろしく！

ＮＨＣ湯浅

三原　清和

和歌山県バドミントン協会創立50周年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。28年前に湯浅クラブとして発足し、現在のＮＨＣ湯浅に名称を変更して10年がたちました。ここ最近では若手の部員も年々増えています。毎週金曜日に湯浅の町民体育館で練習を行っていますが、コートが一面のため充分な練習ができていないのが現状です。今後は練習する機会を増やして、試合で好成績をおさめられるようがんばっていきたいと思っています。またＮＨＣ湯浅の名前に恥じないよう（ここではＮＨＣの意味はあかせませんが）、部員一同初心を忘れずがんばります。今後和歌山県のバドミントンのさらなる発展、御活躍お祈りいたします。

那賀バドミントンクラブ

松山　裕章

私達、那賀クラブは、男女約20名で構成され、週２回程度練習に励んでいます。練習は、ゲームを中心に約２時間という短い時間で行い、全員が楽しみながらも強くなりたいという意識をもってシャトルを追いかけています。今年はその思いが実り、男女共に団体優勝を果たすなど結果も出せるようになりました。

那賀クラブは、バドミントン以外でも、キャンプや花見、バーベキューなど数多くのイベントを企画し集まるなど、チームワークではどこにも負けない自信を持っています。これからも那賀クラブは、“楽しみならがらも強くなる”をモットーに練習に励んでゆきたいとおもっています。

県庁バドミントンクラブ

こんにちわ、県庁バドミントンクラブです。

昭和46年に産声をあげた当クラブは、今や部員45名、平均年齢45歳というビッグ？クラブに成長しました。現代社会同様、高齢化が年々進んでおりますが、「まだまだ若いやつには負けられん」「青春よいつまでも」の精神で日夜シャトルを追いかけております。練習は、主に毎週水曜日の午後６時30分から約２時間ですが、平日のお昼の休憩時間をつかって、昼食もそこそこにラケットを振っている部員もおり、技術はともかくとして、バドミントンをこよなく愛するということにかけては、どこにも負けないつもりでやっております。

クラブ設立当初は、県協会主催の大会への参

加が対外的な活動の中心となっておりましたが、これに加え昭和57年から徳島、香川県庁との3県対抗の団体戦が、平成5年からは、福井、三重を含む近畿府県庁職員対抗の団体戦がそれぞれおこなわれるようになりました。県協会主催の大会ではこれといった実績はありませんが、近畿府県庁職員の団体戦は最高ベスト4、3県対抗戦では何回か優勝することもでき、部員の大きな励みになっております。これからも、バドミントンの様々な大会を通じ、県内・県外の仲間と交流し、技術を高めていきたいと考えております。

最後になりますが、バドミントンの一層の普及推進を目指し頑張って参りたいと考えていますので、御指導、御支援をよろしくお願いします。

和歌山県立医科大学バドミントン部

和歌山県立医科大学バドミントン部は昭和33年春に創部され、現在まで約40余年の歴史を有しております。毎年3～4名の卒業生と新入生との入替えがありますが、現在の部員数は男子10名、女子11名の計21名であり、OBの総数は140名を数えます。

我がバドミントン部は、西日本医科学生総合体育大会バドミントン部門、近畿東海医科学生バドミントン大会及び近畿医歯薬バドミントン大会に毎年参加しております。

近年の主な成績を紹介しますと以下の通りです。

第49回（平成9年）西日本医科学生総合体育大会　女子ダブルス準優勝

第40回（平成9年）近畿東海医科学生バドミントン大会　女子ダブルス準優勝

第41回（平成10年）近畿東海医科学生バドミントン大会　女子ダブルス第3位

本学は本年5月統合移転が完了し、新しく素晴らしい体育館もでき、さらに上位の成績を目指し部員一同練習に励んでおります。

和歌山大学バドミントン部

岩西　俊幸

和歌山大学バドミントン部の発足は、四期卒業生の時代にさかのぼり、以後、約300人近い卒業生を送り出していきました。羽根つきから始まり同好会を作り、その翌年、体育会としての「部」に昇格しました。女子部員の勧誘のために体育の授業でバドミントンを取り上げてもらったり、資金稼ぎのためにダンスパーティーなどを開いたこともあったそうです。

現在、男子13人、女子6人、合計19人の部員で、火・木・土の週3日、5時から体育館で汗を流しています。男女とも関西リーグでは5部と低迷気味ですが、昇格を目指し部員一同力をあわせて頑張っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

第３章

成　績　一　覧　表

会長杯争奪バドミントン大会（団体戦）

年度	種別		優勝	2位	3位
43	1部	男子	住友金属A	新宮B	那賀A
		女子	住友金属	耐久OG	－
44	1部	男子	住友金属A	住友金属B	丸善石油A
		女子	住友金属A	住友金属B	住友金属C
45	1部	男子	住友金属A	教員クラブ	丸善石油A、星林クラブ
		女子	住友金属A	湯浅クラブ	住友金属B
46	1部	男子	教員クラブ	丸善石油A	丸善石油B、住友金属
		女子	住友金属	－	－
47	1部	男子	丸善石油A		
48	1部	男子	住友金属	丸善石油A	東亜燃料A、和歌山大学
		女子	住友金属	御坊商工B	御坊商工A、御坊商工D
49	1部	男子	住友金属A	丸善石油A	教職員クラブ、和歌山大学A
		女子	住友金属A	御坊商工A	和歌山大学B、丸善石油A
50	1部	男子	丸善石油A	県教育庁A	丸善石油B、和歌山大学A
		女子	住友金属	御坊商工	向陽高校、和歌山大学A
	2部	男子	向陽高校	県教育庁B	耐久高校、和歌山大学C
51	1部	男子	教職員	住友金属A	丸善石油A、住友金属B
		女子	住友金属A	住友金属B	向陽高校、耐久クラブ
	2部	男子	耐久高校	住友冷延	花王石鹸、御坊クラブ
		女子	御坊商工B	御坊クラブ	丸善石油、和婦スポ教
52	1部	男子	教職員クラブ		
		女子	新宮クラブ		
	2部	男子	下津クラブ		
		女子	－		
53	1部	男子	丸善石油A	県教職員	和歌山大学A、湯浅クラブ
		女子	御坊クラブ	御坊商工A	御坊商工B、丸善石油
	2部	男子	御坊クラブ	由良クラブ	住金化工A、住友海南
		女子	オレンジクラブA	オレンジクラブ	かつらぎクラブ、住友海南
54	1部	男子	住友金属A	丸善石油	湯浅クラブ、住友金属B
		女子	SKYクラブ	日高クラブ	御坊商工
	2部	男子	丸善石油	三菱電機A	かつらぎクラブA、住金冷延
		女子	SKYクラブ	九度山クラブ	海南クラブA、御坊商工A

年度	種別		優勝	2位	3位
55	1部	男子	住友金属	県教職員	湯浅クラブ、丸善石油A
		女子	住友金属	湯浅クラブ	－
	2部	男子	ひまわりクラブ	御坊クラブ	サンデークラブ、かつらぎクラブ
		女子	つくしクラブ	東和クラブ	住金化工、海南クラブA
56	1部	男子	住友金属A	教職員クラブ	住金化工、住友金属B
		女子	住友金属	新宮F・B・C	つくしクラブ、東和クラブ
	2部	男子	三菱電機	花王石鹸	那賀クラブ、かつらぎクラブ
		女子	海南クラブA	九度山クラブA	九度山クラブB、つくしクラブA
57	1部	男子	住友金属和歌山	県教職員クラブ	住友金属海南、住金化工
		女子	住友金属和歌山	サンデークラブA	和歌山大学A、つくしクラブ
	2部	男子	住金化工	星林クラブA	かつらぎクラブ、東亜燃料
		女子	美浜クラブB	つくしクラブ	かつらぎクラブ、広川クラブ
58	1部	男子	住金化工A	住友金属B	住友金属A、教職員クラブ
		女子	住友金属	教職員クラブ	星林高校A、住金化工
	2部	男子	かつらぎクラブ	星林クラブ	那賀クラブ、東和クラブ
		女子	田辺クラブ	東和クラブ	和歌山高校A、住友金属海南
59	1部	男子	住友金属(和)B	住友金属(和)A	県教職員クラブ、住金化工A
		女子	住友金属(和)A	住友金属(和)B	住金化工、和歌山高校A
	2部	男子	星林クラブ	東和クラブA	住友金属海南、那賀クラブA
		女子	アイクラブA	つくしクラブB	つくしクラブA、星林高校A
60	1部	男子	住金化工	住友金属(和)	教職員クラブ、星林クラブ
		女子	住友金属(和)B	住友金属(和)A	住金化工、つくしクラブ
	2部	男子	高野口クラブ	東和クラブA	東和クラブB、かつらぎクラブ
		女子	つくしクラブ	アイクラブ	海南クラブB、海南クラブA
61	1部	男子	住金化工	住友金属(和)	住友金属(海)、県教職員クラブ
		女子	住友金属(和)A	住友金属(和)B	住友金属(海)、県教職員クラブ
	2部	男子	那賀クラブ	東和クラブA	かつらぎクラブ、東亜燃料
		女子	つくしクラブ	海南クラブA	岩出クラブA、岩出クラブB
62	1部	男子	住友金属(和)	伊都クラブ	住友金属(海)、和歌山大学
		女子	住友金属(海)	サンデークラブ	つくしクラブ、和歌山大学
	2部	男子	伊都クラブ	東和クラブA	海南クラブA、花王
		女子	－	－	－
63	1部	男子	住友金属(和)	サンデークラブ	教職員、勝浦クラブ
		女子	住友金属(海)	和歌山大学	－
	2部	男子	サンデークラブA	サンデークラブB	東亜燃料和歌山、那賀高校
		女子	那賀高校A	向陽高校	海南クラブA、那賀高校B

年度	種別		優勝	2位	3位
元	1部	男子	住友金属(和)	住金化工クラブ	
		女子	住友金属(和)	和歌山大学	
	2部	男子	東和クラブB	湯浅クラブ	
		女子	那賀高校A	向陽高校A	
2	1部	男子	和歌山軍団	住友金属(和)	
		女子	住友金属(和)	サンデークラブ	
	2部	男子	－	－	
		女子	－	－	
3	1部	男子	JAPAN	湯浅クラブ	
		女子	マスカット	和歌山大学	
	2部	男子	星林高校	東和クラブ	
	3部	男子	中紀協会	和歌山コクヨ	
4	1部	男子	教職員クラブ	JAPAN	和歌山大学
		女子	住金和歌山	和歌山大学	伊都クラブ
	2部	男子	住金化工	東燃	伊都クラブA
		女子	東和クラブ	スクエア	星林高校A
	3部	男子	星林高校A	東和クラブ	中紀バドミントン協会
	4部	男子	県庁	花王	シャトルズA
	5部	男子	GBクラブ	スクエア	シャトルズB
5	1部	男子	教職員クラブ	貴志川ストロベリー	JAPAN
		女子	伊都クラブ	うつくしクラブ	スクェアー
	2部	男子	NHC湯浅	サンデークラブ	那賀クラブA
		女子	つくしB	東和クラブ	県立医科大学
	3部	男子	GBクラブ	県立医科大学	伊都クラブB
	4部	男子	吹上クラブ	つくし	スクウェアー
6	1部	男子	教職員クラブ	伊都クラブ	星林クラブ、JAPAN
		女子	サンデークラブ	スクウェアー	伊都クラブ、東和クラブ
	2部	男子	和歌山大学	東燃	中紀バドミントン協会、東和クラブA
	3部	男子	東和クラブ	アイクラブ	三菱電機、つくしクラブ
7	1部	男子	教職員クラブ	星林クラブ	貴志川A
		女子	マスカット	バドミントンスクウェアー	那賀高校
	2部	男子	那賀クラブB	東和クラブA	中紀バドミントン協会
		女子	GBクラブBチーム	東和クラブ	サンデークラブジュニア
	3部	男子	GBクラブ	アイクラブ	つくしクラブ
	4部	男子	中紀バドミントンBチーム	山口クラブ	スクウェアーA

年度	種別		優勝	2位	3位
8	1部	男子	教職員クラブ	SBC・A	SBC・B、那賀クラブA
		女子	スクウェアー	東和クラブ	那賀クラブ、那賀高校
	2部	男子	三菱電機	KBC	東和クラブB、那賀高校
		女子	－	－	－
9	1部	男子	教職員クラブ	サンデークラブ	NHC湯浅、那賀クラブA
		女子	那賀クラブ	スクウェアー	サンデークラブ、伊都高校
	2部	男子	花王	どんぐりクラブ	那賀高校A、那賀高校B
		女子	キララクラブ	那賀高校A	御坊商工、那賀高校B
10	1部	男子	那賀クラブ	NHC湯浅	教職員クラブ
		女子	ビギンズ	東和クラブ	那賀高校、貴志川ジュニア
	2部	男子	花王	GBクラブ	スクウェアー、那賀高校A
		女子	－	－	－

国民体育大会バドミントン競技県予選

［予選開始　高校→29年（一部総体兼）・一般男子→37年・一般女子→38年・教員→46年］

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
26 6 広島	高校男子		三毛兄(那)、樫葉(那)、寺口(那)、富永(那)		
	高校女子		福田(熊)、谷口(星)、小川(星)、九鬼(星)		
27 7 東北 (三重)	一般男子		三毛兄(那)、寺口(那)、川端(那)		
	一般女子		山崎(紀陽)、菱井(紀陽)		
	高校男子		角(和工)、諏訪(和工)、水谷(和工)、中谷(和工)		
	高校女子		小川(星)、九鬼(星)、川崎(星)、安井(那)		
28 8 四国 (四県)	一般男子		川端(那)、三毛(那)、諏訪(和工)		
	一般女子		安井(那)、梅本(星)、川崎(星)		
	高校男子		水谷(和工)、中谷(和工)、和田兄(那)、三毛弟(那)		
	高校女子		魚崎(向)、中川(向)、枠谷(耐)、松下(耐久)		
29 9 北海道	一般男子		川端(那)、和田兄(那)、中谷(和工)		
	高校男子	単	土橋(向)	藤本(向)	田中(新)　井上(新)
		複	土橋・藤本(向)	金岡・下村(和工)	引本・田中(新)　吉村・三田(和工)
	高校女子	単	枠谷(耐)	清水(耐)	横山(那)　土橋(向)
		複	枠谷・松下(耐)	得津・土橋(向)	橋爪・原田(向)　中村・小田(熊)
30 10 神奈川	一般男子		松居兄(新)、田中兄(新)、水谷(東)		
	高校男子	単	吉村(那)	田上(和工)	岩西(那)　山田(和工)
		複	田上・山田(和工)	吉村・岩西(那)	小谷・福元(和工)　江崎・山田(新)
	高校女子	単	清水(耐)	前岡(耐)	上続(星)　土橋(向)
		複	土橋・得津(向)	上続キ・稲垣(星)	前岡・野原(耐)
31 11 兵庫	一般男子		水谷(東)、山田(和工)、福元(和工)		
	高校男子	単	江崎(新)	田村(向)	池目(向)　田中(新)
		複	江崎・田中(那)	山中・高岡(那)	津守・田村(那)　田村・山本(向)
	高校女子	単	西村(向)	西谷(星)	中谷(耐)
		複	西川・西谷(星)	西村・大岸(向)	中西・上畑(耐)　北山・稲垣(那)
32 12 静岡	一般男子		水谷(東)、中谷(和工)、松居兄(新)		
	高校男子	単	江崎(新)	田村(向)	
		複	江崎・田中(那)	山中・高岡(那)	
	高校女子	単	西村(向)	西谷(星)	
		複	西川・西谷(星)	西村・大岸(向)	
33 13 富山	一般男子		三橋(東)、小沢(東)、中谷(和工)		
	高校男子	単	新谷(新)	前田(那)	
		複	根本・新谷(新)	栗栖・岡崎(向)	
	高校女子	単	井内(耐)	油谷(耐)	
		複	油谷・井内(耐)	藪・花野(耐)	
34 14 東京	一般男子		水谷(東)、小沢(和工)、中谷(和工)		
	高校男子	単	堀口(新)	松本(新)	島田(和工)　前田(那)
		複	前田・成瀬(那)	浜井・下丸畑(和工)	大東・福岡(那)　堀口・松本(新)
	高校女子	単	桑原(耐)	西口(那)	田中(那)　伊藤(耐)
		複	西口・田中(那)	伊藤・城本(耐)	前田・中野(大)　桑原・桑原(耐)

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
35 15 熊本	一般男子		小林(丸)、水谷(東)		
	教職員		上田、溝淵		
	高校男子	単	西端(向)	堀(那)	新谷(和)　田村(那)
		複	堀・南(那)	西沢・田村(那)	納谷・松井(新)　西端・香西(向)
	高校女子	単	山本(御)	竹内(耐)	山崎(御)　内田(御)
		複	田上・桑原(耐)	武内・桑原(耐)	堀内・殿村(向)　山田・谷口(大)
36 16 秋田	一般男子		前田(那)、成瀬(那)、水谷(東)		
	高校男子	単	松居(新)	岩田(那)	笠原(那)　納谷(新)
		複	鈴木・奥(向)	庄司・三谷(向)	松居・納谷(新)　林・坂口(和工)
	高校女子	単	川端(御)	山崎(御)	藤井(那)　上田(那)
		複	川端・山崎(御)	喜多・藤井(那)	上田・榊(那)　谷口・上村(御)
37 17 岡山	一般男子		田中・小阪(新)	西尾・杉浦(丸)	水谷・宮原(東)　岩田・堀(那)
	教職員		出口、岩西		
	高校男子	単	荒尾(新)	当中(新)	上野(新)　金岡(和)
		複	金岡・北山(和)	荒尾・当中(新)	山川・増田(御)　西原・木村(和)
	高校女子	単	辻野(那)	野田(御)	岩田(那)　岩崎(那)
		複	野田・山本(御)	岩田・辻野(那)	岩崎・田中(那)　辻・勘佐(吉)
38 18 山口	一般男子	単	水谷(東)	西端(向)	奥(向)・上田(丸善)
		複	西端・三家(向)	西尾・上田(丸善)	水谷・宮原(東)　林・尾崎(丸善)
	一般女子	単	山崎(御)	野田(御)	山田(東)　御木(東)
		複	山崎・野田(御)	御木・横山(東)	北口・中谷(東)　山田・島田(東)
	高校男子	単	山川(御)	堰本(新)	増田(御)　小西ヨ(大)
		複	玉置・堰本(新)	山川・増田(御)	太田・西端(向)　西本・菊本(大)
	高校女子	単	木田(新)	田中(那)	津村(御)　三宅(向)
		複	木田・蔭地(新)	田中・辻(那)	片山・須井(耐)　山田・田端(御)
39 19 新潟	一般男子	単	田中(新)	西端(向)	前田(那)
		複	小坂・田中(新)	三家・西畑(向)	西尾・植田(丸)　水谷・宮原(東)
	高校男子	単	堰本(新)	太田(大)	小西(大)　玉置(新)
		複	堰本・玉置(新)	小西・太田(大)	村上・山本(大)　小久保・森(新)
	高校女子	単	木戸(耐)	前崎(耐)	蔭地・山本(新)　川口・竹井(耐)
		複	木戸・前崎(耐)	永岡・岩上(耐)	蔭地・山本(新)　川口・竹井(耐)
40 20 岐阜	一般男子	単	荒尾(新)	田中(新)	植田(丸)　西沢(那)
		複	西尾・植田(丸)	小坂・田中(新)	西沢・前田(那)　出口・門前(和大OB)
	高校男子	単	竹原(新)	森(新)	中西(向)　湯川(御)
		複	竹原・森(新)	中西・太田(向)	沢・福山(御)　瀬戸・狩谷(御)
	高校女子	単	山本(新)	川瀬(耐)	宇治(向)　中森(新)
		複	川瀬・坂口(耐)	宇治・西沢(向)	岩上・川上(耐)　生駒・中井(耐)
41 21 大分	一般男子	単	松居(新)	荒尾(新)	太田(大)　山本(大)
		複	松居・荒尾(新)	西尾・植田(丸)	岩西・三谷(那)　橘・佐藤(住)
	一般女子	単	藤井(那)	筒井(湯)	川口(湯)　藤井(丸)
		複	川口・筒井(湯)	坂口・川瀬(湯)	藤井・若宮(那)　里・藤井(丸)
	高校男子	単	山口(新)	植(新)	野沢(新)　中西(新)
		複	山口・植(新)	野沢・中西(新)	宇井・太田(新)　西本・厚地(那)
	高校女子	単	下村(新)	宇治(向)	生駒(耐)　木戸地(新)
		複	下村・岡(新)	中井・生駒(耐)	崎山・新崎(耐)　宇治・木戸口(向)

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
42 22 埼玉	一般男子	単	植田(丸善)	荒尾(新)	小松原(住金)　堰本(新)
		複	荒尾・堰本(新)	西尾・植田(丸善)	林・箕造(丸善)　江藤・成田(住金)
	一般女子	単	宇治(住金)	山本(星)	武本・上家(那)
		複	筒井・木戸(湯)	中筋・宇治(住金)	武本・上家(那)　山本・坂本(星)
	高校男子	単	榎本(新)	厚地(那)	坂本(御)　竹内(新)
		複	山口・植(新)	野沢・中西(新)	宇井・太田(新)　西本・厚地(那)
	高校女子	単	岡(新)	木戸地(新)	中尾(耐)　寺村(向)
		複	岡・木戸地(新)	坂野・西島(耐)	坂本(住金)　土生川(那)
43 23 福井	一般男子	単	厚地(住金)	土田(住金)	坂本(住金)　土生川(那)
		複	荒尾・榎本(新)	北亦・橋(住金)	三谷・西本(那)　成田・土田(住金)
	一般女子	単	山本(新)	宇治(住金)	木田(新)　渡辺(住金)
		複	木田・山本(新)	宇治・渡辺(住金)	青石・加藤(向)　市野・野町(花)
	高校男子	単	仲(新)	楠戸(吉)	赤山(大)　滝本(新)
		複	滝本・仲(新)	川村・中山(吉)	細田・赤山(大)　上久保・龍神(御)
	高校女子	単	西川(新)	崎山(那)	古谷(星)　竹本(向)
		複	西川・堀(新)	崎山・大西(那)	塩崎・島田(御)　曾根・神田(御)
44 24 長崎	一般男子	単	土田(住金)	厚地(住金)	坂本(住金)　楠戸(丸)
		複	厚地・坂本(住金)	岡嶋・土田(住金)	土生川・岩西(那)　坂上・西本(那)
	一般女子	単	崎山(住金)	宇治(住金)	岡(住金)　竹本(住金)
		複	宇治・岡(住金)	崎山・竹本(住金)	瀬藤・渡辺(住金)
	教職員		宮崎、穂谷、明渡		
	高校男子	単	川村(吉)	松野(新商)	宮本(新商)　穂谷(大)
		複	川村・中山(大)	辻本・在路(御)	川端・川端(御)　道後・浜中(新商)
	高校女子	単	古谷(星)	田村(耐)	石垣(新商)　二河(新商)
		複	神田・曾根(御)	石垣・三河(新商)	塩崎・嶋田(御)　森下・田村(耐)
45 25 岩手	一般男子	単	厚地(住)	坂本(住)	川村(住)　土田(住)
		複	荒尾・榎本(新)	厚地・坂本(住)	川村・栗山(住)　志場・植田(丸)
	一般女子	単	岡(住)	宇治(住)	崎山(住)　竹本(住)
		複	岡・宇治(住)	崎山・竹本(住)	二河・生熊(住)
	教職員		森、宮崎、藤原		
	高校男子	単	岸野(新商)	宮本(新商)	松野(新商)
		複	松野・宮本(新商)	山田・吾妻(新)	辻本・大川(新商)
	高校女子	単	松崎(新)	佐々木(吉)	島川(新)　西岡(吉)
		複	村崎・島川(新)	佐々木・高垣(吉)	中谷・橋爪(大)　西岡・鳥淵(吉)
46 26 和歌山	一般男子	単	厚地(住金)	坂本(住金)	川村(住金)　穂谷(丸善)
		複	厚地・坂本(住金)	川村・辻(住金)	榎本・吾妻(新)　楠戸・中尾(丸善)
	一般女子	単	岡(住金)	堀(住金)	二河(住金)　生熊(住金)
		複	岡・堀(住金)	筒井・木戸(湯)	佐々木・吉村(住金)　二河・生熊(住金)
	教職員	単	森(新商)	佐藤(新商)	中西(新商)　三上(小倉)
		複	中西・佐藤(新)	森・三上(新小)	
	高校男子	単	岸野(新商)	宮本(新商)	松野(新商)
		複	松野・宮本(新商)	山田・吾妻(新)	辻本・大川(新商)
	高校女子	単	村崎(新)	佐々木(吉)	島川(新)　西岡(吉)
		複	村崎・島川(新)	佐々木・高垣(吉)	中谷・橋爪(大)　西岡・鳥淵(吉)

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
47 27 鹿児島	一般男子	単	森(教)	厚地(住金)	川村(住金)　佐藤(教)
		複	佐藤・中西(教)	厚地・坂本(住金)	荒尾・榎本(新宮ク)　森・三上(教)
	一般女子	単	岡(住金)	堀(住金)	生熊(住金)　二河(住金)
		複	岡・堀(住金)	加藤・森田(教)	二河・生熊(住金)　木戸・筒井(教)
48 28 千葉	一般男子	単	川村(住金)	越前屋(地)	岡(住金)　坂本(住金)
		複	穂谷・楠戸(丸善)	川村・坂本(住金)	岡・辻本(住金)　志場・和久谷(丸善)
	一般女子	単	湯川(住金)	生熊(住金)	酒井(住金)
		複	湯川・酒井(住金)	生熊・津田(住金)	
49 29 茨城	一般男子	単	宇治(住金)	川村(住金)	志場(丸善)
		複			
	一般女子	単	門間(教)	湯川(住金)	酒井(住金)
		複			
50 30 三重	成年男子 (一般)	単	宇治(住金)	川村(住金)	森(丸善)
		複			
	成年女子	単	湯川(住金)	酒井(住金)	村崎(教)
		複			
51 31 佐賀	成年男子 (一般)	単	穂谷(丸善)	米山(教)	宇治(住)
		複			
	成年女子	単	酒井(住)	湯川(住)	村崎(教)
		複			
52 32 青森	成年男子 (一般)	単	宇治(住金)	穂谷(丸善)	森(丸善)　川村(住金)
		複	楠戸・森(丸善)	宇治・川むせ(住金)	谷口・小形(住金)　穂谷・和久谷(丸善)
	成年女子	単	坂本(住金)	林崎(教)	浦(住金)　河野(住金)
		複	河野・浦(住金)	坂本・竹田(住金)	林崎・武藤(教)　中岡・桃原(住金)
53 33 長野	成年男子 (一般)	単	穂谷(丸善)	米山(教)	山本(教)　森(丸善)
		複	山本・米山(教)	川村・谷口(住金)	楠戸・森(丸善)　穂谷・上野(丸善)
	成年女子	単	坂本(住金)	浦(住金)	米山(和ク)　中岡(住金)
		複	米山(和ク)・森(耐ク)	坂本・浦(住金)	桃原・中岡(住金)　小島・桑添(丸善)
54 34 宮崎	成年男子 (一般)	単	穂谷(丸善)	米山(教)	山本(教)　森(丸善)
		複	山本・米山(教)	楠戸・森(丸善)	川村・野沢(住金)　穂谷・上野(丸善)
	成年女子	単	崎野(住金)	桑添(丸善)	桃原(住金)　小島(丸善)
		複	崎野・松本(住金)	桃原・中岡(住金)	桑添・小島(丸善)　越野・石橋(岩出)
55 35 栃木	成年男子	単			
		複	川村・小形(住金)	山本・平瀬(教庁)	穂谷・上野(丸善)　楠戸・森(丸善)
	成年女子	単	千葉(住金)	森(教)	坂本(教)　松本(住金)
		複	森・坂本(教)	千葉・国地(住金)	平瀬・宇治(つくし)　竹田・駒谷(つくし)
56 36 滋賀	成年男子	単			
		複	山本・米山(教)	川村・小形(住金)	穂谷・森(丸善)　辻本・北山(住金)
	成年女子	単	千葉(住金)	口地(住金)	松本(住金)　野村(住金)
		複	千葉・口地(住金)	松本・野村(住金)	林・尾保手(住海)　小島・湊本(丸善)
57 37 島根	成年男子	単	米山(教)	川村(住金)	森(丸善)　上野(丸善)
		複	穂谷・森(丸善)	川村・小形(住金)	西山・乳井(住金)　小川・野沢(住金)
	成年女子	単	大塚(住金)	野村(住金)	千葉(住金)
		複	大塚・野村(住金)	千葉・口地(住金)	成瀬・井戸本(住化)　森岡・小浦(つくし)

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
58 38 群馬	成年男子	単	米山(教)	森(住化)	北山(住金)　川村(住金)
		複	川村・小形(住金)	森・西(住化)	米山・平瀬(県教)　児嶋・西山(住金)
	成年女子	単	正田(住金)	寺田(住金)	成瀬(住化)
		複	正田・寺田(住金)	成瀬・井戸本(住化)	
59 39 奈良	成年男子	単	乳井(住金)	北山(住金)	森(住化)　中尾(住化)
		複	森・西(住化)	川村・小形(住金)	梅林・児嶋(住金)　中前・大上(住海)
	成年女子	単	正田(住金)	寺田(住金)	栗原(住金)
		複	正田・寺田(住金)	栗原・後藤(住金)	米山・宮本(岩出)　森岡・山田(つくし)
60 40 鳥取	成年男子	単	乳井(住金)	北山(住金)	中尾(住化)　梅林(住金)
		複	西山・児嶋(住金)	森・中尾(住化)	北山・小川(住金)　野沢・川村(住金)
	成年女子	単	正田(住金)	栗原(住金)	寺田(住金)
		複	正田・栗原(住金)	寺田・中島(住金)	東・向山(住化)　米山・宮本(岩出)
	少年男子	単	野中(新商)	片岡(新商)	安達(新)　新田(耐)
		複	野中・鈴木(新)	瀬古口・片岡(新商)	安達・山下(新)　田中・長沢(新商)
	少年女子	単	山崎(御)	寺西(和)	木場田(那)　井元(御)
		複	山崎・岩橋(御)	井元・鍋倉(御)	寺西・川岸(和)　川口・中野(御)
61 41 山梨	成年男子	単	乳井(住金)	北山(住金)	佐々木(県教)　中尾(住化)
		複	児嶋・佐々木(県教)	西・菊池(住化)	中尾・徳岡(住化)　乳井・児嶋(住金)
	成年女子	単	正田(住金)	和泉(住金)	栗原(住金)
		複	正田・和泉(住金)	栗原・後藤(住金)	植松・宮本(住海)　東・向山(住化)
	少年男子	単	安達(新)	松本(新)	乾(新)　小田(新)
		複	安達・山下(新)	乾・小田(新)	寺元・奥口(新商)　田村・中園(新商)
	少年女子	単	高岡(星)	杉林(新商)	木下(新)　中野(御)
		複	木下・岡村(新)	中野・川口(御)	木場田・小滝(那)　高岡・東(星)
62 42 沖縄	成年男子	単	佐々木(教)	中尾(住化)	西(住化)　乳井(住金)
		複	児嶋・佐々木(県教)	西・菊池(住化)	森・徳岡(住化)　西山・児嶋(住金)
	成年女子	単	嶌田(住金)	和泉(住金)	工藤(住金)　栗原(住金)
		複	和泉・工藤(住金)	栗原・嶌田(住金)	杉林・木下(住海)　植松・宮本(住海)
	少年男子	単	湯橋(新商)	富森(向)	新谷(新商)　森(新商)
		複	新谷・楠本(新商)	森・白堅(御)	浦上・五對(御)　大堀・西村(新商)
	少年女子	単	林(吉)	佐藤(向)	倭・谷口(新商)　辻・森(新商)
		複	林・中原(吉)	延与・中村(向)	倭・谷口(新商)　辻・森(新商)
63 43 京都	成年男子	単	北山(住金)	西山(住金)	
		複	児嶋・佐々木(県教)	森・児嶋(住金)	
	成年女子	単	嶌田(住金)	和泉礼(住金)	
		複	和泉礼・嶌田(住金)	工藤・和泉美(住金)	
	少年男子	単	大谷(近大)	東山(吉)	
		複	北郡・中平(新商)	塩谷・東山(吉)	
	少年女子	単	笠井(吉)	岩橋(吉)	
		複	岩橋・笠井(吉)	湯川・角本(御)	

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
元 44 北海道	成年男子	単	児嶋(住金)	乳井(住金)	
		複	乳井・児嶋(住金)	児嶋・佐々木(県教)	
	成年女子	単	工藤(住金)	和泉(住金)	
		複	和泉・工藤(住金)	木下・杉林(住友ク)	
	少年男子	単	永田(新)	松尾(御)	
		複	片山・横道(新商)	武内・毛見(向)	
	少年女子	単	岸田(那)	大江(御)	
		複	富村・黒田(御)	岸田・佐藤(那)	
2 45 福岡	成年男子	単	乳井(住金)	北川(住金)	
		複	児嶋・佐々木(県教)	森・西山(住金)	
	成年女子	単	工藤(住金)	木下(住金)	
		複	木下・工藤(住金)	岡野・尾崎(住金)	
	少年男子	単	谷口(星)	前田(星)	
		複	谷口・前田(星)	井口・中野(大)	
	少年女子	単	岸田(那)	田和(星)	
		複	岸田・佐藤(那)	田中・遠山(新商)	
3 46 石川	成年男子	単	乳井(住金)	北山(住金)	
		複	児嶋・佐々木(県教)	乳井・北川(住金)	
	成年女子	単	工藤(住金)	島田(住金)	
		複	尾崎・工藤(住金)	前地・藤表(ペパーミント)	
	少年男子	単	口地(星)	坂井(耐)	
		複	坂井・久保(耐)	口地・若木(星)	
	少年女子	単	湯川(向)	高井(向)	
		複	湯川・土橋(向)	野口・古田(御)	
4 47 山形	成年男子	単	児嶋(住金)	北川(住金)	乳井(住金)　北山(住金)
		複	若宮・児嶋(教委)	梅林・北川(住金)	乳井・児嶋(住金)　北山・西山(住金)
	成年女子	単	島田(住金)	尾崎(住金)	石崎(住金)　下地(住金)
		複	島田・尾崎(住金)	石崎・下地(住金)	坂本・児嶋(サンデー)
	少年男子	単	土生川(那)	岡部(那)	井上(向)　山本(向)
		複	岡部・土生川(那)	山本・西渓(向)	井上・田中(向)　岩見・前田(向)
	少年女子	単	門川(那)	藤井(那)	川口(伊)　大野(星)
		複	川口・松浦(伊)	大野・黒松(星)	奥野・川端(星)　門川・藤井(那)
5 48 東四国	成年男子	単	乳井(住金)	北川(住金)	北山(住金)　児嶋(住金)
		複	佐々木・武野(教ク)	西・児嶋(教職員ク)	児嶋・北川(住金)　北山・西山(住金)
	成年女子	単	島田(住金)	石崎(住金)	下地(住金)　尾崎(住金)
		複	島田・川口(住金)	尾崎・下地(住金)	森・門川(スクウエア)
	少年男子	単	土生川(那)	吉増(星)	児嶋(耐)
		複	井上・田中(向)	吉増・山野(星)	土生川・松下(那)
	少年女子	単	横手(新)	松居(新)	門間(新)
		複	西・横手(新)	門間・松居(新)	三上・榎本(新商)

年度 回 開催地	種別		優勝	2位	3位
6 49 愛知	成年男子	単	北山(住金)	武野(教職員ク)	北川(住金)　児嶋(住金)
		複	児嶋・北川(住金)	西・児嶋(教職員ク)	武野・有本(教職員ク)　北山・梅林(住金)
	成年女子	単	石崎(住金)	川口(住金)	下地(住金)
		複	石崎・川口(住金)		
	少年男子	単	栗田(新)	畑(新商)	二川(星)　篠田(新商)
		複	太田・山田(新商)	川瀬・篠田(新商)	井村・二川(星)　畑・久保(新商)
	少年女子	単	西(新)	山本(新商)	武一(那)　田中(新)
		複	山本・辻(新商)	北岡・大平(新商)	西・山本(新)　森本・森澤(新商)
7 50 福島	成年男子	単	武野(教職員ク)	北川(星林ク)	谷口(星林ク)　前田(星林ク)
		複	武野・有木(教職員ク・県庁ク)	谷口・前田(星林ク)	北川・口地(星林ク)
	成年女子	単	横手(東海女短大)	湯川(青山学院大学)	門間(日本体育大学)　門川(岩出スクウェア)
		複	横手・西(東海女短大・日赤看護専学)	森・門川(那賀ク・スクウェア)	松本・中岡(GBクラブ)
	少年男子	単	岩本(星)	小川(御)	小森(那)　門間(新)
		複	岩本・小川(星・御)	森・門間(新)	橋谷・下向(新商)　小森・堂浦(那)
	少年女子	単	西(新)	武一(那)	山本(那)
		複	西・武一(新・那)	田中・間野(伊)	今井・松本(伊)
8 51 広島	成年男子	単	武野(教職員クラブ)	北川(星林クラブ)	若木(関電工業)　山本(中京大学)
		複	北川・谷口(星林ク)	西・児嶋(教職員ク)	新田・宮尾(NHC湯浅)　山本・西谷(中京大学・佛教大学)
	成年女子	単	西(日体大)	湯川(向陽ＯＧ)	門間(日本体育大学)　横手(羽球会)
		複	横手・西(羽球会)	島田・川口(SBC)	湯川・滝本(向陽OG)
	少年男子	単	岡田(御)	矢倉(星)	宮田(星)　南(新)
		複	小森・岩西(那)	堂浦・小森(那)	矢倉・岡田(星・御)　浦野・佐々木(星・耐)
	少年女子	単	武一(那)	山下(御)	竹中(御)
		複	武一・朝稲(那)	山下・竹中(御)	
9 52 大阪	成年男子	単	武野(教職員ク)	畑(東亜大)	前田(ポーラフーズ)　谷口(海南市役所)
		複	谷口・前田(星林ク)	武野・有木(教職員ク)	篠田・本田(那賀クラブ)　田村・山路(住金マネジメント)
	成年女子	単	西(日体大)	門間(日体大)	湯川(和歌山市役所)　武一(武庫川短大)
		複	横手・西(羽球会)	門間・西(日体大)	
	少年男子	単	寺西(新商)	小森(那)	沢田(那)　福形(伊)
		複	小森・沢田(那)	寺西・福田(新商)	松下・谷口(新商)　辻本岸口(新商)
	少年女子	単	朝稲(那)	龍(伊)	田村(伊)　川口(伊)
		複	龍・田村(伊)	朝稲・杉本(那)	橋立・辻井(那)　戸田・渡辺(伊)
10 53 神奈川	成年男子	単	甲斐(花王)	前田(星林クラブ)	武野(教職員)　畑(東亜大)
		複	谷口・前田(星林)	武野・有木(教職員)	北川・吉増(星林ク)　田村・山路(SBC)
	成年女子	単	西(日本体育大学)	横手(羽球会)	
		複	横手・西(羽球会)		
	少年男子	単	沢田(那)	角田(有中)	漁野(新)　松井(那)
		複	小森・寺西(那・新商)	沢田・武田(那)	太田・奥山(那)　池田・北(星)
	少年女子	単	須崎(新)	木戸(有中)	世古(新)　勝浦(新)
		複	須崎・世古(新)	勝浦・木戸(有中)	辻井・竹中(那)　梅村・西岡(星)

県総合バドミントン選手権大会

年度	種別			優勝	2位	3位
39	単	1部	男子	堰本(新宮)	荒尾(新宮)	水谷(東燃)・太田(大成)
			女子	—	—	—
	複	1部	男子	堰本・玉置(新宮)	西尾・植田(丸善)	太田・井上(大成)　西端・西沢(貴志)
			女子	—	—	—
43	単	1部	男子	厚地(住金)	坂本(住金)	岩西(那賀)・橋田(住金)
			女子	宇治(住金)	崎山(那賀)	竹原(御坊)・谷口(和大)
	複	1部	男子	厚地・坂本(住金)	伴・北亦(住金)	林・箕造(丸善)　土田・橘(住金)
			女子	野田・宮崎(御坊)	崎山・大西(那賀)	小河原・竹平(御坊)
44	単	1部	男子	厚地(住金)	荒尾(新宮)	榎本(新宮)・坂本(住金)
			女子	岡(住金)	宇治(住金)	崎山(住金)・竹本(住金)
	複	1部	男子	厚地・坂本(住金)	荒尾・榎本(新宮)	土田・山田(住金)　伴・橋田(住金)
			女子	宇治・岡(住金)	崎山・竹本(住金)	
45	単	1部	男子	厚地(住金)	森(教)	坂本(住金)
			女子	—	—	—
	複	1部	男子	厚地・坂本(住金)	川村・栗山(住金)	箕造・穂谷(丸善)
			女子	—	—	—
46	単	1部	男子	中西(教)	佐藤(教)	坂本(住金)
			女子	岡(新宮)	生熊(住金)	堀(住金)・二河(住金)
		2部	男子	山下(丸善)	山田(住金)	辻本(新商)
	複	1部	男子	中西・佐藤(教)	厚地・川村(住金)	坂本・辻(住金)
			女子	加藤・森田(教)	西川・岡(新宮)	堀・佐々木(住金)　二河・生熊(住金)
		2部	男子	山下・林(丸善)	竹本・阪口(県庁)	中道・宮本(丸善)
47	単	1部	男子	川村(住金)		
			女子	湯川(住金)		
		2部	男子	山本		
	複	1部	男子	森・佐藤(教)		
			女子	堀・湯川(住金)		
		2部	男子	前田・成瀬		
48	単	1部	男子	川村(住金)		
			女子	—		
		2部	男子	—		
	複	1部	男子	川村・辻本(住金)		
			女子	—	—	
		2部	男子	—	—	

年度	種別			優勝	2位	3位
49	単	1部	男子	穂谷(丸善)	川村(住金)	志場(丸善)
			女子	湯川(住金)	酒井(住金)	湯浅(和スポ)
		2部	男子	—	—	—
	複	1部	男子	宇治・川村(住金)	大川・倉内(新宮)	荒尾・滝本(新宮)
			女子	湯川・酒井(住金)	安田・湯川(御坊)	堀・生熊(新宮)
		2部	男子	—	—	—
50	単	1部	男子	穂谷(丸善)	川村(住金)	谷口(住金)
			女子	湯川(住金)	酒井(住金)	丸岡(御坊)
		2部	男子	福山(御坊)	森崎(御坊)	徳岡(吉備)
			女子	楠本(御坊)	玉置(御坊)	森崎(御坊)
	複	1部	男子	宇治・川村(住金)	穂谷・楠戸(丸善)	志場・森(丸善)
			女子	湯川・酒井(住金)	河野・武田(御坊)	末政・丸岡(御坊)
		2部	男子	宮本・福山(御坊)	前田・川島(吉備)	小竹・森崎(御坊)
			女子	玉置・森崎(御坊)	楠本・若崎(御坊)	山田・中井(海南)
51	単	1部	男子	穂谷(丸善)	川村(住金)	森(丸善)
			女子	坂本(住金)	河野(住金)	桑添(大成高)
		2部	男子	坂口(県庁)	宮本(住金)	田村(住化)
			女子	—	—	—
	複	1部	男子	楠戸・森(丸善)	穂谷・志場(丸善)	川村・谷口(住金)
			女子	村崎・武藤(教)	坂本・竹田(住金)	浦・河野(住金)
		2部	男子	竹本・宇治田(県庁)	塩谷・田村(住化)	山崎・川崎(三菱)
			女子	—	—	—
52	単	1部	男子	穂谷(丸善)	川村(住金)	宇治(住金)
			女子	米山(和ク)	坂本(住金)	河野(住金)
		2部	男子	楠本(御坊)	玉置(御坊)	中尾(吉備)・冷水(吉備)
			女子	東本(住海)	中口(花王)	岡田(花王)・賀家(住海)
	複	1部	男子	楠戸・森(丸善)	宇治・川村(住金)	穂谷・和久谷(丸善)
			女子	武藤・米山(和ク)	河野・浦(住金)	桃原・中岡(住金)
		2部	男子	桝本・木村(御坊)	栗山・前田(吉備)	山下・中尾(下津)　福山・森崎(御坊)
			女子	中口・岡田(花王)	川尻・松江(下津)	竹中・東本(住海)　野口・村田(住化)
53	単	1部	男子	森(丸善)	穂谷(丸善)	川村(住金)・谷口(住金)
			女子	桑添(丸善)	桃原(住金)	中岡(住金)・林(耐久)
		2部	男子	桝本(御坊)	木村(御坊)	田村(住化)・福山(御坊)
			女子	中谷(海南)	山際(耐久)	前田(医大)・長沼(かつらぎ)
	複	1部	男子	楠戸・森(丸善)	川村・野沢(住金)	穂谷・上野(丸善)　和久谷・志場(丸善)
			女子	堀・前田(新宮)	桃原・中岡(住金)	桑添・小島(丸善)　木戸地・薮内(新宮)
		2部	男子	金谷・百崎(住冷)	竹中・林田(住冷)	西本・栗田(御坊)　福山・森崎(御坊)
			女子	石橋・越野(岩出)	長沼・溝端(かつらぎ)	宮本・大西(オレンジ)　南藤・矢熊(オレンジ)

年度	種別			優勝	2位	3位
54	単	1部	男子	川村(住金)	森(丸善)	穂谷(丸善)　谷口(住金)
			女子	崎野(住金)	松本(住金)	坂本(湯浅ク)　熊谷(和大)
		2部	男子	田村(住化)	山崎(三菱)	杉本(高専)　井上(かつらぎ)
			女子	宇治(オレンジ)	駒谷(オレンジ)	中谷(海南ク)　宮本(医大)
		3部	男子	室山(岩出ク)	岩本(住化)	堀江(九度山)　平井(岩出ク)
		30才以上	男子	和久谷(丸善)	宮崎(教)	前田(丸善)　宮本(丸善)
	複	1部	男子	楠戸・森(丸善)	川村・野沢(住金)	穂谷・上野(丸善)　谷口・小形(住金)
			女子	崎野・松本(住金)	坂本・北浦(湯浅ク)	林京子(和大)　林優子(和大)
		2部	男子	井上・門田(かつらぎ)	中尾・向井(丸善)	金田・竹中(かつらぎ)　福山・小竹(御坊)
			女子	宇治・駒谷(オレンジ)	大西・湯川(オレンジ)	南藤・高橋(オレンジ)　宮本・木村(オレンジ)
		3部	男子	室山・平井(岩出ク)	玉置・西辻(九度山)	堀江・松本(九度山)　玉井・渡辺(三菱)
		30才以上	男子	岩西(岩出ク)・宇治(住金)	宇治田・北東(県庁)	和久谷・宮本(丸善)　宮崎兄・宮崎弟(教)
55	単	1部	男子	穂谷(丸善)	森(丸善)	川村(住金)　山本(教)
			女子	千葉(住金)	口地(住金)	松本(住金)　坂本(湯浅ク)
		2部	男子	木戸(サンデー)	玉置(御坊ク)	中島(高専)　垣内(サンデー)
			女子	小谷(東和)	平柳(東和)	若宮(東和)　岡本(東和)
		3部	男子	尾浦(医大)	西辻(九度山ク)	長谷川(海南ク)　南(東和ク)
		30才以上	男子	和久谷(丸善)	志場(丸善)	福山(御坊ク)　竹中(住冷)
	複	1部	男子	穂谷・森(丸善)	川村・小形(住金)	平瀬・西(教)　楠戸・上野(丸善)
			女子	松本・口地(住金)	坂本・北浦(湯浅ク)	則藤・平岡(耐久)　森岡・宮本(つくし)
		2部	男子	丹下・梨本(九度山ク)	三原・垣内(サンデー)	寺村・塚田(サンデー)　黒川・中岡(東和)
			女子	湯川・宮本(つくし)	南川・岡本(東和)	小谷・若宮(東和)　桝井・桝井(九度山ク)
		3部	男子	稲谷・森下(美浜ク)	田中・高津(スガイ)	前岡・渡辺(海ク)　西辻・玉置(九度山ク)
		30才以上	男子	和久谷・志場(丸善)	宮本・前田(丸善)	宇治田・阪口(県庁)　北東・坂口(県庁)
56	単	1部	男子	川村(住)	北山(住)	小形(住)　小川(住)
			女子	千葉(住)	大塚(住)	野村(住)　口地(住)
		2部	男子	小谷(県庁)	坂下(高専)	三谷(住化)　岡室(住海)
			女子	小浦(つくし)	茶原(かつらぎ)	丹下(九度山)　東(御商)
		3部	男子	田中(九度山)	下西(九度山)	西(九度山)　玉置(九度山)
		30才以上	男子	中西(県庁)	井上(かつらぎ)	宮崎(教)　竹中(住冷)
	複	1部	男子	川村・辻本(住)	小形・西山(住)	徳岡・中尾(住化)　北山洋・北山一(住)
			女子	大塚・野村(住)	千葉・口地(住)	森岡・宮本(つくし)　駒谷・湯川(つくし)
		2部	男子	八木・西本(御坊)	田村・佐古(那ク)	三谷・朝倉(住化)　寺下・上田(東和)
			女子	小浦・宮本(つくし)	桝井・丹下(九度山)	越野・岩崎(岩出)　大浦・上西(つくし)
		3部	男子	古久保・山地(下津)	西・下西(九度山)	大谷・福岡(九度山)　前岡・藤森(海南)
		30才以上	男子	井上・門田(かつらぎ)	戸田・竹中(住冷)	宮崎弘・宮崎康(教)　中西・宇治た(県庁)

年度	種別			優勝	2位	3位
57	単	1部	男子	森(住化)	米山(教)	田和(和大OB)　西(住化)
			女子	山際(和大)	平田(和大)	茶原(かつらぎク)　浦(和大)
		2部	男子	生地(新ク)	西(九度山)	大川(SBC)　倉谷(新ク)
			女子	平瀬(新ク)	池田(新高)	下地(新商)・中村(新高)
		3部	男子	横田(九度山)	福岡(花王)	角谷(田辺ク)　大野(東和)
		30才以上	男子	井上(かつらぎ)	小池(花王)	山下(県庁)　門田(かつらぎ)
	複	1部	男子	森・西(住化)	米山・武藤(教)	田村・玉置(住化)　徳岡・中尾(住化)
			女子	桝井・丹下(九度山)	平田・重松(和大)	山際・浦(和大)　久岡・江川(和大)
		2部	男子	大川・稲田(新ク)	窪・松田(SBC)	道前・倉谷(新ク)　榎本・栗原(新ク)
			女子	堀・平瀬(新ク)	舟崎・亀田(新商)	藤井・前北(新商)　野地・門(新商)
		3部	男子	西辻・生地(橋本)	福住・井上(橋本)	谷口・今村(花王)　福地・酒井(東和)
		30才以上	男子	宇治田・阪口(県庁)	栗山・野浦(住海)	上田・寺下(東和)　井上・門田(かつらぎ)
58	単	1部	男子	北山(住)	森(住化)	中前(住海)　小川(住金)
			女子	正田(住金)	寺田(住金)	向山(御商)　成瀬(住化)
		2部	男子	生地(橋本)	糠野(東和)	金田(かつらぎ)　名倉(かつらぎ)
			女子	宮本(田辺)	福田(住海)	西浦(住海)　竹中(下津)
		3部	男子	堀谷(すさみ)	角谷(住化)	福岡(花王)　脇(下津)
		30才以上	男子	志場(丸善)	三角(住化)	前田(丸善)　井上(かつらぎ)
	複	1部	男子	西山・児嶋(住金)	川村・小形(住金)	森・中尾(住海)　西・森岡(住化)
			女子	正田・寺田(住金)	森岡・山田(つくし)	駒谷・小浦(つくし)　桝井・丹下(九度山)
		2部	男子	福地・糠野(東和)	田中・生地(橋本)	金田・名倉(かつらぎ)　坂田・西(九度山)
			女子	東・石橋(岩出)	井谷・本田(岩出)	堀・寺嶋(東和)　竹中・上林(下津)
		3部	男子	大谷・刀弥(九度山)	奥野・髭白(東和)	福住・水林(橋本)　鳥羽・上野(岩出)
		30才以上	男子	志場・前田(丸善)	山下・中西(県庁)	竹中・宇治田(県庁)　栗山・野浦(住海)
59	単	1部	男子	北山(住金)	小形(住金)	乳井(住金)　森(住化)
			女子	正田(住金)	栗原(住金)	東(住化)　向山(住化)
		2部	男子	西(九度山)	杉本(三菱)	岩本(住化)　朝倉(住化)
			女子	寺西(和高)	川岸(和高)	湯川(和高)　川岸(和高)
		3部	男子	小西(高野山)	奥野(東和)	北村(東和)　大道(下津)
		30才以上	男子	三谷(住化)	丹下(九度山)	田中(九度山)
	複	1部	男子	森・西(住化)	小形・児嶋(住金)	西山・乳井(住金)　武藤・米山(教)
			女子	正田・栗原(住金)	米山・宮本(岩出)	坂本・則藤(サンデー)　東・向山(住化)
		2部	男子	寺村・森本(星林)	門田・小林(かつらぎ)	寺下・上田(東和)　杉本・黒川(三菱)
			女子	吉田・宮本(つくし)	寺島・広瀬(東和)	東・原(岩出)　岡崎・乾(つくし)
		3部	男子	吉田・溝端(白浜)	奥野・髭白(東和)	亀井・小西(高野山)　三倉・広本(日置川)
		30才以上	男子	竹本・山下(県庁)	尾崎・野浦(住海)	山下・中道(下津)　丹下・田中(九度山)

年度	種別			優勝	2位	3位
60	単	1部	男子	森(住化)	中尾(住化)	田村(住化)　徳岡(住化)
			女子	米山(岩出ク)	山田(つくしク)	駒谷(つくしク)　宮本(岩出ク)
		2部	男子	杉本(三菱)	堀谷(すさみ)	谷(住海)　金田(かつらぎ)
			女子	小田(アイク)	西田(白浜)	佐藤(向陽高)　武田(下津)
		3部	男子	大西(高野山)	上岡(粉河)	井上(花王)　髭白(東和)
		30才以上	男子	—	—	—
	複	1部	男子	森・中尾(住化)	中前・大上(住海)	下西・西(九度山)　田村・徳岡(住化)
			女子	米山・宮本(岩出ク)	山田・駒谷(つくしク)	大橋・吉田(つくしク)　寺西・川岸サ(和高)
		2部	男子	中岡・奥野(東和)	上田・寺下(東和)	吉田・溝端(白浜)　前迫・南城(高野口)
			女子	小田・藤本(アイク)	南藤・乾(つくしク)	堀・志賀(つくしク)　植松・前山(下津)
		3部	男子	髭白・酒井(東和)	中村・保田(高野口)	上岡・川原(粉河)　谷口・木村(かつらぎ)
		30才以上	男子	—	—	—
61	単	1部	男子	森(住化)	佐々木(教)	菊地(住化)　中尾(住化)
			女子	植松(住海)	向山(住化)	東(住化)　宮本(住化)
		2部	男子	吉田(白浜)	前田(那賀)	堀谷(白浜)　道畑(白浜)
			女子	小田(アイク)	寺島(東和)	谷口(海南)　武田(下津)
		3部	男子	荒川(高野山)	古川(かつらぎ)	稲田(白浜)　今中(海南)
		30才以上	男子	—	—	—
	複	1部	男子	西・菊地(住化)	山路・中尾(住化)	若宮・米山(教)　森・徳岡(住化)
			女子	宮本・米山(岩出ク)	東・向山(住化)	山田・中村(つくし)　駒谷・高橋(つくし)
		2部	男子	矢半田・前田(那賀)	堀谷・道畑(白浜)	広畠・前川(住海)　渡辺・北野(海南)
			女子	小田・藤本(アイク)	追矢・山本(日置川)	谷口・田中(海南)　寺島・堀(東和)
		3部	男子	荒川・吉川(高野山)	河上・高尾(白浜)	谷口・古川(かつらぎ)　朝間・山下(海南)
		30才以上	男子	林堂・桜井(星林ク)	小池・西尾(花王)	宇治田・阪口裕(県庁)
62	単	1部	男子	木下(和大)	西(教)	桜井(教)　大上(住海)
			女子	木下(住海)	杉林(住海)	植松(住海)　宮本(住海)
		2部	男子	髭白(東和)	岡野(近大和歌山)	中山(近大和歌山)　久保(近大和歌山)
			女子	紺野(GBク)	岡崎(近大和歌山)	山本(近大和歌山)　足立(近大和歌山)
		3部	男子	浅間(海南)	福岡(花王)	林(海南)　橋本(東和)
		30才以上	男子	杉本(三菱)	山下(県庁)	芝(県庁)　寺下(東和)
	複	1部	男子	西・桜井(教)	中前・大上(住海)	奥野・太田(東和)　岡室・北山(住海)
			女子	杉林・木下(住海)	宮本・植松(住海)	小田・藤本(アイク)　駒谷・中村(つくし)
		2部	男子	松山・村垣(那賀)	住矢魔・森(那賀)	浦・北尾(日置川)　岡野・久保(近大和歌山)
			女子	紺野・森下(GBク)	寺島・嶋本(東和)	和中・串野(共同酸素)　山本・岡崎(近大和歌山)
		3部	男子	林・浅間(海南)	堀・松山(花王)	橋本・粉川(東和)　紺野・北野(GBク)
		30才以上	男子	阪口・宇治田(県庁)	福地・福島(東和)	杉本・黒川(三菱)　上田・寺下(東和)

年度	種別			優勝	2位	3位
63	単	1部	男子	北山(住金)	乳井(住金)	
			女子	工藤(住金)	木下(住海)	
		2部	男子	杉本(三菱)	堀谷(田辺市役所)	田村(下津ク)　沖(下津ク)
			女子	岸田(那賀高)	三上(田辺市役所)	佐藤智(那賀高)　安倍(那賀高)
		3部	男子	堀(花王)	西本(花王)	梶谷(那賀高)　橋本(東和ク)
		30才以上	男子	川村(住金)	杉本(三菱)	
			女子	―		
		40才以上	男子	丹下(伊都ク)	寺下(東和ク)	
			女子	―	―	
	複	1部	男子	佐々木・児嶋智(教)	森・児嶋浩(住金)	
			女子	工藤・和泉美(住金)	和泉礼・蔦田(住金)	
		2部	男子	倉石・岡(サンデー)	小池・西尾(花王)	堀谷・道畑(田辺市役所)　杉本・黒川(三菱)
			女子	西田・三上(田辺市役所)	海堀・内田(かつらぎ)	高井・村松(てまりク)　平井・津田(那賀高)
		3部	男子	橋本・鍵野(東和)	西本・立澤(花王)	石山・岩本(田辺市役所)　松村・堀(花王)
		30才以上	男子	川村・野沢(住金)	前川・広畠(住海)	
			女子	山田・中村(県庁)	―	
		40才以上	男子	丹下・岩西(伊都ク)	上田・寺下(東和ク)	
			女子	小田・藤本(アイク)	―	
元	単	1部	男子	北山(住金)	児嶋(住金)	
			女子	工藤(住金)	植松(住金)	
		2部	男子	小谷(県庁)	堀谷(日置川)	
			女子	衛藤(那賀高)	藤井(岩出)	
		3部	男子	福山(中紀協会)	朝倉(住化ク)	
		30才以上	男子	川村(住金)	下西(伊都ク)	
			女子	―	―	
		40才以上	男子	丹下(伊都ク)	西本(アイク)	
			女子	―	―	
		50才以上	男子	前田(川永シャトル)	高津(NTT)	
	複	1部	男子	乳井・児嶋(住金)	中尾・北山(住金)	
			女子	和泉美・工藤(住金)	坂本・鍛冶(サンデー)	
		2部	男子	垣内・三原(湯浅ク)	森下・塩崎(中紀協会)	
			女子	井上・高井(てまり)	上西・溝川(つくし)	
		3部	男子	森・五行(海南)	大久田・前地(ペパーミント)	
		30才以上	男子	中岡・松岡(東和ク)	杉本・糠野(東和ク)	
			女子	中村・駒谷(県庁)	松田・紺野(GBク)	
		40才以上	男子	丹下岩西(伊都ク)	上田・寺下(東和ク)	
			女子	小田・藤本(アイク)	大西・山本(向ノ芝)	
		MIX		倉内・倉内(サンデー)	中村・紺野(GBク)	

年度	種別			優勝	2位	3位
2	単	1部	男子	乳井(住金)	北川(住金)	
			女子	木下(住金)	工藤(住金)	
		2部	男子	松島(向陽高)	塩崎(中紀協会)	
			女子	湯川(向陽高)	川口(伊都高)	
		3部	男子	阪井(GB)	久保(GB)	
		30才以上	男子	田和(サンデー)	山路(住化)	
		40才以上	男子	西本(川永シャトル)	前田(花王)	
	複	1部	男子	佐々木・児嶋(教)	西山・梅林(住金)	
			女子	木下・工藤(住金)	尾崎・岡野(住金)	
		2部	男子	倉内・寺村(サンデー)	武一・森下(海南ク)	
			女子	藤本・青木(アイク)	小田・福岡(アイク)	
		3部	男子	大久田・前地(ペパーミント)	和田・森下(和コクヨ)	
		30才以上	男子	田村・山路(住化)	福地・糠野(東和ク)	
			女子	中村・駒谷(県庁)	井上・高井(ウイング)	
		40才以上	男子	上田・寺下(東和ク)	志村・西本(川永シャトル)	
			女子	小田・藤本(アイク)	―	
		MIX		中村・紺野(GBク)	倉内・坂本(サンデー)	
3	単	1部	男子	乳井(住金)	梅林(住金)	
			女子	工藤(住金)	尾崎(住金)	
		2部	男子	中村(東燃)	塩崎(中紀)	
			女子	川口(伊都高)	能木(岩出)	
		3部	男子	福山(中紀)	古谷(花王)	
		30才以上	男子	北山(住金)	小谷(県庁)	
		40才以上	男子	朝倉(JAPAN)	西本(アイク)	
	複	1部	男子	佐々木・児嶋(教)	中前・新田(JAPAN・湯浅ク)	
			女子	尾崎・工藤(住金)	辻本・西本(アイク)	
		2部	男子	中村・粟田(東燃)	辻本・西本(アイク)	
			女子	小田・藤本(アイク)	川口・松浦(伊都高)	
		3部	男子	古谷・高橋(花王)	宮崎・笹(名草)	
		30才	男子	倉内・岡(サンデー)	田村・山路(JAPAN)	
		以上	女子	小田・藤本(アイク)	松田・紺野(GBク)	
		40才	男子	丹下・西本(伊都ク・アイク)	茶畑・池端(花王)	
		以上	女子	小田・藤本(アイク)	―	
		MIX		中村・井窪(東燃・GBク)	倉内・森下(サンデー)	

年度	種別			優勝	2位	3位
4	単	1部	男子	乳井(住金)	梅林(住金)	北川(住金)　児嶋(住金)
			女子	島田(住金)	石崎(住金)	尾崎(住金)　下地(住金)
		2部	男子	塩崎(中紀ク)	山野(星林)	福山(中紀ク)　吉増(星林)
			女子	能木(スクウェアー)	森(海南)	奥野(星林)　武一(海南)
		3部	男子	丹下(伊都ク)	三根(ペパーミント)	横田(伊都ク)　津本(伊都)
		30才以上	男子	北山(住金)	中村(東燃)	西山(住金)　桜井(教)
		40才以上	男子	福山(中紀ク)	新名(吹上)	西本(アイク)　朝倉(JAPAN)
	複	1部	男子	児嶋・北川(住金)	中前・新田(JAPAN)	木村・安藤(和大)　宮向井・井上(JAPAN)
			女子	島田・尾崎(住金)	石崎・下地(住金)	福田・丹下(伊都ク)　坂本・赤井(サンデー)
		2部	男子	田伏・掛田(県庁)	塩崎・福山(中紀ク)	井上・田中(向陽)　上田・北原(東和ク)
			女子	高岡・木場田(東和ク)	森・武一(海南)	蘭崎・浜(高積ク)　福田・丹下(伊都ク)
		3部	男子	横田・丹下(伊都ク)	新家・森崎(中紀ク)	立澤・斉藤(花王)　中尾・西(伊都ク)
		30才以上	男子	森・徳岡(JAPAN)	岡・野生(JAPAN)	田村・山路(JAPAN)　中村・栗田(東燃)
			女子	児嶋・井戸(マスカット)	相沢・高見(マスカット)	青木・獄野(マスカット)
		40才以上	男子	福山・朝倉(中紀ク)	丹下・西本(伊都ク)	—
			女子	小田・藤本(アイク)	—	—
		MIX		徳岡・相沢(JAPAN)	安藤・吉田(和大)	中前・獄野(JAPAN)　東山・井戸(下津)
5	単	1部	男子	北川(住金)	児嶋(住金)	梅林(住金)　吉増(星林高)
			女子	島田(住金)	石崎(住金)	下地(住金)　尾崎(住金)
		2部	男子	森川(和大)	小西(和大)	井村(星林高)　谷野(星林高)
			女子	武一(海南ク)	門川(スクウェアー)	土岐(スクウェアー)　森(海南ク)
		3部	男子	森崎(中紀ク)	福岡(花王)	鳥羽(スクウェアー)　林(御坊商工)
		30才以上	男子	北山(住金)	中村(東燃)	紺野(GBク)　福島(東燃)
		40才以上	男子	田村(JAPAN)	福山(中紀ク)	紺野(GBク)　福島(東燃)
	複	1部	男子	児嶋・北川(住金)	梅林・乳井(住金)	田中・瀬川(JAPAN・勝浦)
			女子	尾崎・石崎(住金)	島田・川口(住金)	中道・杉本(星林高)　奥野・稲垣(星林高)
		2部	男子	森川・小西(和大)	栗田・小林(東燃)	髭白・岡本(東和ク)　杉本・小池(三菱・花王)
			女子	高岡・藤本(東和ク)	武一・森(海南ク)	土岐・門川(スクウェアー)　栗生・中井(海南ク)
		3部	男子	竹中・横手(ペパーミント)	新名・木村(吹上ク)	前田・松山(花王)　林・小川(御坊商工)
		30才以上	男子	野生・中前(JAPAN)	西・児嶋(教)	森・徳岡(JAPAN・住化)　西山・北山(住金)
			女子	西畑・玉井(つくしク・JAPAN)	青木・獄野(サンデー)	土岐・木村(岩出)　井戸・高見(サンデー)
		40才以上	男子	福山・田村(中紀ク・JAPAN)	阪口・宇治田(県庁)	上田・福島(東燃)　森・栗田(東燃)
			女子	山田・坂本(つくしク)	赤井・栩野(岩出)	—
		MIX		小林・松本(東燃・GBク)	木村・松本(吹上)	新名・菊池(吹上)

年度	種別			優勝	2位	3位
6	単	1部	男子	谷口(星林ク)	武野(教)	前田(星林ク)　口地(星林ク)
			女子	石崎(住金)	下地(住金)	川口(住金)　能木(三菱)
		2部	男子	寺村(東和ク)	岩本(星林高)	杉本(三菱)　西山(三菱)
			女子	武一(那賀高)	門川(スクウェアー)	尾花(那賀高)　森(那賀ク)
		3部	男子	赤松(星林高)	高橋(花王)	山本(東燃)　香春(花王)
		30才以上	男子	北山(住金)	梅林(住金)	小谷(県庁)　杉本(三菱)
		40才以上	男子	中村(東燃)	田村(JAPAN)	西本(アイク)　福山(中紀ク)
	複	1部	男子	児嶋・北川(住金)	武野・有木(教)	田中・山路(JAPAN・貴志川)　中村・寺田(那賀ク)
			女子			
		2部	男子	粟田・塩崎(東燃)	山之上・平野(那賀ク)	寺村・糠野(東和ク)　大谷・中山(近大ク)
			女子	尾花・武一(那賀高)	土岐・門川(スクウエアー)	木村・森(那賀ク)　辻井・三舟(那賀高)
		3部	男子	高橋・香春(花王)	石村・佐悟(近大ク)	山本・藤野(東燃)　浜口・川口(ビギンズ)
		30才以上	男子	北山・梅林(住金)	野生・中前(JAPAN)	前迫・南城(伊都ク)　上西・坂田(伊都ク)
			女子	井戸・紺野(マスカット・GBク)	—	—
		40才以上	男子	田村・中村(東燃・JAPAN)	福山・粟田(中紀ク)	柴田・沢田(那賀ク)　辻本・西本(アイク)
			女子	小田・藤本(アイク)	—	—
		MIX		小林・松本(東燃・GBク)	新田・紺野(GBク)	西本・寒川(川永)　辻本・藤本(アイク)
7	単	1部	男子	武野(教)	北川(星林ク)	森(那賀ク)　小森(那賀高)
			女子	武一(那賀高)	森(那賀高)	土岐(スクウェアー)　友淵(スクウェアー)
		2部	男子	赤松(星林高)	岡田(御坊商工)	岡田(三菱)　杉本(三菱)
			女子	能木(三菱)	吉川(東和ク)	川中(星林高)　廣瀬(星林高)
		3部	男子	宮田(星林高)	因幡(海南ク)	土井(星林高)　田中(花王)
		30才以上	男子	山之上(那賀ク)	—	—
		40才以上	男子	武藤(教)	中村(東燃)	田村(貴志川ク)　辻本(三菱)
	複	1部	男子	武野・有木(教・県庁)	谷口・前田(星林ク)	小林・東山(東燃・下津)　城水・大谷(三菱)
			女子	尾花・武一(那賀高)	能木・門川(三菱・スクウェアー)	坂本・赤井(サンデー)　紺野・松本(GBク)
		2部	男子	北尾・堀谷(中紀ク)	山之上・谷川(那賀ク)	福山・川口(ビギンズ)　酒井・髭白(東和ク)
			女子	能木・森(三菱)	嶋本・吉川(東和ク)	上井・野田(那賀ク)　小路・杉原(那賀ク)
		3部	男子	武一・森(海南ク)	塩崎・小竹(中紀ク)	森本・川瀬(ビギンズ)　西本・福岡(花王)
		30才以上	男子	木戸・田和(サンデー)	—	—
			女子	友淵・土岐(スクウェアー)	森・内匠(GBク)	—
		40才以上	男子	田村・中村(東燃・JAPAN)	福山・粟田(中紀ク)	森・木村(中紀ク)　森・福島(東燃)
			女子	高井・村松(ウイング)	長沢・福山(GBク)	—
		MIX		北川・島田(星林ク)	小林・松本(東燃・GBク)	白水・能木(三菱)　大谷・門川(三菱・スクウェアー)

年度	種別			2位	3位	
8	単	1部	男子	武野(教)	高橋(JAPAN)	田伏(県庁)
			女子	湯川(向陽OG)	横手(羽球会)	―
		2部	男子	辻本(アイク)	山之上(那賀ク)	大谷(三菱)　杉本(三菱)
			女子	佐藤(那賀ク)	土岐(スクウェアー)	井尻(和医大)　田村(星林高)
		3部	男子	中谷(ビギンズ)	浜口(ビギンズ)	間藤(向陽高)　前川(ビギンズ)
		30才以上	男子	乳井(SBC)	―	―
		40才以上	男子	中村(東燃)	辻本(アイク)	杉本(三菱)
	複	1部	男子	北川・谷口(星林ク)	田伏・高尾(県庁)	―
			女子	横手・西(羽球会)	島田・川口(SBC)	出口・能木(SBC・三菱)　森・佐藤(那賀ク)
		2部	男子	木戸・田和(サンデー)	白水・大谷(三菱)	本田・平野(那賀ク)　山之上・浜口(那賀ク)
			女子	佐藤・谷口(那賀ク)	能木・土岐(スクウェアー)	土井・野田(那賀ク)　木村・友渕(スクウェアー)
		3部	男子	福岡・香奈(花王)	中嶋・安藤(ドングリ)	中谷・中野(ビギンズ)　越智・辻井(ウイング)
		30才以上	男子	西・児島(教)	中前・山路(SBC)	―
			女子	越智・浜本(ウイング)	辻本・丸山(ウイング)	―
		40才以上	男子	森・木村(JAPAN・中紀ク)	中村・田村(東燃・SBC)	川口・福山(ビギンズ・中紀ク)　辻本・杉本(アイク)
			女子	山本・村松(ウイング)	井上・辻井(ウイング)	―
		MIX		乳井・川口(SBC)	北川・出口(星林ク・SBC)	山路・島田(SBC)
9	単	1部	男子	武野(教)	甲斐(花王)	谷口(星林ク)　前田(星林ク)
			女子	横手(羽球会)	中西(新商OG)	能木(三菱)
		2部	男子	小森(那賀高)	沢田(那賀高)	大谷(三菱)　平野(那賀ク)
			女子	松本(スクウェアー)	木戸(サンデー)	梅村(星林高)　橋立(那賀高)
		3部	男子	今中(川永ク)	岩西(スクウェアー)	出水(星林高)　牛居(サンデー)
		30才以上	男子	―	―	―
		40才以上	男子	中村(東燃)	辻本(アイク)	田村(SBC)
	複	1部	男子	谷口・前田(星林ク)	篠田・本田(那賀ク)	大谷・新蔵(三菱・SBC)
			女子	横手・西(羽球会)	藤本・池田(東和・SBC)	
		2部	男子	平野・山之上(那賀ク)	新蔵・田村(SBC)	白水・直川(三菱)　小森・沢田(那賀高)
			女子	友渕・松本(スクウェアー)	木村・土岐(スクウェアー)	吉川・岸村(東和ク)　木戸・勝浦(サンデー)
		3部	男子	岡崎・出水(星林高)	乾・道脇(スクウェアー)	竹中・畠中(サンデー)　前田・田中(花王)
		30才以上	男子	辻本・山路(アイク・SBC)	西・野生(新商OB)	杉本・白水(三菱)
			女子	―	―	―
		40才以上	男子	森・木村(JAPAN)	中村・田村(東燃・SBC)	―
			女子	―	―	―
		MIX		甲斐・西(羽球会・花王)	西・中西(新商OB)	白水・能木(三菱・SBC)
10	単	2部	男子	今中(川永ク)	西本(花王)	藤田(近大附属高)　辻本(SBC)
			女子	梅村(星林高)	土岐(スクウェアー)	西嶋(耐久高)　辻井(那賀高)
		3部	男子	岩西(スクウェアー)	竹中(耐久高)	土岐(耐久高)　狗巻(耐久高)
	複	2部	男子	新蔵・田村(SBC)	北・池田(星林高)	松山・平野(那賀ク)　西尾・黒川(花王)
			女子	木村・土岐(スクウェアー)	梅村・西岡(星林高)	甘木・浜端(ビギンズ)　岸村・吉川(東和)
		3部	男子	岩西・乾(スクウェアー)	鳥羽・原口(スクウェアー)	神山・山下(ビギンズ)　松山・福岡(花王)

県社会人・学生バドミントン選手権大会

年度	種別			優勝	2位	3位
40	単	1部	男子	水谷(東)	宮岡(東)	前田(那)・植田(丸善)
	複	1部	男子	西尾・植田(丸善)	西沢・前田(那)	三家・金岡(電々)　東山・宮岡(東)
			女子	三宅・常田	山田・御木	
41	単	1部	男子	宮岡(東)	植田(丸善)	三谷(那)・土生川(那)
	複	1部	男子	水谷・宮岡(東)	岩西・三谷(那)	佐藤・山本(住金)　橘・佐藤(住金)
42	単	1部	男子	太田(大成)	橋本(丸善)	土田(住金)・西尾(丸善)
			女子	宇治(住金)	吉村(和大)	武本(那)・山本(和大)
	複	1部	男子	荒尾・堰本(新)	西尾・植田(丸善)	橘・山本(住金)　太田・山本(大成)
			女子	木下・宇治(住金)	中筋・森(住金)	中村・山本(和大)　藤井・岩崎(那)
43	単	1部	男子	堰本(新)	荒尾(新)	厚地(住金)・土田(住金)
			女子	宇治(住金)	谷口(和大)	渡辺(住金)・岡崎(和大)
	複	1部	男子	荒尾・堰本(新)	松居・堀口(新)	吉村・岩田(那)　坂本・北亦(住金)
			女子	宇治・渡辺(住金)	谷口・岡崎(和大)	野町・市瀬(花)
44	単	1部	男子	厚地(住金)	坂本(住金)	田村(和大)・土田(住金)
			女子	崎山(住金)	竹本(住金)	川瀬(御)・崔川(御)
	複	1部	男子	—	—	—
			女子	—	—	—
45	複	1部	男子	厚地・坂本(住金)	川村・栗山(住金)	山田・橋田(住金)　土田・藤原(住金)
			女子	宇治・岡(住金)	木戸・田村(耐)	崎山・竹本(住金)　岡崎・藤本(和大)
46	複	1部	男子	佐藤・中西(教)	厚地・坂本(住金)	森・三上(教)　川村・辻(住金)
			女子	岡・堀(住金)	加藤・森田(教)	裏田・長井(和大)　二河・生熊(住金)
47	単	1部	男子	門間(教)	中西(教)	佐藤(教)・川村(住金)
			女子	堀(住金)	湯川(住金)	二河(住金)・生熊(住金)
		2部	男子	西本(那)	上村(東)	阪上(那)・林(丸善)
	複	1部	男子	門間・中西(教)	森・佐藤(教)	楠戸・穂谷(丸善)　川村・岡(住金)
			女子	堀・佐々木(住金)	二河・湯川(住金)	田中・南本(学)
		2部	男子	前田・成瀬(那)	丸田・高橋(学)	三谷・阪上(那)　岩西・西本(那)
48	単	1部	男子	越前屋(地)	川村(住金)	森(教)・門間(教)
			女子	門間(教)	湯川(住金)	酒井(住金)・生熊(住金)
		2部	男子	山下(丸善)	阿部(東)	馬庭(和大)・出水(和大)
	複	1部	男子	門間・中西(教)	楠戸・穂谷(丸善)	坂本・辻(住金)　川村・岡(住金)
			女子	末政・門間(教)	湯川・酒井(住金)	西田・有本(和大)　長井・南本(和大)
		2部	男子	山下・中道(丸善)	丸田・馬庭(和大)	宮本・上野(丸善)　坂東・錦織(東燃)

年度	種別			優勝	2位	3位
49	単	1部	男子	森(教)	門間(教)	森(丸善)・中西(教)
			女子	湯川(住金)	酒井(住金)	山川(和大)・津田(住金)
		2部	男子	宮本(丸善)	前田(丸善)	竹中(住金)・錦織(東燃)
	複	1部	男子	門間・武藤(教)	宇治・坂本(住金)	楠戸・穂谷(丸善)　大川・浜中(新)
			女子	湯川・酒井(住金)	南本・杉本(和大)	山川・雲財(和大)　野中・加納(和大)
		2部	男子	向井・小池(花)	板東・宮崎(和大)	馬庭・山本(和大)　中谷・板倉(和大)
50	単	1部	男子	宇治(住金)	川村(住金)	森(教)・中西(教)
			女子	村崎(教)	松原(日赤)	湯川(住金)・山本(教)
		2部	男子	芝崎(東燃)	坂本(東燃)	谷口(教)・栩野(丸善)
	複	1部	男子	宇治・川村(住金)	楠戸・穂谷(丸善)	中西・武藤(教)　志場・森(丸善)
			女子	湯川・酒井(住金)	山本・村崎(住金)	堀・生熊(新)　坂本・中村(住金)
		2部	男子	林田・百崎(住金)	戸田・藤永(住金)	大谷・川崎(教)　足田・佐々木(東燃)
			女子	大西・小野田(和大)	尾崎・天野(和大)	野坂・橋詰(丸善)　関谷・宮本(和大)
51	単	1部	男子	山本(教)	米山(教)	宇治(住金)・森(教)
			女子	村崎(教)	湯川(住金)	酒井(住金)・坂本(住金)
		2部	男子	山崎(三菱)	赤山(海南ク)	川崎(教)・白原(県庁)
			女子	—	—	—
	複	1部	男子	米山・平瀬(教)	中西・武藤(教)	宇治・小杉(住金)　川村・谷口(住金)
			女子	湯川・酒井(住金)	村崎・武藤(教)	浦・竹田(住金)　坂本・河野(住金)
		2部	男子	山口・金谷(住冷)	林田・百崎(住冷)	北東・白原(県庁)　戸田・藤永(住冷)
			女子	宮本・大西(和ク)	井上・中谷(かつらぎク)	小嶋・西村(丸善)　西川・松浦(三菱)
52	単	1部	男子	宇治(住金)　森(丸善)		山本(教)　穂谷(丸善)
			女子	坂本(住金)	河野(住)	竹田(住)　米山(岩出)
		2部	男子	松浪(尾西)　福山(御)		中尾(丸善)　熊取屋(尾西)
			女子	西川(三菱)	森崎(御)	玉置(御)　出口(丸善)
		30才	男子	宮本(丸善)	榎谷(尾西)	宮崎(教)　藤林(尾西)
	複	1部	男子	山本・米山(教)	楠戸・森(丸善)	宇治・川村(住)
			女子	村崎・武藤(教)	坂本・竹田(住)	浦・河野(住)　桃原・中岡(住)
		2部	男子	百崎・金谷(住冷)	松浪・藤林(尾西)	中尾・向井(丸善)　榎谷・熊取屋(尾西)
			女子	宇治・宮本(和ク)	石橋・越野(岩ス)	天野・大西(　)　森崎・玉置(御坊)
		30才	男子	宇治タ・北東(県庁)	中道・山下(下津)	三谷・土生川(那賀)　横山・田中(住冷)
53	単	1部	男子	米山(教)	穂谷(丸善)	森(丸善)
			女子	青木(和大)	浦(住)	坂本(住)　桑添(丸善)
		2部	男子	前原(丸善)	奥(尾西)　小池(花王)	田村(住化)
			女子	坂本(湯ク)	中谷(海ク)	暮橋(和大)　岡田(花)
		30才	男子	中西(県庁)	榎谷(尾西)	宮本(丸善)　宮崎(教)
	複	1部	男子	山本・米山(教)	楠戸・森(丸善)	武藤・平瀬(教)
			女子	青木・松田(和大)	坂本・浦(住)	桃原・中岡(住)　堀・前田(新宮)
		2部	男子	榎本・滝本(新宮)	大川・西(新宮)	桝本・木村(御)　中山・徳岡(吉備)
			女子	宇治・天野(和ク)	森・熊谷(和大)	坂本・林(湯ク)　南藤・矢熊(和ク)
		30才	男子	藤林・松浪(尾西)	中道・山下(下津)	竹中・林田(住冷)　谷口・中西(教)

年度	種別			優勝	2位	3位
54	単	1部	男子	山本(教)	米山(教)	穂谷(丸善)　谷口(住金)
			女子	桑添(丸善)	崎野(住金)	桃原(住金)
		2部	男子	杉本(三菱)	新井(御坊)	田村(住化)　福山(御坊)
			女子	円下(九度山)	桝井(九度山)	西垣(海南ク)　桝井(九度山)
		3部	男子	清水(岩出)	矢半田(有田)	道上(九度山)　堀江(九度山)
		30才	男子	和久谷(丸善)	竹中(住冷)	中西(県ク)　北東(県ク)
	複	1部	男子	山本・米山(教)	楠戸・森(丸善)	武藤・平瀬(教)
			女子	崎野・松本(住金)	桃原・中岡(住金)	熊谷・森(和大)
		2部	男子	宇治・岡(サニー)	福山・小竹(御坊)	森下・西本(御坊)　中尾・向井(丸善)
			女子	越野・石橋(岩出)	丹下・桝井(九度山)	南藤・矢熊(オレンジ)　長沼・中谷(かつらぎ)
		3部	男子	丹下・道上(九度山)	岡山・久保(スガイ)	高津・大河内(スガイ)　西辻・玉置(九度山)
		30才	男子	和久谷・宮本(丸善)	中西・白原(県ク)	宇治田・北東(県ク)　竹中・林田(住冷)
55	単	1部	男子	川村(住金)	谷口(住金)	小形(住金)　神谷(湯浅)
			女子	森(湯浅)	千葉(住金)	平瀬(つくし)　坂本(湯浅)
		2部	男子	中尾(下津)	向井(花王)	井上(かつらぎ)　中尾(丸善)
			女子	中谷(海南く)	南川(東和)	岡本(東和)　蜂谷(東和)
		3部	男子	小谷(県庁)	岩本(住化)	前岡(海南ク)　福地(東和)
		30才	男子	和久谷(丸善)	中西(県庁)	前田(丸善)　坂本(有田)
	複	1部	男子	武藤・米山(教員)	谷口・小形(住金)	川村・野沢(住金)　楠戸・森(丸善)
			女子	坂本・森(湯浅)	千葉・国地(住金)	平瀬・宇治(つくし)
		2部	男子	倉内・角(サンデー)	三原・垣内(サンデー)	円下・道上(九度山)　竹中・今田(かつらぎ)
			女子	中谷・大河内(海南ク)	円下・桝井(九度山)	南川・岡本(東和)　越野・石橋(岩出)
		3部	男子	堀江・松本(九度山)	岡山・久保(スガイ)	小谷・芝(県庁)　秋山・高津(スガイ)
		30才	男子	宇治田・中西(県庁)	和久谷・宮本(丸善)	坂口・北東(県庁)　福山・森崎(御坊)
56	単	1部	男子	川村(住金)	穂谷(丸善)	森(丸善)　北山(住金)
			女子	千葉(住金)	森(湯ク)	野村(住金)　南川(東和)
		2部	男子	塩崎(御ク)	小谷(県庁)	前原(丸善)　矢半田(那ク)
			女子	徳岡(金屋)	茶原(かつらぎ)	小島(丸善)　桝井(九度山)
		3部	男子	山中(下津)	古久保(下津)	水沼(花王)　長田(日置)
		30才	男子	志場(丸善)	和久谷(丸善)	中西(県庁)　竹中(住冷)
	複	1部	男子	穂谷・森(丸善)	川村・北山(住金)	山本・西(教員)　楠戸・上野(丸善)
			女子	千葉・口地(住金)	松本・野村(住金)	南川・平柳(東和)　坂本・森(湯ク)
		2部	男子	堀江・松本(九度山)	金田・名倉(かつらぎ)	矢半田・松山(那ク)　中島・坂下(高専)
			女子	駒谷・湯川(つくし)	越野・岩崎(岩出)	東・石橋(岩出)　丹下・桝井(九度山)
		3部	男子	上田・寺下(東和)	秋山・大河内(スガイ)	広本・三倉(日置)　西岡・中西(下津)
		30才	男子	和久谷・志場(丸善)	中西・宇治田(県庁)	竹中・林田(住冷)　宮本・前田(丸善)
57	単	1部	男子	川村(住金)	北山(住金)	小川(住金)　中尾(住化)
			女子	正田(住金)	大塚(住金)	口地(住金)　野村(住金)
		2部	男子	佐古(那ク)	矢半田(那ク)	北原(星ク)　平井(星ク)
			女子	青木(田辺ク)	宮本(和医大)	阿部(美浜ク)　桝井(九度山)
		3部	男子	山本(橋本ク)	生地(橋本ク)	井上(九度山)　坂田(九度山)
		30才	男子	森(教員)	中西(県庁)	塩谷(住化)　山下(県庁)
	複	1部	男子	川村・小形(住金)	北山・梅林(住金)	徳岡・中尾(住化)　西山・乳井(住金)
			女子	大塚・野村(住金)	千葉・口地(住金)	成瀬・井戸本(住化)　坂本・森(湯浅)
		2部	男子	谷川・岩田(那ク)	下西・西(九度山ク)	矢半田・松山(那ク)　金田・名倉(かつらぎ)
			女子	阿部・田端(美浜ク)	山田・安宅(美浜ク)	丹下・桝井(九度山)　南・宮本(和医大)
		3部	男子	松本・山本(橋本ク)	井上・坂田(九度山ク)	福本・福住(橋本ク)　原・角谷(田辺ク)
		30才	男子	中西・山下(県庁)	井上・門田(かつらぎ)	前川・尾崎(住海)　松村・小池(花王)

年度	種別			優勝	2位	3位
58	単	1部	男子	川村(住金)	森(住化)	中尾(住化)　北山(住金)
			女子	正田(住金)	寺田(住金)	野村(住金)　大塚(住金)
		2部	男子	下西(九度山)	平野(那賀)	吉田(白浜)　名倉(かつらぎ)
			女子	宮本(医大)	南(医大)	宮本(田辺)　神崎(那賀)
		3部	男子	糖野(東和)	奥野(東和)	柴田(御坊)　福地(東和)
		30才	男子	森(教員)	田村(住化)	三谷(住化)　朝倉(住化)
	複	1部	男子	森・西(住化)	川村・北山(住金)	西山・児嶋(住金)　中尾・玉置(住化)
			女子	正田・寺田(住金)	大塚・野村(住金)	森・坂本(教員)　成瀬・井戸本(住化)
		2部	男子	下西・横田(九度山)	松山・平野(那賀)	中岡・杉本(東和)　西本・栗田(東燃)
			女子	山田・大浦(つくし)	菊谷・吉田(つくし)	堀・中村(つくし)　南・宮本(医大)
		3部	男子	福地・糖野(東和)	福住・水林(橋本)	西川・北村(東和)　三倉・上野(日置川)
		30才	男子	田村・三谷(住化)	門田・井上(かつらぎ)	中西・山下(県庁)　朝倉・岩本(住化)
59	単	1部	男子	乳井(住金)	北山(住金)	梅林(住金)　小川(住金)
			女子	正田(住金)	寺田(住金)	成瀬(住化)　栗原(住金)
		2部	男子	井上(かつらぎ)	杉本(三菱)	名倉(かつらぎ)　丹下(九度山)
			女子	桝井(九度山)	寺島(東和)	植松(下津)　武田(下津)
		3部	男子	坂田(九度山)	吉田(白浜)	谷口(花王)　奥野(東和)
		30才	男子	志場(丸善)	田村(住化)	三谷(住化)　上野(丸善)
	複	1部	男子	児島・梅林(住金)	森・西(住化)	中尾・玉置(住化)　中前・大上(住海)
			女子	正田・寺田(住金)	栗原・後藤(住金)	山田・駒谷(つくし)　成瀬・井戸本(住化)
		2部	男子	武田・渡辺(海南)	西・丹下(九度山)	門田・井上(かつらぎ)　金田・名倉(かつらぎ)
			女子	小田・森本(アイ)	尾保手・西浦(住金海)	妹瀬・西山(東和)　広瀬・井関(東和)
		3部	男子	浦・北尾(日置川)	脇・宮坂(下津)	石山・角谷(田辺)　坂田・堀江(九度山)
		30才	男子	川村・田村(住化)	志場・上野(丸善)	三谷・朝倉(住化)
60	単	1部	男子	乳井(住金)		
			女子	正田(住金)		
		2部	男子	小池(花王)		
			女子	小田(アイ)		
		3部	男子	奥野（東和)		
		30才	男子	—		
	複	1部	男子	西山・児島(住金)		
			女子	正田・栗原(住金)		
		2部	男子	丹下・坂田(九度山)		
			女子	石橋・坂口(岩出)		
		3部	男子	川谷・林(高野山)		
		30才	男子	—		
61	単	1部	男子	北山(住和)	西(住化)	森(住化)　乳井(住和)
			女子	正田(住和)	和泉(住和)	中島(住和)　栗原(住和)
		2部	男子	谷口(東和)	前迫(高野口)	南條(高野口)　堀谷(白浜)
			女子	小田(アイ)	中尾(粉河)	寺島(東和)　山本(白浜)
		3部	男子	井上(花王)	鳥羽(岩出)	稲田(白浜)　吉川(高野山)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部	男子	佐々木・児嶋(県教)	菊地・徳岡(住化)	森・西(住化)　西山・児嶋(住和)
			女子	正田・和泉(住和)	東・向山(住化)	米山・宮本(岩出)　植松・宮本(住海)
		2部	男子	前迫・南城(高野口)	栗生・野崎(海南)	上田・寺下(東和)　林・川谷(高野山)
			女子	小田・藤本(アイ)	川上・坂口(岩出)	寺島・堀(東和)　岩崎・原(岩出)
		3部	男子	川原・上岡(粉河)	西川・福島(東和)	谷口・古川(かつらぎ)　堀内・米田(星林)
		30才	男子	—	—	—

年度	種別			優勝	2位	3位
62	単	1部	男子	乳井(住和)	北山(住和)	梅林(住和)　中尾(住化)
			女子	—	—	—
		2部	男子	寺下(東和)	井上(花王)	髭白(東和)　酒井(東和)
			女子	小田(アイ)	山本(白浜)	丹下(伊都)
		3部	男子	太田(東和)	鳥羽(岩出)	西本(アイ)　野田(花王)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部	男子	菊地・西(住化)	児嶋・佐々木(県教)	西山・児嶋(住和)　北山・梅林(住和)
			女子	—	—	—
		2部	男子	武一・粟生(海南)	岡本・寺村(星林)	髭白・酒井(東和)　上田・寺下(東和)
			女子	小田・藤本(アイ)	佐藤・岸田(岩出)	山田・津田(岩出)　佐藤・谷口(岩出)
		3部	男子	西本・村山(アイ)	橋本・太田(東和)	前阪・川原(粉河)　長田・広本(日置川)
		30才	男子	—	—	—
63	単	1部	男子	中尾(住和)	梅林(住和)	中前(住海)　佐々木(県教)
			女子	工藤(住和)	木下(住海)	島田(住和)　和泉(住和)
		2部	男子	荒川(高野山)	北原(東和)	吉川(高野山)　浅間(海南)
			女子	中尾(伊都)	寺島(東和)	海堀(かつらぎ)　南部(アイクラブ)
		3部	男子	山下(海南)	林(海南)	中井(アイクラブ)　南(海南)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部	男子	森・児嶋浩(住和)	西山・中尾(住和)	児嶋智・佐々木(県教)　野生・井上(勝浦)
			女子	工藤・和泉(住和)	和泉・蔦田(住和)	木下・杉林(住海)　坂本・森下(サンデー)
		2部	男子	中村・佐川(伊都)	木戸・田和(サンデー)	倉内・塚田(サンデー)　芝・山下(県庁)
			女子	青木・村上(アイ)	上西・溝川(中ノ島)	寺島・嶋本(東和)　中尾・坂上(伊都)
		3部	男子	井上・宮下(伊都)	津村・岩井(海南)	橋本・鍵野(東和)　児嶋・五行(海南)
		30才	男子	—	—	—
元	単	1部	男子	乳井(住金)	中尾(住金)	
			女子	和泉(住金)	工藤(住金)	
		2部	男子	上西(伊都)	田村(住化)	
			女子	岸田(那高)	佐藤(那高)	
		3部	男子	紺野(GB)	須磨淵(GB)	
		30才	男子	杉本(三菱)	上田(東和)	
	複	1部	男子	乳井・児嶋(住金)	北山・梅林(住金)	
			女子	和泉・工藤(住金)	和泉・植松(住金)	
		2部	男子	田村・山路(住化)	土田・西本(アイ)	
			女子	中村・駒谷(県庁)	小田・藤本(アイ)	
		3部	男子	竹中・紺野(GB)	川原・前阪(粉河)	
		30才	男子	垣内・三原(湯浅)	上田・寺下(東和)	
2	単	1部・2部	男子	乳井(住金)	梅林(住金)	
			女子	木下(住金)	工藤(住金)	
		3部	男子	西本(花王)	遠藤(海南)	
		30才	男子	岡(サンデー)	倉内(サンデー)	
	複	1部・2部	男子	乳井・森(住金)	西山・梅林(住金)	
			女子	木下・工藤(住金)	尾崎・岡部(住金)	
		3部	男子	和田・森下(コクヨ)	佐野・福岡(花王)	
		30才	男子	倉内・岡(サンデー)	福地・酒井(東和)	

年度	種　別			優　勝	2　位	3　位
3	単	1部・2部	男子	乳井(住金)	梅林(住金)	
			女子	工藤(住金)	島田(住金)	
		3部	男子	木村(吹上)	山本(シャトルズ)	
		30才	男子	—	—	
	複	1部・2部	男子	西山・北山(住金)	倉内・岡(サンデー)	
			女子	尾崎・工藤(住金)	玉井・木下(JAPAN)	
		3部	男子	北野・須磨淵(GB)	和田・森下(コクヨ)	
		30才	男子	—	—	
4	単	1部・2部	男子	乳井(住金)	北山(住金)	新田(湯浅)　児嶋(住金)
			女子	島田(住金)	下地(住金)	尾崎(住金)
		3部	男子	—	—	—
		30才	男子	長谷川(海南ク)	高橋(花王)	宮田(東和ク)　小口(伊都ク)
	複	1部・2部	男子	乳井・児嶋(住金)	徳岡・中前(JAP)	西山・北川(住金)　北山・梅林(住金)
			女子	島田・下地(住金)		
		3部	男子	福山・新家(中紀ク)	伊藤・川原(粉河ク)	藤野・久保(東燃)　辻・小口(伊都ク)
		30才	男子	—	—	—
5	単	1部・2部	男子	新田(湯浅)	中村(東燃)	山田(和大)　東山(下津)
			女子	能木(三菱)	神田(三菱)	
		3部	男子	川口(ビギンズ)	宮本(ビギンズ)	福岡(花王)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・2部	男子	徳岡・中前(住化・JAPAN)	井上・湯浅(JAPAN)	中村・小林(東燃)　前迫・上西(伊都ク)
			女子	井戸・高見(マスカット)	丹下・福田(伊都ク)	坂本・赤井(サンデー)　嶽野・青木(マスカット)
		3部	男子	福岡・田中(花王)	福岡・西原(アイクラブ)	木村・平山(吹上ク)　新名・菊地(吹上ク)
		30才	男子	—	—	—
6	単	1部・2部	男子	新田(湯浅)	中村(東燃)	山田(和大)　岡本(東和ク)
			女子	石崎(住金)	川口(住金)	下地(住金)　能木(三菱)
		3部	男子	新名(山口ク)	福岡(花王)	津木(伊都ク)　西(伊都ク)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・2部	男子	北川・口地(星林ク)	武野・有木(教職員ク)	徳岡・森(JAPAN)　丹下・上西(伊都ク)
			女子	石崎・川口(住金)	坂本・赤井(サンデー)	丹下・福田(伊都ク)　井戸・高見(マスカット)
		3部	男子	新名・木村(山口ク)	松山・千脇(花王)	小川・中島(アイクラブ)　津木・小口(伊都ク)
		30才	男子	—	—	—
7	単	1部・2部	男子	武野(教職員ク)	小林(東燃)	森川(和大)　新田(NHC湯浅)
			女子	土岐(スクウェア)	小田嶋(アイクラブ)	能木(三菱)　福岡(アイクラブ)
		3部	男子	川口(ビギンズ)	川瀬(ビギンズ)	宮田(アイクラブ)　桜井謙(アイクラブ)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・2部	男子	谷口・前田(星林ク)	北川・口地(星林ク)	武野・有木(教職員ク・県庁ク)　丹下・上西(伊都ク)
			女子	坂本・赤井(サンデー)	高岡・藤本(東和ク)	丹下・松浦(伊都ク)　中岡・松本(GBク)
		3部	男子	川瀬・川口(ビギンズ)	塩崎・小竹(中紀)	乾・鳥羽(スクウェア)　福岡・金田(花王)
		30才	男子	—	—	—

年度	種　別			優　勝	2　位	3　位
8	単	1部・	男子	武野(教職員ク)	前田(星林ク)	乳井(SBC)　小林(東燃)
		2部	女子	横手(羽球会)	土岐(スクウェア)	上井(那賀ク)　野田(那賀ク)
		3部	男子	福岡(アイクラブ)	乾(スクウェア)	西原(アイクラブ)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・	男子	谷口・前田(星林ク)	北川・口地(星林ク)	中村・小林(東燃)　横田・丹下(伊都ク)
		2部	女子	横手・西(羽球会)	島田・川口(SBC)	下地・高岡(SBC・東和ク)　木村・土岐(スクウェア)
		3部	男子	小川・中嶋(アイクラブ)	倉石・黒田(山口ク)	玉置・田中(伊都ク)　小口・津本(伊都ク)
		30才	男子	—	2—	—
9	単	1部・	男子	前田(星林ク)	谷口(星林ク)	篠田(那賀ク)　武野(教職員ク)
		2部	女子	横手(羽球会)	湯川(和歌山市役所)	土岐(スクウェア)
		3部	男子	西原(アイクラブ)	乾(スクウェア)	原口(アイクラブ)
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・	男子	谷口・前田(星林ク)	武野・有木(教職員ク)	北川・山本(星林ク)　横田・丹下(伊都ク)
		2部	女子	横手・西(羽球会)	藤本・池田(東和ク)	佐藤・谷口(那賀ク)　木村・土岐(スクウェア)
		3部	男子	福島・西本(どんぐり)	辻井・宮本(中之島)	乾・中井(スクウェア)　福岡・田中(花王)
		30才	男子	—	—	—
10	単	1部・	男子	前田(星林ク)	谷口(星林ク)	武野(教職員)　甲斐(花王)
		2部	女子	横手(羽球会)	湯川(和歌山市役所)	橋立(那賀高)　辻井(那賀高)
		3部	男子	—	—	—
		30才	男子	—	—	—
	複	1部・	男子	谷口・前田(星林ク)	武野・有木(教職員)	北川・甲斐(星林・花王)　田村・辻本(SBC)
		2部	女子	横手・西(羽球会)	坂本・赤井(サンデー)	土岐・友淵(スクウェアー)　森・木村(那・キララ)
		3部	男子	—	—	—
		30才	男子	—	—	—

第４章

和歌山県バドミントン協会

公認審判員資格登録者名簿

協　　会　　規　　約

役　　員　　名　　簿

協会登録団体一覧表

財団法人 日本バドミントン協会公認審判員資格登録者名簿

種　別	氏　名	フリガナ・電話	生年月日	登録番号	住　　所
第１種Ａ級	岩西　壯行	イワニシ・タケユキ 0736－62－3646	S19.12. 5	11000134	那賀郡岩出町西野340
第２種Ａ級	末政　洋子	スエマサ・ヨウコ 0738－22－9198	S23. 7 .19	21000769	日高郡美浜町和田563－11
	森　　隆	モリ・タカシ 0735－31－8488	S23. 2 .16	21002232	新宮市三輪崎1411－３
第２種Ｂ級	栩原　悦子	トチハラ・エツコ 0736－63－0772	S23. 5 .13	22000772	那賀郡岩出町中島21－12
	徳岡　昭次	トクオカ・ショウジ 073－452－5461	S37. 3 .10	22011030	和歌山市松江701－13
	北原　　茂	キタハラ・シゲル 073－445－9583	S31. 4 .25	22011037	和歌山市塩屋２－５－21
	吉川　依子	ヨシカワ・ヨリコ 073－445－5945	S40. 9 .18	22011039	和歌山市毛見85
	浜口　博司	ハマグチ・ヒロシ 073－475－0669	S38. 8 .17	22011046	和歌山市神前76－１
	橋本　昌之	ハシモト・マサユキ 073－447－3994	S37. 7 .22	22011050	和歌山市塩屋５－４－21
	足立　一彦	アダチ・カズヒコ 073－452－3165	S33. 8 .21	22011054	和歌山市木ノ本735－５
第３種Ａ級	鳥羽　孝幸	トバ・タカユキ 0736－62－4687	S29. 7 .11	31000771	那賀郡岩出町根来1348－１
	杉本恵美子	スギモト・エミコ 0736－62－4606	S23.12.18	31000773	那賀郡岩出町畑毛211－２
	堀谷　敏夫	ホリタニ・トシオ 0739－55－3546	S34.10.27	31000775	西牟婁郡すさみ町周参見4005－２
	大田　久門	オオタ・ヒサト 0738－22－6074	S34. 5 . 1	31002688	御坊市野口1187－１
	野村　武生	ノムラ・タケオ 0738－24－1992	S33. 3 .31	31002689	御坊市塩屋町南塩屋378－１
	野田　　章	ノダ・アキラ 0738－22－4130	S17. 3 . 8	31006803	御坊市松原通り512
	森崎　展博	モリサキ・ノブヒロ 0738－23－1582	S25. 5 . 2	31006804	日高郡川辺町鐘巻1761
	錦濱　広至	ニシキハマ・ヒロユキ 0738－62－2047	S41.12. 5	31006807	日高郡美浜町三尾884
	阪井　節子	サカイ・セツコ 073－453－1230	S17.10. 3	31009434	和歌山市西庄187－65
	川瀬　光信	カワセ・ミツノブ 073－436－7389	S38. 6 .28	31011028	和歌山市宇須３－３－39
	川口　貴敏	カワグチ・タカトシ 0738－53－0065	S29. 1 .17	31011029	日高郡川辺町和佐1386
	青木三智子	アオキ・ミチコ 073－453－9375	S27. 1 .29	31011033	和歌山市毛見1501－２ パシフィックII409
	糠野　欣司	ヌカノ・キンジ 073－445－2505	S33. 1 . 7	31011038	和歌山市三葛285
	森　　久年	モリ・ヒサトシ 0736－61－2068	S43.10. 9	31011043	那賀郡岩出町紀泉台19
	森　　礼子	モリ・レイコ 0736－61－2068	S43. 5 . 4	31011044	那賀郡岩出町紀泉台19
	松岡　政治	マツオカ・マサハル 073－444－0389	S33.10.21	31011051	和歌山市関戸５－２－７
	嶋村　承子	シマムラ・ショウコ 073－471－6777	S28.10. 8	31011056	和歌山市坂田513－27
	木村　恵理	キムラ・エリ 0736－61－0526	S43. 4 .12	31011059	那賀郡岩出町山980－２

和歌山県バドミントン協会規約

第一章　名称及び事務所

第１条　本会は和歌山県バドミントン協会と称す。

第２条　本会の事務所は理事長の所在地におくことを原則とする。

第二章　目　　的

第３条　本会は和歌山県のバドミントンの中枢機関となり、バドミントンの健全なる普及発展を図るとともに、県民体位の向上に寄与するのを目的とする。

第三章　事　　業

第４条　本会は第３条の目的を達成するために下記の事業を行う。

１．県内大会並びにその他の競技会の開催

２．競技の指導並びに講習会の開催

３．その他目的達成に必要な事業

第四章　会員及び会費

第５条　本会は本会の趣旨に賛同するアマチュアバドミントン連盟、同好会及び個人をもって会員とする。

第６条　入会及び会費に関する事項は第六章第17条にもとづく理事会（以下理事会という）の議を経て別にこれを定める。

第五章　役　　員

第７条　本会に下記の役員をおく。

１．会長　１名　　２．副会長　若干名　　３．理事　若干名　　４．監事　　２名

ただし、理事には理事長１名、副理事長若干名、常任理事若干名、会計理事１名をおく。

第８条　会長、副会長は理事会において推せんする。

会長は本会を代表して皆無を総理するとともに会議を招集しその議長となる。

副会長は会長を補佐し、会長が事故あるときはその職務を代行する。

第９条　理事長・副理事長・常任理事及び会計理事は理事の互選により会長これを委嘱する。

理事長は会務の処理を統括する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはその職務を代行する。

第10条　常任理事は理事会の議を経て会長が委嘱し会務を常時分掌処理する。

第11条　会計理事は理事会の議を経て会長が委嘱し本会の会計事務を行う。

第12条　理事は団体の代表者または会長の委嘱者とし会務を執行する。

第13条　監事は理事会の議を経て会長が委嘱し会計を監査する。

第14条　役員の任期は二ヶ年とする。ただし再任を妨げない。

役員に欠員の生じた場合、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

第15条　本会は理事会の議を経て名誉会長、顧問、参与をおくことができる。

第16条　本会は必要に応じて専門委員会をおくことができる。

専門委員は理事会において推せんして会長が委嘱し、会長の指示をうけて会務の処理にあたる。

専門委員会に関する規定は理事会の決議により別に定める。

第六章　会　　議

第17条　理事会は本会の最高決議機関であって会長、副会長、理事をもって構成する。

第18条　理事会は年１回以上会長が召集し下記の事項を決定する。

１．事業計画及び予算・決算に関すること

２．規約の改正　　３．役員の選任　　４．その他

第19条　常任理事会は必要に応じて会長が招集し、理事会の決議を執行すると共に緊急の場合、理事会を代行し理事会の承認をうける。

第20条　会議は役員の1/2以上の出席者がなければ開くことができない。ただし委任状は認める。決議は出席者の過半数をもって行う。

第七章　会　　計

第21条　本会の経費は登録料、寄付金、補助金、その他の収入をもって当てる。

第22条　本会の会計年度は毎年４月１日に始まり翌年３月31日で終る。

第八章　附　　則

第23条　この規約は昭和44年４月１日より施行する。

和歌山県バドミントン協会役員名簿

(時)平成11年4月1日　(至)平成13年3月31日

事務局　〒649−6314　和歌山市島26−95　武野　宗睦　気付
☎0737−63−5531(勤務先)　☎0734−61−6618(自宅)

役職名	選出区分	氏名	所属	☎(勤務先)	住所	☎(自宅)
顧問		坂口　常博			富田林市藤沢台2丁目2−414	0721(29)9885
〃		下川　俊樹	和歌山県議会議員	073(432)4111	新宮市神倉2−2−18	0735(22)5703
会長		石田　真敏	海南市役所	073(482)4111	海南市黒江1−74	073(483)2268
副会長	紀北	津田　充啓			那賀郡岩出町清水127−5	0736(62)5146
〃	中紀	宮本　稔			日高郡美浜町吉原122−12	0738(22)2654
〃	紀南	荒尾　寔	荒尾成文堂	0735(22)2364	新宮市千穂1−5の19	0735(23)2364
〃	和歌山市	木津　乾	がんこフードサービス	06(6308)2288	和歌山市西小二里1−1−28	073(444)5910
理事長	那賀	岩西　壯行	大阪市建設局	06(6773)3121	那賀郡岩出町西野340	0736(62)3646
副理事長	和歌山市	谷口　康雄			和歌山市出水45	073(471)3813
〃	和歌山市	宮崎　弘志	山東小学校	073(478)0028	和歌山市井辺144−28	073(472)3765
〃	実業団	宇治田文彦	和歌山県庁	073(432)4111	和歌山市湊4−11−34	073(455)4584
〃	社会人	徳岡　昭次	住金化工	073(451)2126	和歌山市松江701−13	073(452)5461
事務局長		武藤　隆志	那賀高校	0736(62)2117	那賀郡岩出町西野128−27	0736(62)8817
事務担当		武野　宗睦	湯浅中学校	0737(63)5531	和歌山市島26−95	073(461)6618
常任理事	教職員	森　隆	新宮高校	0735(22)8101	新宮市三輪崎1411	0735(31)8488
〃	高体連	井角　忠彦	耐久高校	0737(62)4148	有田郡吉備町野田464−7	0737(52)7769
〃	家婦連	栩原　悦子			那賀郡岩出町中島21−12	0736(63)0772
〃	実業団	北川　康	住友金属和歌山	073(454)1107	和歌山市松江北5−18−123	073(454)7862
〃	中体連	佐々木朝幸	岩出中学校	0736(62)3223	和歌山市松ヶ丘1丁目5−11	073(447)2419
〃	伊都	丹下　皓平	自営		伊都郡九度山町慈尊院494	0736(54)3015
〃	那賀	鳥羽　孝幸	岩出町役場	0736(62)2141	那賀郡岩出町根来1348	0736(62)4687
〃	和歌山	寺村　猛	寺村金物店	073(422)6395	和歌山市橋向丁38	073(425)7523
〃	海草	野崎　泰一	海南市役所	073(482)4111	和歌山市内原978−11	073(446)2214
〃	有田	井角　武雄			有田郡湯浅町東南道	0737(62)3254
〃	日高	野田　章			御坊市松原通り	0738(22)4130
〃	西牟婁	広本　正道	広本林業	0739(22)1653	西牟婁郡日置川町日置494	0739(52)3538
〃	東牟婁	松居　修市	朝日新聞新宮支店	0735(21)1397	新宮市伊砂田2−1−8	0735(21)1397
会計		中村　吉恵	和歌山県庁	073(432)4111	和歌山市東高松2−4−29	073(423)9791
理事	家婦連	乾　智奈美			和歌山市下三毛743−57	073(477)5554
〃	実業団	甲斐　義樹	花王石鹸和歌山	073(426)8473	和歌山市堀止東2丁目1−41 ロイヤルコーポ吹上203	073(453)8848
〃	〃	西山　一	三菱電機和歌山	073(436)2111	日高郡由良町中247−1	0738(65)1193
〃	〃	小谷　剛	和歌山西社会保険事務所	0737(47)1111	那賀郡岩出町相谷620　ガーデンパレス606	0736(62)6653
〃	社会人	上西　良典	九度山中学校	0736(54)2114	伊都郡九度山町河根	0736(54)2333
〃	伊都	横田　武志	九度山町役場	0736(54)2019	伊都郡九度山町椎出454	0736(54)2806
〃	和歌山	小田　令子			和歌山市梅原254−5	073(455)2063
〃	海草	脇　吉信	大徳造船所	073(492)1796	海草郡下津町下津632	073(492)4710
〃	有田	須磨渕和彦	箕島郵便局	0737(82)2050	有田市辻堂76−1	0738(83)6215
〃	日高	森　隆	住金和歌山コークス工場	073(451)5124	日高郡日高町荊木922−3	0738(63)3269
〃	西牟婁	三根　教生	和歌山リコー	0739(25)3881	田辺市神子浜86−21	0739(24)8226
〃	東牟婁	平瀬　博俊	緑丘中学校	0735(22)2720	東牟婁郡熊野川町日足685−15	07354(4)0005
〃	高体連	矢半田照久	伊都高校	0736(42)2056	那賀郡粉河町島501	0736(73)3837
〃	小学校	谷口　康生	海南市役所	073(482)4111	和歌山市和歌浦西1丁目7−19	073(445)8127
監事		海瀬　公男	わかやま館	073(448)0070	和歌山市打越町3−11	073(444)2018
〃		黒川　裕史	三菱電機和歌山	073(436)2111	和歌山市下三毛691−43	073(477)5475

協会登録団体一覧表

【社会人連盟】

ＧＢクラブ　どんぐりクラブ　中之島クラブ　三菱電機バドミントン部
東和クラブ　ＮＨＣ湯浅　ＳＢＣ　伊都クラブ　スクウェアー　アイクラブ
高松バドミントンクラブ　中紀バドミントン協会　那賀クラブ　川永シャトル
東燃バドミントン部　星林クラブ　県庁クラブ　教職員クラブ　新商ＯＢ
サンデークラブ　花王バドミントン部

【高等学校体育連盟】

伊都高校　那賀高校　和歌山高校　和歌山西高校　星林高校　向陽高校
近大附属和歌山高校　市立海南女子高校　大成高校　有田中央高校　耐久高校
御坊商工高校　和歌山高等専門学校　田辺商業高校　新宮商業高校　新宮高校
和歌山工業高校

【中学校体育連盟】

富貴中学校　河根中学校　岩出中学校　貴志川中学校　長谷毛原中学校
近大附属和歌山中学校　箕島中学校　湯浅中学校　耐久中学校　船着中学校
那智中学校　城南中学校　緑丘中学校

【ジュニア連盟】

橋本ジュニア　九度山ジュニア　岩出町スポーツ少年団　貴志川町スポーツ少年団
古沢ジュニア　加太バドミントン愛好会　高松クラブ　美里クラブ　美浜クラブ
サンデークラブ　山ゆりクラブ　日高クラブ　新宮スポーツ少年団
衣奈ジュニア

【家庭婦人連盟】

友愛クラブ　伊都クラブ　岩出クラブ　キララ　那賀クラブ　貴志川クラブ
川永シャトル　つくしクラブ　あしべクラブ　吹上クラブ　ウィング
三田クラブ　ビギンズ　サンデークラブ　初島シャトル　アイクラブ
有田クラブ　ＧＢクラブ　マスカット　ＣＯＯＰミントサークル　美浜クラブ
追羽根クラブ

【学生連盟】

和歌山大学　県立和歌山医科大学

編　集　後　記

和歌山県バドミントン協会も50才を迎えました。

比較的新しい種目といわれてきた「バドミントン」ですが、今では県下全域でいろんな形で盛んに実施されています。このことは、子供から大人まで手軽に楽しむ事ができ、また、いわゆる羽根つきから激しい競技に至るまで幅広く体験できる「バドミントン」そのものの魅力は勿論ですが、競技力の向上と普及振興に尽くされた先輩協会関係者各位のなみなみならぬご苦労の結果と、歴史を辿っていく中で再認識させていただくことができました。

創立50周年を機に、われら協会会員一丸となって協会の発展はもとより、一人でも多くの皆さんにバドミントンを楽しんでいただけるためのお役に立てるよういっそう頑張ろうではありませんか。

さて、このたびの協会誌発刊に際して、皆様方からご投稿、資料のご提供をいただきなんとか50年の輪郭を表わすことができました。厚く御礼を申し上げます。

なお、準備期間・紙面・予算等の都合もあり、まだまだ十分とはいえませんのでこれからも引き続き各年代における出来事や想い出・エピソードや写真等のご提供をお願いし、この50年史の資料をより充実させ、次回の発刊に備えたいと存じますので今後ともよろしくご協力の程をお願い申し上げます。

編　集　担　当　者　一　同

創立50周年記念誌

羽根球わかやま

平成11年9月17日　発行

編　集
発　行　　和歌山県バドミントン協会

印　刷　　株式会社　高木プリント